

木更津市の教育

令和5年度

木更津市教育委員会

はじめに

市政の発展にともない、木更津市の教育が遅滞なく着実な歩みを続けておりますことは喜びに耐えないところであります。これもひとえに、教育関係各位ならびに市民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

令和5年度より向こう4ヵ年を計画期間とし教育施策の基本的な方向を示した「第3期木更津市教育振興基本計画」がスタートし、魅力ある学校づくりの推進を目指す学校教育「新木更津プラン」が策定されました。

引き続き学校のICT化の推進や、学校給食における地元産有機栽培米の提供の促進など、子どもたちの健全な育成、積極的な学びの機会の提供に向けた教育体制の整備に努めております。

また、令和5年3月より木更津市内の全中学校（12校）の生徒会長で組織する「木更津市合同生徒会」が発足しました。各学校の生徒会活動の情報交換や共通の課題や社会的問題についての協議などを通じて、生徒ひとりひとりの自立する力や共生する姿勢を育成しています。

現在、木更津市では、全国的な少子化社会の中、定住促進による人口増加がみられ、児童・生徒数はほぼ横ばいの状況にあります。このような中、本市の教育の基本理念である「子どもを育む環境づくり・まちを支える人づくり」は、この地域が活力ある豊かな社会として発展していく上で、欠くことのできない取組条件であり、教育の果たす役割は、ますます重要なものになってきています。

教育をめぐる社会環境が大きく変化している中、今後も「まちづくりの礎は人づくり」という強い思いをもって、様々な教育環境の整備、施策の推進にあたってまいりたいと考えています。

ここに、令和5年度の「木更津市の教育」を刊行し、本市の教育の現況をお知らせするとともに、木更津市教育の更なる進展に向けて、今後のご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年3月

教育長 廣部昌弘

木更津市の教育目標

子どもを育む環境づくり

1. 子育て支援の充実
2. 学校教育の充実
3. 青少年の健全育成

まちを支える人づくり

1. 社会教育の推進
2. スポーツ・レクリエーションの振興
3. 市民文化の充実
4. 人権擁護の推進

目 次

はじめに

木更津市の教育目標

1. 木更津市の概要

位置・地勢・市制施行・人口	3
沿 革	4

2. 木更津市 教育振興基本計画

教育振興基本計画	9
----------	---

3. 木更津市 教育大綱

教育大綱	17
------	----

4. 教育行財政

教育委員	21
教育委員会会議	22
教育委員会表彰	23
教育委員会機構図	24
教育委員会職員数	27
教育財政	28

5. 学校教育

重点目標	31
小・中学校一覧	36
教育相談・教職員研修・学校支援事業	38
特別支援教育	39
就学援助	41
学校保健	42
学校給食	44

6. 生涯学習

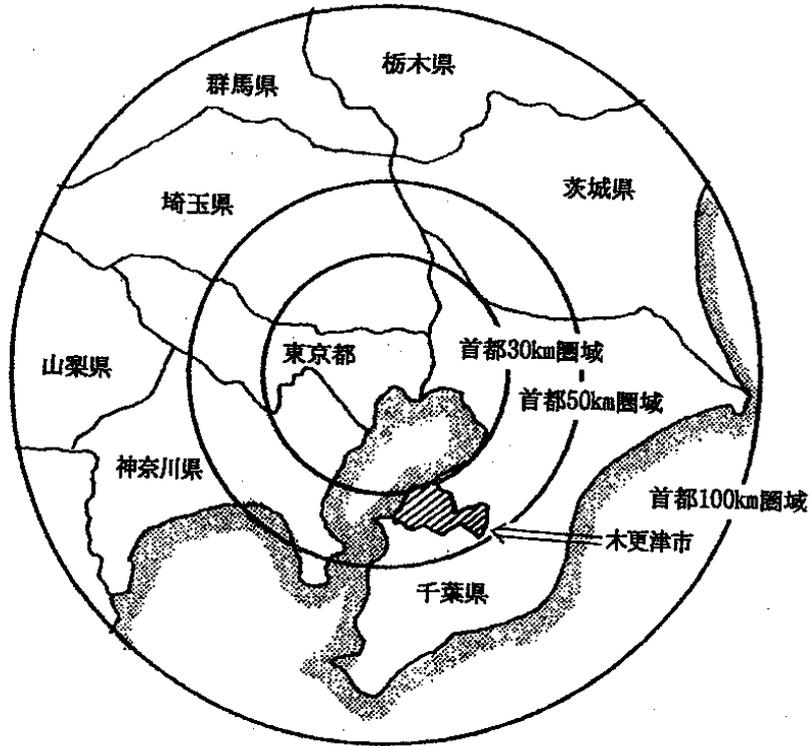
重点目標	49
社会教育事業	54
公民館	58
少年自然の家キャンプ場	67
図書館	68
郷土博物館金のすず	72
青少年指導関係	79

7. 資料

歴代教育委員及び教育長	83
教育功勞被表彰者一覽	85
市内指定等文化財一覽	89
学校施設等	91
社会教育施設	93

1. 木更津市の概要

位 置



地 勢

令和5年1月1日現在

市役所の位置		広ぼう		標 高		面 積
東経	北緯	東西	南北	最高	最低	
139° 92' 48"	35° 38' 12"	21.98km	14.54 km	200.0m 真里谷	0.1m 畔戸	138.90 km ²

市制施行

昭和17年11月3日

人 口

136,792人 (令和6年1月1日現在の住民基本台帳による)

沿 革

「きさらづ」の名が文献に現れてきたのは、鎌倉時代に入ってからであるが、日本武尊の東夷征討伝説として『相模の走水から上総へ渡ろうとしたとき、海上にわかにかに強風が起こり、船はいまにも転覆せんとした。尊の妃弟橘媛命は、身をもって尊の命を救わんと海中に身を投じ、海神を慰めたので、怒濤はたちまちにしておさまり、無事上総へ渡ることができた。尊は、媛の末路を哀れみ、その運命を悲しんで、しばしこの地を去らず、後年この地を「君不去」（きみさらず）と名づけ、更になまりが変って「きさらづ」になった』という話が語り継がれている。

菅生の弥生時代農耕遺跡や長須賀の金鈴塚古墳から発掘された金鈴や飾り大刀などから考えてみても、木更津の地が古代から豪族や庶民の一大集落地として栄えていたことが立証される。

古代から平安時代の末までは、馬来田国造の支配や上総氏一族の支配を経て、鎌倉時代に入った。

室町・戦国時代には、真里谷武田氏・北条氏・里見氏の勢力がこの地の覇権を争った。天正18年(1590)、里見氏削封の後、江戸時代の末に一部請西藩の領地になったが、概ね旗本の知行所となり、明治維新に及んだ。

明治元年(1868)4月、木更津・貝渕・吾妻の3村は上総・安房監察兼知事柴山典の所轄となり、明治4年(1871)廃藩置県の改革によって桜井県の所轄に、更に同年11月には従来の諸県が廃されて木更津県となったものの、明治6年(1873)6月、木更津県は廃され千葉県を置くこととなった。

明治11年(1878)、県の官制改革によって郡制が設けられ、郡区町村編成法を定めて望陀・周淮・天羽の3郡を一区画とし、郡役所を木更津村に置き、望陀周淮天羽郡役所と称した。

その後は郡長の下に戸長制を敷いていたが、明治22年(1889)4月、市町村制が実施されて木更津・貝渕・吾妻の3村が合併し木更津町ができた。

明治30年(1897)4月に郡制が施行されて望陀・周淮・天羽の3郡は君津郡と改称され、大正15年(1926)6月、郡役所廃止に至るまで、君津郡役所の所在地となった。

昭和7年(1932)、県営築港に着手、時を同じくして海面埋立工事が行われ、翌昭和8年(1933)4月には隣接の真舟村を合併して町勢は著しく進展した。

昭和11年(1936)、築港・埋立の両工事が完成し、海路による京浜方面への利便は一段と増す一方、同年4月、木更津海軍航空隊が設置され、更に昭和16年(1941)11月、隣接の岩根村に工員1万7千人を擁する海軍航空廠が設置されたことにより、一躍軍都としてのめざましい発展を見るに至り、隣接町村間との市制施行の盛り上がりによって、昭和17年(1942)11月3日、木更津町、清川村・岩根村・波岡村による1町3村が合併し、市域54.23km²、人口33,817人、全国第197番、千葉県下6番目の市として木更津市が誕生した。

木更津市はそのまま軍都として繁栄するかと思われたが、市制施行後3年目にして太平洋戦争も終わり、一転して商業都市としての新しい第一歩を踏み出すことになった。

昭和28年(1953)、町村合併法の公布によって、木更津・鎌足・金田・中郷の1市3村の合併問題が討議され、翌昭和29年(1954)11月3日に鎌足村を、同30年(1955)2月11日に金田村を、同年3月1日に中郷村をそれぞれ合併し、一躍、人口も5万人を超える木更津市となった。

やがて一連の臨海部埋立による京葉臨海工業地帯の発展に伴い、昭和36年(1961)、隣接の君津町(現君津市)と本市の臨海部にまたがって八幡製鐵(現日本製鉄株)の進出が決まり、同40年(1965)の操業を契機として関連企業の進出による工業化も一段と進展するなか、内陸部での土地区画整理事

業をはじめ民間宅地造成等の開発も急速に進み、首都圏内の近郊都市として発展、同43年(1968)4月、木更津港の重要港湾指定により著しい変貌を遂げてきた。

昭和46年(1971)9月に富来田町と合併し概ね現在の市域となり、昭和40年代～50年代にかけては、市民体育館、中央公民館、保健相談センター、市民総合福祉会館などの教育施設や福祉施設などの充実が進んだ。

時代が平成に変わってからは、平成4年(1992)、首都機能の一躍を担う業務核都市に位置づけられるとともに、県の千葉新産業三角構想(昭和58年)の一角に位置づけられたかずさアカデミアパークの整備が進展した。

平成9年(1997)には東京湾アクアラインが開通し、東関東自動車道館山線や首都圏中央連絡自動車道等の整備とあわせ、交通の結節点としての機能が強化された。

平成20年(2008年)には木更津市郷土博物館金のすずが開館し郷土の歴史・文化を物語る史資料を公開するとともに平成21年4月には木更津市学校給食センターが稼働開始となり小中学校の完全給食が実現となる。

その後、東京・神奈川とを結ぶ東京湾アクアライン高速バス網の充実や平成21年(2009)から実施された東京湾アクアライン料金引下げ社会実験による地域経済への様々な波及効果等から、平成23年(2011)には人口が13万人を超えた。

平成24年(2012)には、かずさアクアシティの金田東地区まちびらきに伴い、大型集客施設が相次いで開業するとともに、第1回目のちばアクアラインマラソンが開催されるなど、交流人口の増加が顕著となる。

平成26年(2014)10月には、築地地区に大型集客施設が開業するとともに、平成29年(2017)10月には、道の駅「木更津 うまくたの里」が開業し、地域全体への活力や求心力が高まりをみせている。

平成31年(2019)には中郷中学校と清川中学校が統合された。また、富岡小学校と馬來田小学校が統合し富来田小学校が誕生し、隣接した富来田中学校と小中一貫教育学校としての取り組みがスタートした。

令和3年(2021)には小規模特認校の通称を「きさらづ特認校」と定め、それまでの東清小学校、中郷小学校に加え、新たに鎌足小中学校、富来田小中学校が小規模特認校として指定された。また、清見台小学校ではバリアフリーや共生社会について考える取組が評価され、I'm POSSIBLE アワード開催国最優秀賞を受賞した。

令和4年(2022)、木更津市は市制施行80周年を迎え、その記念事業として「KISARAZU COLLECTHION 2022」が開催され、公募で選ばれた木更津市内の小中学生30名がモデルとなりステージを飾った。また、木更津市初となるコミュニティ・スクールを富来田小中学校に導入し、地域との連携による地域ぐるみの学校づくりの推進を図っている。

2. 木更津市 教育振興基本計画

木更津市教育振興基本計画

【教育の基本理念・指針と基本目標】

教育の基本理念

子どもを育む環境づくり・まちを支える人づくり

教育の基本指針

まなびあい、きらりかがやく「教育都市きさらづ」

基本目標

- ① 魅力ある学校づくりの推進
- ② 生涯学習社会の実現
- ③ 青少年の健やかな成長
- ④ 芸術文化活動の活性化

育成したい子どもの姿<木更津っこ>

- ふるさと木更津を愛し、地元に貢献しようとする意欲を持つ子
- 学習習慣を身に付け、自らの課題を学習により解決しようとする子
- 思いやりの心を持ち、自他の心身の健康のため行動できる子
- グローバルな視点を持ち、SDGsの達成に向けて行動できる子
- 防災意識を持ち、日頃の準備を怠らず、災害時に自他の命を守る行動がとれる子

【計画の対象期間：2022年度～2025年度】

年度	H31 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
木更津市	→							
	基本構想（目標年次：R12）							
	←				←			
	木更津市第2次基本計画				木更津市第3次基本計画			
	←				←			
	木更津市第2次教育大綱				木更津市第3次教育大綱			
←				←				
木更津市第2期教育振興基本計画				木更津市第3期教育振興基本計画				

【基本目標を実現するための政策・施策】

基本方針1	重点目標	重点施策	施策	
「自立する力」と「共生する姿勢」を身に付けた児童生徒を育成し、児童生徒本人、家庭や地域社会から信頼される魅力ある学校づくりを推進します	1 児童生徒に学習する習慣を身に付けさせます	(1) 児童生徒の読書数の向上	① 学校図書館システムを導入し、学校間の連携を図り、学校図書館を活性化します	
			② 読書相談員の配置を継続します	
			③ 図書館と連携し、団体貸し出し事業を推進します	
			④ 児童生徒に電子図書サービスの利用を推奨します	
	2 児童生徒の人権意識の高揚を図ります	(1) いじめのない集団づくり	① いじめ防止対策基本方針を策定し、各学校に周知徹底します	
			② 定期的にいじめ実態調査を行い、実態把握に努めます	
			③ 教職員のいじめに対する意識向上と指導力の向上を図り、いじめのない集団づくりに努めます	
			④ スクールソーシャルワーカーを配置し、関係部署との連携調整支援等に努めます	
	3 外国語教育・国際理解教育の充実を図ります	(1) 外国語指導助手(ALT)による授業の支援	① 小学校において、外国語授業(小5.6)、外国語活動(小3.4)の全時間に外国語指導助手(ALT)を配置します	
			② 国際理解教育に関する出前授業の実施を推奨します	
			(2) 外国語学習意欲の向上	① 市内小中学校の希望者を対象に、ALTと英語のみの世界を体験するEnglish campを開催し、国際理解教育を推進します
				(3) 教職員に対する英会話研修の実施
	4 特別支援教育の充実を図ります	(1) 特別支援教育に関する実態調査	① 特別支援に関するアンケート調査を行い、定期的の実態を把握し、施策に反映させていきます	
			(2) 個別支援の充実	① 各学校の必要に応じ、個別の教育支援計画・指導計画を作成し、指導支援に活かしていきます
				(3) スクールサポートティーチャー(SST)の配置
			(4) 特別支援教育支援員の配置	
				(5) スクールアクティブサポーター(SAS)の配置
	5 保護者・地域と連携した学校づくりを推進します	(1) 学校支援ボランティア活動の推進	① 学校支援ボランティア活動推進事業を推進します	
			(2) 学校評価木更津システムの実施	① 学校評価木更津システムを確実に実施し、結果を公表します
				② 学校の現状を把握し、改善に活かします
			(3) コミュニティスクールの推進	① ささらつ特認校に学校運営協議会を組織します
				(4) 広報活動の充実
	6 現代的課題について考え、行動に移す意欲とスキルを育成します	(1) 防災・安全教育の充実	① 大災害に備えて、避難訓練を含めた命を守る教育の充実を図ります	
			② 交通安全教育を充実し、交通安全に対する意識を高めます	
		(2) SDGs教育の推進	① SDGs、包括的教育等、現代的課題を意識した教育課程づくりを推進します	
			② 市が推進するSDGs関連事業についての理解を深めます	
		(3) 環境教育の推進	① 市が推進するゼロカーボンシティの取組について理解を深め、行動意欲を高めます	
			(4) プレゼンテーション能力の育成	① 学習活動研究発表会を開催し、日頃の学習成果を発表する場を作ります
(5) キャリア教育の充実	① 体験に基づくキャリア教育を推進し、自分に合った進路決定を進める意識を高めます			
	(6) 学校間交流の活性化	① 中学校合同生徒会を組織し、学校間で切磋琢磨し、互いに高め合う場を作ります		
7 教育相談活動の充実を図り、児童生徒の正しく前向きな自己決定を支援します		(1) スクールカウンセラー(SC)、心の相談員の配置	① 各学校にスクールカウンセラー(SC)、心の相談員を配置し、児童生徒が悩みを相談できる場を作ります	
	(2) 教育相談教室の実施		① 専門家による教育相談教室を実施し、児童生徒及び保護者の悩みについて、専門的な立場から相談できる場を作ります	
			(3) 教育支援教室(あさひ学級)の運営	① 教育支援教室(あさひ学級)を運営することにより、不登校の児童生徒の自立を支援します

生徒・自立する、家庭・地域・社会から姿勢を身に付けるに魅力ある児童生徒の育成を推進し、児童	8	教職員の働き方改革を推進するとともに、指導支援能力を高めます	(1) 夏季教職員研修の実施	① 教科指導、生徒指導、現代的課題等について夏季教職員研修を実施し、市内教職員の資質力量を高めます
			(2) 情報化推進チームの組織化	① 学校内に情報化推進チームを組織し、教職員のICTのスキルを高めます
			(3) ICT支援員の派遣	① 各学校にICT支援員を派遣し、授業補助に当たり、教職員のICTを活用した指導技術を高めます
			(4) 教職員の時間外勤務時間の縮減	① 教職員の時間外勤務の実態を定期的に把握し、縮減に向けた取組を推進します
			(5) 部活動の地域への移行の推進	① 関係課と連携し、土日の中学校部活動の地域移行の体制づくりを進めます
	9	「食」に関する指導を推進し、安全・安心な学校給食の提供に努めます	(1) 「地産地消」給食の推進	① 木更津市内及び近隣市、千葉県内で生産された食材を優先的に使用し、顔の見える「地産地消」給食を推進します
			(2) 地元産有機栽培米の提供	① 学校給食への地元産有機栽培米の提供割合100%を目指します
			(3) 食育のための環境の充実	① 小学校において、野菜等の食材を「栽培→調理→食す」活動を取り入れます
				② 「食」に関する指導のための教材・教具の作成
	③ 学校と連携した食育指導支援を推進します			
(4) 学校給食施設の利用環境整備	① 各調理校の施設設備及び器具等の補修を行うとともに、将来にわたり、安全安心な給食を提供するため、地産地消の拠点となる新しい給食施設の整備を検討します			
10	学校の教育環境の整備に努めます	(1) 学校施設長寿命化計画の実行	① 学校施設長寿命化計画を確実に実行し、学校施設の整備に努めます	
		(2) 小中学校の整備	① トイレの洋式化及びバリアフリー法に基づくエレベーター整備の推進等、学校施設のバリアフリー化を推進します	
基本方針2	重点目標	重点施策	施策	
生心な学習と社会の実現を目指し、誰もが自ら学び、健康で生きがいのある生活を送ることが出来る	1	生涯学習・社会教育推進体制の充実に努めます	(1) 市民参画による社会教育行政の推進	① 社会教育委員会を定期的に開催し、市民の意見や要望を取り入れる機会の充実に努めます
			(2) 生涯学習・社会教育振興のための支援体制の充実	① 市民の学習活動を支援するため、職員の資質向上に努めるとともに、視聴覚ライブラリーの充実に努めます
			(3) 社会教育施設の総合的な環境整備	① 関係部署と連携を図り、市民の生涯学習の拠点としての(仮称)生涯学習センター(公民館・図書館)の再整備を進めるとともに、公民館長寿命化計画等をふまえた施設の整備に努めます
	2	生涯学習・社会教育活動の充実に努めます	(1) 子育て・家庭教育支援事業の充実	① 家庭教育支援事業の充実を図るため、関係機関・団体と連携し、親の育ちを応援する学びの環境を整えます
			(2) 市民の生涯学習機会の充実	① 市民の多様な学習ニーズに対応するため、生涯学習市民公開講座や市役所職員による出前講座を実施します
				② 市民の体験的学習活動を推進するための生涯学習パスを運行します
	(3) 社会教育関係団体の育成と支援	① 団体が自主的に行う社会教育活動に対し、求めに応じて助言や支援をします		
	3	人権が尊重される社会をつくるための取組を進めます	(1) 人権教育研修会の開催	① 人権の理念を普及し、その理解を深めるための研修会を開催します
			(2) 人権啓発活動の実施	① テラシ、リーフレット配布など、人権に対する意識を高めるための啓発活動を推進します
	4	公民館活動の活性化を推進します	(1) 公民館利用者の拡大	① 地域の特性や公民館の施設にあわせ、市民が気軽に集うスペースの確保や自由に参加できる事業を実施します
			(2) 地域自治の活動の支援	① 地域の課題解決のため、「まちづくり協議会」や「青少年育成住民会議」の活動を支援するとともに、課題解決のための事業を実施し、地域活動のための人材の育成を図ります
				(3) デジタル社会への対応支援
	5	市民の読書活動を推進することにより、生涯学習体制の充実に努めます	(1) 図書館サービスの充実	① 各種図書館事業の開催と図書館に必置の資料の提供により、図書館利用者数を増やします
				② ブックスタート事業により、乳幼児期からの読書活動を推進します
				③ おはなし会等の事業を開催し、図書館に来館するきっかけとなる機会を増やします
④ パスファインダーの作成を推進し、レファレンスサービスの普及に努めます				
⑤ 点字図書・録音図書・大活字本等を計画的に収集し、読書にハンディキャップのある利用者に対するサービスの充実を進めます				
(2) 電子図書サービスの拡大			① 相談会を開催するなど、電子図書の普及に努めます	
	② 電子図書を計画的に購入します			

基本方針3	重点目標	重点施策	施策	
か青少年の健全な成長を断力を持って支える体制を整備し、豊かな人間性を培い、主体的に活躍できる環境づくりと、社会的孤立を防ぐ取組を推進します	1	(1) 青少年育成関係機関の活動の支援	① 青少年育成関係機関相互の連絡調整を行い、それぞれの機関の活動の充実を支援します	
		(2) 地域の教育力向上のための活動支援	① 放課後子ども教室の拡充支援、青少年育成地区住民会議の活動支援を行い、地域の教育力の向上を図ります	
		(3) 地域の青少年健全育成活動の支援	① 青少年相談員の活動の充実に努めるとともに、青少年育成活動の担い手の育成に努めます	
	2	(1) 青少年育成事業の実施	① オンラインで繋がる新しい交流の場や「二十歳を祝う会」など、各種体験事業を実施します	
		(2) 少年自然の家キャンプ場の利用促進	① 少年自然の家キャンプ場を自然体験活動の拠点として、青少年教育事業を展開するとともに、利用の促進を図ります	
		(3) 青少年の活躍の場の創出	① 青少年が社会貢献するための知識や技術を習得する支援に努めるとともに、地域社会における活躍の場を創出します	
	3	(1) 相談活動の実施	① 社会教育指導員等、専門家による相談活動(面接・電話・メール)を行います	
		(2) 青少年補導員等によるパトロールの実施	① 青少年補導員による街頭指導、乗車マナー指導、喫煙・飲酒防止キャンペーン等(青少年への愛の一声運動)を関係機関、団体と連携し行うとともに、有害広告等の撤去依頼を行います	
		(3) 青少年非行防止啓発活動の実施	① 青少年健全育成だより(News Letter)の発行や青少年指導関係活動報告「青少年に愛の一声を」を発行します	
		(4) 青少年指導関係運営協議会の開催	① 青少年指導関係事業を効果的に運営するため、関係機関・団体・有識者との連携を図り、青少年指導関係運営協議会を開催します	
		(5) 体験活動をテーマとした青少年事業の実施	① 野外活動やものづくりなど、地域の世代間交流を図る機会を創出し、地域における青少年育成を推進します	
	基本方針4	重点目標	重点施策	施策
	誇りを市「次世代」の代に成り立つる文化を芸術文化の推進性を図るとともに、地域一木更津津産市産やと芸術文化の化	1	(1) 重要文化財「千葉県金鈴塚古墳出土品」の国宝化推進事業の実施	① 千葉県指定史跡「金鈴塚古墳」の整備に努めます(駐車場含む) ② 映像資料やパンフレットの作成や小学校における学習支援など、千葉県金鈴塚古墳出土品の普及啓発事業に取り組みます
			(2) 文化財保護対策の推進	① 市内に所在する有形・無形文化財、史跡、天然記念物を保護し文化財の指定・活用・周知に努めるとともに、市内の文化財を保存し、伝承する団体を支援するため補助金を交付します
			(3) 埋蔵文化財保護対策の推進	① 埋蔵文化財保護のため、開発事業に対応した調整を図り、必要な発掘調査や整理作業を実施するとともに、記録保存に努めます
(4) 将棋文化の継承・普及			① 小中学生将棋大会を開催し、将棋を通して地域の伝統文化を促進します	
(5) 木更津市史の編さん・刊行			① 本市の歴史や文化、豊かな自然への関心を高めるため、新たな「木更津市史」を編さん・刊行するとともに、公開講座の実施、デジタルアーカイブでの公開、調査研究成果を活用した学習活動の支援に努めます	
2		(6) 博物館(郷土博物館金のすず)事業の充実	① 常設展示の改良、充実に努め、ふるさと文化を目に見える形で示すことで、次世代への継承を図ります	
			② 常設展示以外にテーマ設定をした期間限定の展示会を開催することにより、市民の文化芸術に触れる機会の提供に努めます	
			③ 金鈴塚古墳出土品をはじめとした郷土に関する調査研究を継続し、その成果を講座・展示に反映させ、郷土の宝としての価値を広めます	
			(1) 芸術文化振興事業の実施	① 小中学校の音楽鑑賞教室を開催し、児童生徒が優れた文化芸術に触れる機会を作ります
			(2) 芸術文化に親しむまちづくり振興事業の実施	① プロによるコンサートやアート制作ワークショップ開催など、市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供します
(3) 文化芸術団体への支援	① 各種文化芸術団体の活動を支援するため、実施事業に補助金を交付します			
(4) 新しい中規模ホールの活用方法の検討	① 関係部署と連携を図り、中規模ホールの活用方法の検討を進めます			

3. 木更津市 教育大綱

木更津市第3次教育大綱

令和5年2月3日

1 趣旨

平成27年4月から施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、市長と教育委員会から構成する総合教育会議を設置することが義務付けられました。

また、同会議において、地域の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされ、本市では平成27年11月に木更津市教育大綱を、令和元年4月に木更津市第2次教育大綱を策定し、市長と教育委員会が連携してそれぞれの施策を進めてきました。

この間、高度デジタル社会やSDGs達成への対応、また「新しい生活様式」を踏まえた学校教育の継続が求められるなど、教育を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした状況を考慮しつつ、市長と教育委員会が協議、調整のうえ、新たな教育大綱を定めるものです。

2 大綱の位置づけ

市長は、「木更津市総合計画第3次基本計画」を、教育委員会は、教育振興の基本計画である「第3期木更津市教育振興基本計画」を所管し、施策を推進しています。

この教育大綱は、市長が、特に重点的に教育委員会と連携して進めるべき事項について、総合教育会議における協議を経て定めたものです。

3 計画期間 令和5年4月から令和9年3月まで

4 基本目標

「将来につなぐ、地域をつなぐひとづくり」

本市は、子育て支援や教育環境の充実により、将来を担う子どもたちを育むとともに、自分の住むまちをより良いものにしていこうとする地域の人たちを支えていきます。

5 基本方針

- ①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。
- ②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。
- ③多様性を認め合い、尊重できるまちを目指します。

6 基本施策

- ①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。
 - (1) 子どもの居場所・教育施設の環境整備
 - (2) 給食米100%オーガニック化・地産地消を取り入れた学校給食の提供
- ②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。
 - (1) 特色ある教育カリキュラムの推進
 - (2) スポーツを通じた児童・生徒の健康増進
 - (3) 継続的な学びを支える公民館の充実
 - (4) 文化芸術拠点施設の整備推進と文化財の価値や魅力の創造
- ③多様性を認め合い、尊重できるまちを目指します。
 - (1) いじめ、暴力、虐待、差別のない共生社会の実現

4. 教育行財政

教育委員



教 育 長
廣 部 昌 弘



教育長職務代理者
渡 部 佳 子



委 員
豊 田 雅 之



委 員
小 寺 孝 治 郎



委 員
中 島 緑

役 職	氏 名	就任年月日	職 業
教 育 長	廣 部 昌 弘	R3. 4. 1	
教育長職務代理者	渡 部 佳 子	H28. 10. 1	
委 員	豊 田 雅 之	H30. 10. 1	
委 員	小 寺 孝 治 郎	R3. 10. 1	医 師
委 員	中 島 緑	R4. 4. 1	専任講師

教育委員会会議

○ 令和4年及び令和5年の会議開催数

区 分	回 数	
	R4	R5
定 例 会	12	12
臨 時 会	0	0
計	12	12

○ 令和4年及び令和5年に議決された案件

内 容	件 数	
	R4	R5
○教育行政の運営に関する基本方針の決定に関する事。	2	2
○教育委員会事務の点検評価に係る報告書の作成・議会への報告・公表	1	1
○教育機関の設置及び廃止に関する事。		
○教育財産の取得及び処分の申し出に関する事。		1
○職務の級が6級以上の職員等の任免に関する事。	1	1
○校長及び教頭の進退の内申に関する事。		
○職員及び教職員の分限及び懲戒の処分に関する事。		
○教育委員会規則の制定又は改廃に関する事。	4	13
○教育功労者の表彰に関する事。	1	1
○議会の議決を要する事件の議案の申し出に関する事。	4	5
○教育機関の敷地並びに建物の設定又は変更に関する事。		1
○附属機関の委員の任命又は委嘱に関する事。	5	7
○教育関係職員の研修の一般方針の決定に関する事。		
○教科書採択及び教科書等の取扱いの一般方針の決定に関する事。	2	2
○学校の通学区域の設定又は変更に関する事。		
○文化財の指定及び解除に関する事。	1	
○職員団体との重要な交渉に関する事。		
○請願及び陳情に関する事。		
○その他	4	3
計	25	37

教育委員会表彰

昭和28年「教育功績者表彰内規」が制定され、木更津市教育の向上に功績のあった個人及び団体について表彰していたが、昭和44年「教育委員会表彰規程」に改正され、木更津市における教育・学術又は文化の振興に関し、特に顕著であった個人又は団体を表彰するもので、11月に表彰式を行う。

○ 表 彰 基 準

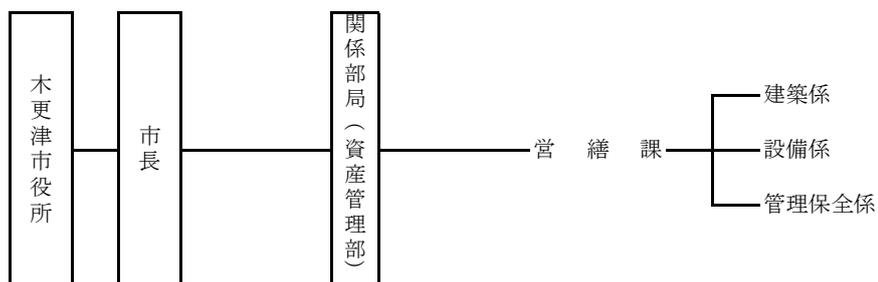
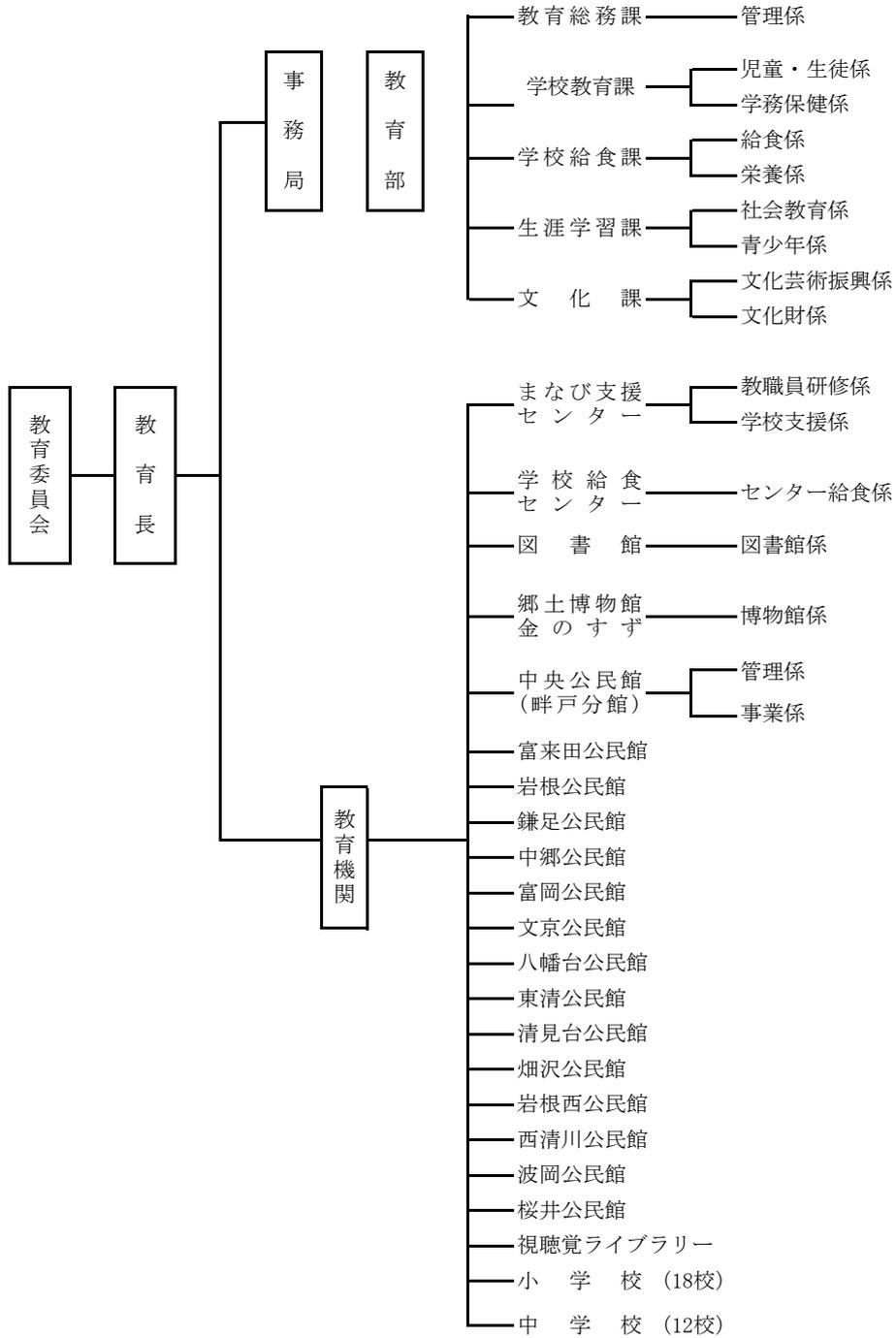
1. 職員にして教育向上のため尽力し、その功績が顕著なもの
2. 有益な研究、考案又は発明をし、教育に貢献したもの
3. 学校教育又は社会教育の振興について、その功績が顕著であったもの
4. 学術又は文化の向上発展について、その功績が顕著であったもの
5. 上記1～4以外で、表彰することが適当と認められる業績があったもの

○ 令和5年度被表彰者

所 属 等	氏 名	備 考
岩根小学校 校長	座 間 良 彦	
波岡小学校 校長	泉 澤 由 和	
富来田小学校 校長	佐 藤 雅 之	
鎌足中学校 校長	佐々木 伸 司	
金田中学校 教諭	木 村 孝 雄	
富来田中学校 教諭	村 田 貴 史	
清見台小学校 養護教諭	伊 東 千 都 世	
中郷小学校 養護教諭	佐 藤 晴 美	
木更津ユネスコ協会 常任理事	武 田 正 次	

教育委員会等機構図

令和6年1月1日現在



○ 事務局（教育部）の業務内容

課 名	主 な 業 務 内 容
教育総務課	教育委員会会議、職員の任免・分限・服務及び身分、教育財産の取得又は処分・契約・登記及びその他管理、奨学基金、学校施設台帳の保存
学校教育課	教育課程・学習指導その他学校教育の指導、教職員の研修、教職員の配置等・人事、通学区域、学校保健
学校給食課	学校給食の運営、学校給食費の賦課・徴収
生涯学習課	生涯学習事業の企画及び振興、社会教育関係団体の育成、生涯学習バスの管理運営、青少年健全育成、少年自然の家キャンプ場
文 化 課	芸術・文化の振興、芸術文化団体の育成、文化財の調査・保護及び活用、埋蔵文化財の保護対策、文化財の指定及び管理、木更津市史の編さん

○ 教育機関の業務内容

機関名	主 な 業 務 内 容
まなび支援センター	教育相談教室・教育支援教室の運営、教職員研修の企画・運営、外国語指導助手の配置・指導等、ICT機器の管理、青少年の非行防止・指導、青少年・子育て相談
学 校 給 食センター	学校給食センターの管理運営、学校給食の献立作成・食材契約、配食校の食指導関係、食物アレルギー対応
図 書 館	図書館の管理運営、図書の管理・貸出、図書館協議会
郷土博物館金のすず	郷土博物館金のすずの管理運営、郷土博物館金のすず協議会、旧安西家住宅、教育普及事業、展示事業、郷土資料の調査
公 民 館	公民館の管理運営、公民館の利用、定期講座、講習会等
視 聴 覚ライブラリー (生涯学習課内)	視聴覚教材及び視聴覚機材の整備及び貸出しに関すること

○関係部局の業務内容

課 名	主 な 業 務 内 容
営繕課	学校施設整備計画の作成、学校施設の整備に係る補助金、 教育施設の維持管理の要望処理、学校施設台帳の整備

教育委員会職員数

令和6年1月1日現在

○ 事務局

課	職	部 長	次 長 部 参 事	課 長 主 幹	補 佐 副 主 幹	係 長 主 査	主任主事 主任技師	主 事 栄 養 士	事務員 嘱 託 員	計
教 育 部		1								1
教 育 総 務 課			1	1		2		1	1 会(1)	6 会(1)
学 校 教 育 課			1	2	3	6	3	1	1 会(2)	16 会(2)
学 校 給 食 課				1	2		2		1 会(2)	6 会(2)
生 涯 学 習 課				1		2	4		1 会(2)	7 会(2)
文 化 課			1	1	2		2		1 会(20)	7 会(20)
計		1	3	6	7	10	11	2	3 会(2)	43 会(2)

○ 教育機関

機関	職	館 所 館 長	主 幹 副 館 長	副 館 長 副 主 幹	主 査	主任主事 主任技師	主 事	事務員 栄 養 士	指導員 相談員 指導助手 支援員 管理人	計
ま な び 支 援 セ ン タ ー		1		1	3	1		1 会(1)	1 会(36)	6 会(37)
学 校 給 食 セ ン タ ー		1		1		1		1 会(1)		3 会(1)
図 書 館		1		1	3	5	1	1	1 会(7)	12 会(7)
郷 土 博 物 館 の す ず		1 会(1)		1		3			1 会(2)	5 会(3)
公 民 館		6 会(8)		9	1	11	3	2	1 会(22)	32 会(30)
計		9 会(9)	1	13	7	21	4	3 会(2)	1 会(67)	58 会(78)

○ 小中学校

学校	職	副主幹	栄養士	総括：学校事務員 用務員・調理員	主任：学校事務員 用務員・調理員	学校事務員 用務員・調理員	計
小 学 校		1	7	4	2	13 会(13)	14 会(13)
中 学 校				3	2	10 会(10)	5 会(10)
計		1	7	7	4	23 会(23)	19 会(23)

教育財政

○ 項目別教育費

単位：千円

款 項 目	令和5年度当初(A)		令和4年度当初(B)		比 較 ((A)-(B))	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
50 教育費	4,679,024	100.0%	3,844,901	100.0%	834,123	21.7%
5 教育総務費	555,497	11.9%	526,553	13.7%	28,944	5.5%
5 教育委員会費	17,360	0.4%	17,225	0.4%	135	0.8%
10 事務局費	386,702	8.3%	372,393	9.7%	14,309	3.8%
17 まなび支援センター費	151,435	3.2%	136,935	3.6%	14,500	10.6%
10 小学校費	826,448	17.7%	580,326	15.1%	246,122	42.4%
5 学校管理費	601,584	12.9%	386,893	10.1%	214,691	55.5%
10 教育振興費	197,101	4.2%	165,701	4.3%	31,400	18.9%
15 学校建設費	27,763	0.6%	27,732	0.7%	31	0.1%
15 中学校費	798,581	17.1%	370,985	9.6%	427,596	115.3%
5 学校管理費	479,681	10.3%	220,096	5.7%	259,585	117.9%
10 教育振興費	135,092	2.9%	145,864	3.8%	△ 10,772	△7.4%
15 学校建設費	183,808	3.9%	5,025	0.1%	178,783	-
25 社会教育費	900,109	19.2%	910,100	23.7%	△ 9,991	△1.1%
5 社会教育総務費	157,821	3.4%	161,580	4.2%	△ 3,759	△2.3%
10 青少年育成費	11,980	0.3%	11,924	0.3%	56	0.5%
15 公民館費	479,568	10.2%	477,660	12.4%	1,908	0.4%
20 図書館費	133,582	2.9%	179,552	4.7%	△ 45,970	△25.6%
25 少年自然の家費	14,703	0.3%	11,101	0.3%	3,602	32.4%
27 博物館費	93,676	2.0%	61,389	1.6%	32,287	52.6%
30 生涯学習まちづくり推進事業費	8,779	0.2%	6,894	0.2%	1,885	27.3%
30 保健体育費	1,598,389	34.2%	1,456,937	37.9%	141,452	9.7%
5 保健体育総務費	0	0.0%	0	0.0%	0	-
10 体育施設費	0	0.0%	0	0.0%	0	-
20 学校給食費	1,598,389	34.2%	1,456,937	37.9%	141,452	9.7%

* 市民1人あたり教育費予算

34,205 円

(令和5年1月1日現在住民基本台帳人口136,792人)

5. 学 校 教 育

学 校 保 健

1 新型コロナウイルス感染症発生状況

R 2 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計 (のべ人数)
小学校						1			1	3		1	6
中学校								1	5		1		7
教職員				1						1			2
合 計				1		1		1	6	4	1	1	15

○前年度3月からの全国一斉臨時休校が千葉県は5月末まで延長され、6月より学校再開。
○夏季休業を2週間に短縮し、修学旅行等の各種学校行事も中止・縮小を余儀なくされた。

R 3 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計 (のべ人数)
小学校	0	1	4	5	20	6	1	0	3	95	228	303	666
中学校	1	2	3	5	24	4	0	0	0	40	44	32	155
教職員	1	0	0	0	3	0	0	0	2	2	14	9	31
合 計	2	3	7	10	47	10	1	0	5	137	286	344	852

○7月～8月はデルタ株、1月～3月はオミクロン株による感染拡大がみられた。
○「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の発令と解除が繰り返され、その都度、各種教育活動における対応が変更された。

R 4 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計 (のべ人数)
小学校	107	94	26	358	341	153	102	289	572	358	120	12	2532
中学校	61	30	10	118	145	48	26	89	201	112	38	21	899
教職員	10	7	0	29	46	16	7	33	50	48	7	3	256
合 計	178	131	36	505	532	217	135	411	823	518	165	36	3687

○7月中旬～8月(第7波)と11月中旬～年末(第8波)、オミクロン株による感染が拡大。
○ウィズコロナ政策の下、各種行動制限が緩和。2類相当から5類への法改正議論が進む。

R 5 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計 (のべ人数)
小学校	9	13	37	23	42	222	29	8	16	181	117		697
中学校	3	28	42	36	37	167	32	10	15	63	61		494
教職員	3	7	16	12	7	33	7	5	2	*	*	*	92
合 計	15	48	95	70	86	422	68	23	33	244	178		1283

2 学校保健特別対策事業費補助金の活用

(1) 令和2年度・・・・・・決算額 101,469,000円

① 学校における感染症対策等支援

- ・ 3密(及び熱中症)対策に係る備品購入 ※サーマルカメラ、大型冷風機、放送機器 等
- ・ 保健衛生用品購入 ※ディスペンサー、消毒液、ペーパータオル、非接触型温度計 等

② 子どもたちの学習保障支援

- ・ 効果的な学習のために用いる教材の購入 ※教材・教具、印刷トナーインク・用紙 等
- ・ 校外学習等のバスの増便に伴う費用

③ コロナ対策等に資する教職員研修等支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する校内研修の講師謝金
- ・ 関連研修等の出張旅費

(2) 令和3年度・・・・・・決算額 37,794,000円

① 学校における感染症対策等支援

- ・ 3密対策に係る備品購入 ※サーマルカメラ、サーキュレーター、書画カメラ 等
- ・ 保健衛生用品購入 ※パーティション、アルコール消毒液、ペーパータオル 等

② 子どもたちの学習保障支援

- ・ 効果的な学習のために用いる教材の購入 ※教材・教具、印刷用トナーインク・用紙 等
- ・ 校外学習等のバスの増便に伴う費用

③ コロナ対策等に資する教職員研修等支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する校内研修の講師謝金

(3) 令和4年度・・・・・・決算額 43,465,400円

① 学校における感染症対策等支援

- ・ 3密対策に係る備品購入 ※電子黒板、CO2モニター、空気清浄機 等
- ・ 保健衛生用品購入 ※アルコール消毒液、ペーパータオル、非接触型温度計 等

② 子どもたちの学習保障支援

- ・ 効果的な学習のために用いる教材の購入 ※タブレット端末充電用アダプター 等
- ・ 校外学習等のバスの増便に伴う費用

(4) 令和5年度・・・・・・予算額 1,811,000円

① 学校における感染症対策等支援

- ・ 保健衛生用品購入 ※アルコール消毒液、ペーパータオル 等

学校給食について

1. 給食の実施方式

(1) 給食センター方式(10校)

木更津第一小学校、木更津第二小学校、清見台小学校、畑沢小学校、請西小学校、真舟小学校
木更津第一中学校、木更津第二中学校、太田中学校、畑沢中学校

(2) 自校親子方式(19校)

(東清小学校・南清小学校)、(祇園小学校・清川中学校)、(岩根小学校・岩根西中学校)
(高柳小学校・岩根中学校・金田中学校)、(波岡小学校・波岡中学校)、(鎌足小学校・鎌足中学校)
(中郷小学校・西清小学校)、(富来田小学校・富来田中学校) (八幡台小学校・木更津第三中学校)
※左に記載されている小学校で2校分、または3校分を調理し、右に記載されている学校へ配送します。

(3) 自校単独方式(1校)

金田小学校

2. 給食費の額

給食費の1食単価は、小学校265円、中学校320円です。

3. 給食の実施日数

各校学年ごとに191日を上限

4. 学校給食センター

木更津市学校給食センターの建設・稼働に関して、PFI方式を採用し「木更津教育サービスPFI株式会社」によるHACCPの概念とするドライシステムでの衛生管理を実施し、最新式調理機器を活用した調理を行っています。

○ 施設概要

所在地	木更津市潮見二丁目13番地1
敷地面積	5,474.93㎡
建築面積	1,912.55㎡
延床面積	2,524.08㎡
構造	鉄骨造2階建
開設年月日	平成21年4月1日

○ 事業概要

施設稼働日	年間199日以内
給食数	6,000食/日(最大提供可能食数)
配食校	給食センター方式による10校

5. 学校給食を活用した食育の推進

- 給食のお米は市内産コシヒカリを提供する中、有機米の全量化に取り組んでおります。また生産者や「のり」の加工場を栄養士が現地取材し、地域食材を活用した地産地消給食の推進など、給食を活用した食育に努めています。
- 「きさらづ学校給食米®」のうち、粒が小さく給食に提供できないお米を活用した調味料「きさらづ 学校給食米本みりん」や「木更津産焼きのり」の成型、既定の大きさにカットする時に出る「のりの切れ端」を給食に取り入れることで、食品ロスの削減につなげています。
- 今後も学校・地域・行政の連携を深め、生産者の顔の見える、協力事業者とつながる食育を促進します。

『のり』を使用した学校給食と食育

焼きのりについて 6年生 家庭科

給食でも提供している「のり」ができるまでの工程や千葉県産の郷土料理「太巻き寿司」の特徴と地産地消について学習

太巻き作り 千葉県伝統郷土料理研究会、木更津市食生活改善サポーターのみなさんに協力いただき、太巻き作りに挑戦！

「端切れのり」を活用した給食 ※1 給食・食育の日に提供している「木更津産焼のり」は成型、既定の大きさにカットすると出るのりの端切れです。

料理に取り入れることで、本来食べられるのに捨てられてしまう食品ロスの削減につなげることができます。

地域の特産品を地域の子どもに食べてもらうことで地産地消を学び、将来の食への関心を高める契機になってほしい!!
～新木更津市漁業協同組合の願いより～

給食メニュー
ごはん 牛乳 にくじゃが ちくわの鹽揚げ

6年生 家庭科

地域の食材!! 『のり』『豚肉』を使用 地産地消給食

『豚肉』を使用した学校給食と食育

豚肉レシピ研究 3年生 社会科

地域の農家の豚肉を使い栄養教諭と料理人で給食での食材の見せ方、野菜の切り方を打ち合わせ

地場産物を食べて経済を回すことが、農家を応援し、木更津(中郷)の活性化につながります。
給食時間の校内放送で料理人からのメッセージ♪

はたらく人とわたしたちの暮らしについて 3年生 社会科

豚肉がお店や給食に届くまでの様子や給食室で調理される様子を生産者と栄養教諭に学びました。

給食に届くまでに時間やたくさんの方が関わります。ありがとうの思いを込めて残さず食べよう!!
生産者より

こんだてを工夫して～ジャーマンポテトを作ろう～ 6年生 家庭科

食べられる!!を調理実習で体験できました。きれいな食材はどうしてかな。調理の仕方でも食べられるかも!水にさらし、薄く切って、よ〜くよ〜く炒めて♪

食育さぽん

祇園小学校

- ☆特産品「のり」を活用し千葉県の郷土料理「太巻き寿司」を調理、試食
- ☆食品ロスの削減から「端切れのり」を活用した給食提供
- ☆児童と講師、生産者等で給食交流

学校給食課

- 生産者の顔の見える地産地消給食の推進
- 給食食材を活用した食育の推進
- 児童と協力関係者との給食試食会の開催

中郷小学校

- ☆精肉事業者と協力して地域生産者の豚肉を納品
- ☆栄養教諭と料理人で豚肉レシピを開発
- ☆生産者と料理人との食育授業・給食交流

発行：令和5年度 木更津市教育委員会教育部学校給食課

「自立する力」と「共生する姿勢」を身につけた児童生徒の育成

家庭・地域社会から信頼される魅力ある学校づくり

学校教育の重点目標

1. 学習習慣の形成

- ①基礎的・基本的学力の定着
- ②学習意欲を高める授業改善の推進
- ③学習に前向きな学級・集団づくり
- ④特別支援教育の充実
- ⑤読書活動の推進
- ⑥ICTを活用した学習活動の定着
- ⑦外国語・国際理解教育の充実
- ⑧キャリア教育の推進
- ⑨家庭学習の習慣化
- ⑩プログラミング教育の推進

2. 自他を大切にする心の育成

- ①正しく前向きな自己決定を促す生徒指導の推進
- ②「なかなかやルー」運動の推進
※3つの心「やさしい心」「ルールを守る心」「一生懸命取り組む心」を育成する(自己肯定感を高める)
- ③道徳教育(人権教育)の充実
- ④いじめのない学級・集団づくり
- ⑤SDGs教育の推進
- ⑥長期欠席児童生徒対応の取り組みの強化
- ⑦コミュニケーション能力の育成
- ⑧共に学ぶ体験活動の工夫・充実

3. 健康・安全意識の確立

- ①健康意識・食品選択能力を育てる食育の推進
- ②健康的な生活習慣の定着
- ③運動意欲の高揚と体力の増進
- ④保健・体育授業の工夫・改善
- ⑤災害に備えた学校安全指導体制の充実
- ⑥地域の安全ネットワークの整備・充実
- ⑦児童生徒のメンタルヘルスの強化
- ⑧新型コロナウイルス感染予防対策の徹底

学校における具体的取組

<ol style="list-style-type: none"> ① ★年間1回は、算数数学検定を受検するように働きかける。 ※算数・数学検定ドリル(過去問題)の活用 ② ★相互授業参観を定期的に設定する。 ③ ★県標準学テにおいて、各学年各教科で半数以上の児童生徒が県平均点を上回る。 ★小学校において、教科担任制、交換授業の導入を積極的に行う。 ④ ★校内委員会を定例化し、個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成、活用を図る。(通常の学級含む) ※特別支援教育木更津システムの活用 ⑤ ★月1冊以上読書する児童生徒を90%以上にする。(読書0の児童生徒をなくす) ★市立図書館を効率的に活用する(電子図書を含む) ⑥ ★情報化推進チームを組織し、教職員のICT活用指導力の向上を図る。 ★全教職員がICTを活用した授業を行う。 ★ICTを活用した授業等の実践例をまなび支援センターHPで共有し、活用する。 ⑦ ★ALTとのチームティーチングを通して、外国語教育を充実させる。 ★ALTの活用を工夫し、国際理解教育を推進する。 ⑧ ★(小)6年生の就業密着観察学習を推進する。 (中)2年生の職場体験学習を充実させる。 ⑨ ★家庭学習啓発資料の作成・配付やA1ドリルの活用等、家庭学習の工夫や定着を目指した取り組みを行う。 ⑩ ★プログラミング学習に関する連携協定を活用し、プログラミング教育の充実を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ① ★「学校評価木更津システム」を効果的に活用する。 ★生徒指導の機能を活かした学級経営、授業づくりを推進する。 ★生徒指導部会を定例化し、関係機関との連携ネットワークを明確にする。 ③ ★「考え、議論する道徳」を意識した特別の教科道徳の学習を、年35時間実施する。 ★地域行事に積極的に参加させる。(地域との交流・ボランティア活動) ④ ★「木更津市いじめ防止対策基本方針」に則した各学校の基本計画を改訂し、いじめ防止、いじめ対応の体制強化を図る。 ★いじめ実態調査を年間3回行う。 ⑤ ★学級経営、いじめ防止対策(生徒指導・教育相談・望ましい集団づくり・発達段階による特性)に関する校内研修を行う。 ★児童生徒の自治的活動による「いじめ防止」を推進する。 ⑥ ★SDGsについて学習する機会を設定する。 ★長欠対策部会を組織し、会議を定例化し、長欠児童生徒の欠席数の減少に努める。 ⑦ ★市教育支援教室「あさひ学級」を効果的に活用する。 ★SC、心の相談員、SSW等の役割を明確にし、効果的に活用する。 ★市教育相談教室を効果的に活用する。 ⑧ ★自らテーマを決めて、研究できる体制をつくり、研究発表を行う場を設定する。 ★勇者の旅プログラムの活用を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ① (小)3年生以上で年間1回「栽培」→「調理」→「食す」体験学習を実施する。 (中)望ましい食生活に関する指導を、全学級で年間1回行う。 ② ★各教科・領域の横断的学習に配慮した食育計画を立案し、実施する。 ★一人一人の生活リズムを把握し、教育相談に活用する。 ③ ★運動能力証合格率を40%以上にする。 ★千葉県体力・運動能力調査の結果を分析し、体育授業の工夫・改善を通して、運動意欲の高揚を図る。 ④ ★保健の授業等で、生活習慣病の予防及びがん教育、薬物乱用防止教育、性に関する教育、性犯罪・性暴力の根絶に向けた取組の実施に努める。 ★保健指導の充実を目指し、学校保健委員会を年間1回行う。 ⑤ ★学校安全の手引に基づき、学校安全指導マニュアルの改訂を行い、機能的な学校安全体制を確立する。 ★実践的避難訓練(予告なし)を年間1回実施する。 ★AEDの使用を含め、心肺蘇生法及びアレルギー等、緊急時の対応に関する研修を定期的に行う。 ★遊具を含めた学校施設の安全点検を日常化する。 ★児童生徒の安全意識の高揚を図る。特に自転車への乗り方については、交通安全教室を実施するとともに、横断歩道の渡り方や通行の仕方について、指導の強化を図る。 ⑥ ★登下校の安全確保のための安全パトロール組織の充実を図る。 ⑦ ★定期教育相談を年間2回以上実施する。 ⑧ ★学校における新しい生活様式を踏まえた感染症予防対策に努める。
--	--	---

教育委員会の重点施策

<p>A 算数数学検定を年間2回実施</p> <p>B スクールサポートティーチャー25名を配置</p> <p>C ALT23名を全小中学校に配置</p> <p>D 読書相談員を全小中学校に配置</p> <p>E スクールアクティブサポーター(SAS)の配置</p> <p>F 特別支援教育支援員の配置</p> <p>G 英語検定料補助金制度の実施</p> <p>H ICT支援員の派遣</p> <p>I プログラミング学習に関する連携協定を生かした活動の推進</p>	<p>A 生徒指導担当者研修会の開催(年3回)</p> <p>B 心の相談員の配置</p> <p>C 市教育相談教室の実施</p> <p>D 教育支援教室「あさひ学級」の活用</p> <p>E 市スクール・ソーシャル・ワーカーの配置・活用</p> <p>F 木更津市中学校合同生徒会の開催</p> <p>G 心の教育推進協議会の活用</p> <p>H アート体験活動の推進</p> <p>I 長欠目標値、具体的取組の設定</p> <p>J 学習活動研究発表会の開催</p>	<p>A 市食育推進計画・アクションプランの活用</p> <p>B 学校安全の手引の活用</p> <p>C 新型コロナウイルス感染症感染対策ガイドラインの活用</p> <p>D 熱中症ガイドラインの活用</p> <p>E 部活動ガイドラインの活用</p> <p>F 防犯ブザー(小1)の配付</p> <p>G 安心・安全メールの配信</p> <p>H 陸上教室の開催(木更津高専との連携)</p> <p>I 「救急こども安心カード」の活用</p> <p>J 防災ジュニアハイスクールの実施</p>
--	--	--

☆研修による指導力の確立☆

- ①夏季教職員研修に積極的に参加する
- ②魅力ある校内研修を推進する

☆家庭・地域社会との協働☆

- ①地域の特色にあわせた、学校支援ボランティア活動を推進する。
- ②コミュニティスクールを推進する

☆教職員のチーム力の向上☆

- ①校内組織を見直し、組織の活性化を図る
- ②働き方改革に向けた業務改善を推進する

①学校による自己評価(統一20項目)

学校評価木更津システム

②学校関係者評価 ③結果の公表

家庭・地域社会、学校・行政によるトライアングル子育て運動

令和5年度 学校教育の重点目標及び推進方策

I 学校教育の重点目標

「自立する力」と「共生する姿勢」を 身につけた児童生徒の育成

—— 家庭・地域社会から信頼され、魅力ある学校づくり ——

II 推進方策

1. 基盤となる方策

- (1) 「家庭、地域社会、学校・行政によるトライアングル子育て運動」を更に推進し、「地域に開かれた学校」、「地域に信頼される、魅力ある学校」をつくる。
 - ① 学校支援ボランティア活動推進事業の推進を図る。
 - ・校内交流会の定例化と実践発表会の開催方法を工夫する。
 - ・担当教職員とボランティアコーディネーターの連携の複線化を図る。
 - ・実践発表DVDの活用を図る。
 - ② 学校評議員制度推進事業の充実とコミュニティスクールの推進を図る。
 - ・学校の教育活動を公開する。
 - ・外部評価委員としての活動の充実を図る。
 - ・学校評価「木更津システム」の結果に基づき、よりよい学校運営を推進する。
 - ③ 家庭との連携の重要性を認識し、教師と保護者の信頼関係を構築する。
 - ・HPの充実 ・各種たよりの工夫 ・家庭訪問、三者面談、オープンスクール等の工夫
 - ④ 学校種間、研究機関、社会教育機関、清和大学、木更津工業高等専門学校、木更津高校、木更津東高校等と連携した取り組みの充実を図る。
- (2) P（計画）・R（調査）・D（実施）・C（評価）・A（改善）のマネジメント・サイクルを柱に、教育施策を推進し、学校教育の活性化に努める。
 - ① 学校評価「木更津システム」に基づいた学校評価及び教育施策評価を行う。
 - ② 人事評価制度を効果的に活用し、教職員の資質力量を高める。
- (3) 教職員の年齢層やニーズに応じた教職員研修を企画運営するとともに、授業改善プログラムを生かし、教職員の資質力量の向上を図る。
 - ① 初任者、ミドルリーダー研修を有効に活用する。
 - ② 夏季教職員研修に積極的に参加し、資質力量の向上のための研さんに努める。
 - ・若年教員が主体的に研修できる体制を整備する。
 - ③ オンライン研修を推進する。
- (4) 学校における働き方改革に向けた、業務改善の推進を図る。
 - ① 勤怠管理システムを活用し、教職員の出勤時刻の管理と、学校行事や業務内容の見直しを行う。
 - ② 「部活動ガイドライン」に沿った、適正な部活動運営を推進する。
 - ③ 学校事務共同実施の推進や、校務支援システムの有効活用を図る。

2. 学習習慣の形成

- (1) 新学習指導要領に基づいた教育課程を編成するとともに、カリキュラムマネジメントに努め、効果的な教育諸活動を推進する。
- (2) 「授業改善」、「学習に前向きな学級集団づくり」、「学習評価の充実」のための、校内研究・教職員研修を計画的、継続的に推進する。
 - ① 層別教員の相互授業参観を推進し、校内における授業研究を充実する。
 - ② 小学校において教科担任制・交換授業を積極的に行う。
 - ③ 全国学力学習状況調査の分析ツールを活用するとともに、県標準学力検査の結果を分析し、課題解決のための具体的取組を実践する。
- (3) 算数数学検定を積極的に活用し、基礎・基本の定着と学習意欲の喚起を図る。

- (4) 「第4次木更津市子ども読書活動推進計画」に基づき、読書活動の一層の充実を図る。
- ①学校図書館蔵書管理システムを活用しながら、読書相談員や学校支援ボランティアと連携し、読み聞かせの充実や学校図書館の整備に努める。
 - ②「読書の日」の有効活用や電子図書サービスの利用等、市立図書館、家庭との連携に努め、読書に対する意欲の喚起を図る。
- (5) 共生社会構築のための特別支援教育の意義を理解し、特別な支援が必要な児童生徒の指導の充実に努める。
- ①保護者との連絡を密にしながら、関係機関との連携に努め、適切な就学支援を行う。
 - ②「特別支援教育木更津システム（第4版）」に基づき、校内の特別支援教育体制の確立を図る。
 - ③児童生徒の実態に応じて個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、校内委員会を定例化する。
 - ④スクールサポートティーチャー（SST）および特別支援教育支援員配置校は、特別支援教育に関する実践研究を行い、成果を広める。
- (6) 家庭学習の定着を目指し、AIドリル等を活用した、児童生徒一人一人の学習意欲や学習スタイル等に応じた個別支援の充実を図る。
- (7) 勤労意欲や正しい職業観を育成するためのキャリア教育の充実を図る。
- ①児童生徒の発達段階に応じた学習活動の中で、効果的なキャリア形成を図るために、「キャリアパスポート」を有効に活用する。
 - ②小学校では、第6学年で半日間程度の就業密着観察学習を実施する。
 - ③中学校では、第2学年で3日間程度の職場体験学習を実施する。
- (8) 外国語教育の充実と国際理解教育の推進に努める。
- ①小学校においては、学習指導要領の外国語活動および外国語科に対応した授業づくりの研修を進め、教職員の指導力の向上を図るとともに、外国語指導助手（ALT）を効果的に活用することによって、言語活動を通じた指導を充実させる。
 - ②中学校においては、ALTとのチームティーチングを効果的に活用し、コミュニケーション能力の育成に努める。
 - ③中学校3年生を対象にした英語検定3級の検定料補助制度を活用し、英語の学習意欲向上を図る。
- (9) 新しい社会 Society 5.0に対応するための、情報教育の推進に努める。
- ①1人1台タブレット等の教育機器の効果的活用を通じ、児童生徒の情報活用能力の育成に努めるとともに、個人情報保護及び情報モラルの高揚（SNSに関する指導含む）に努める。
 - ②教職員の情報活用能力やコンピュータ等を活用した授業づくり等の指導力を向上するための研修の充実に努める。
 - ③校内情報化推進体制の確立を図り、全教職員のICTの活用指導力の向上を図る。

3. 自他を大切に作る心の育成

- (1) 教育活動全体を通じ、人権教育、道徳教育を推進し、児童生徒の人権意識の高揚に努める。
- ①木更津市心の教育推進協議会が提唱する3つの心「やさしい心」、「ルールを守る心」、「一生懸命取り組む心」を養い、豊かな人間性や社会性の育成に努める。
 - ②「考え、議論する道徳」を意識した「特別の教科道徳」の学習を、年間35時間実施する。
 - ③地域の行事や学校支援ボランティア活動の様子を紹介し、地域の行事に児童生徒が積極的に参加できるようにする。
- (2) 教職員の意識啓発と「いじめの予防」、「いじめが起きた場合の連絡指導体制づくり」を柱とし、いじめのない学校づくりを推進する。
- ①「木更津市いじめ防止対策基本方針」に則し、各学校の実情に応じた「学校いじめ防止対策基本方針」を改訂し、いじめ防止、いじめ対応の体制強化を図る。
 - ②学級経営、いじめ対策に関する校内研修をとおり、教職員・児童生徒・保護者が、「いじめはどこにでも存在する。誰でも加害者、被害者になり得る。」という意識を持つ。
 - ③児童会活動や生徒会活動等、児童生徒の自治的活動による「いじめ防止」を推進する。
 - ④定期的にいじめの実態を把握し、いじめが起きた場合には、迅速かつ組織的な対応ができるような体制を確立する。
- (3) 機能的な生徒指導体制づくりに努め、自己肯定感を高める生徒指導の一層の充実を図る。

- ①生徒指導に関する教職員研修を充実し、**生徒指導の機能を生かした学級経営、授業づくり**を推進する。
- ②**生徒指導部会を定例化**し、生徒指導体制を的確に機能させる推進組織とする。
- ③生徒指導上の諸課題に対しては、生徒指導体制の下、全教職員で連携し、組織的に対応する。
- ④「勇者の旅プログラム」等を活用し、児童生徒の自己肯定感を高めるとともに、教職員が児童生徒の人間関係能力を育成するスキルを習得するための研修を推進する。
- (4) 教育相談体制を整備し、**長欠、不登校児童生徒の予防的指導を強化**するとともに、長欠、不登校状態の改善・解消に努める。
 - ①的確な児童生徒理解を推進するため、**定期的に教育相談期間を設置**するとともに、日常的に教育相談が行われるような教職員の意識啓発に努める。
 - ②**長欠児童生徒対策部会を定例化**し、長欠、不登校児童生徒に組織的に対応する。
 - ③児童生徒、保護者からの**相談窓口を明確に**するとともに、**スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の相談員、市教育相談教室などの学校外の相談機関との連携**を図り、教育相談ネットワークを構築する。
- (5) 日常の児童生徒の様子に注意し、虐待が疑われる場合は、児童相談所をはじめとした関係機関と連携し、児童生徒の安全を最優先とした迅速な対応に努める。

4. 健康・安全意識の確立

- (1) 「食」に関する指導の充実を図り、児童生徒の健康管理能力を高め、**健康的な生活習慣の定着**を推進する。
 - ①望ましい食生活に関する指導を、児童生徒の発達段階に応じ、意図的・計画的に行う。
 - ②毎日の給食指導の中で、「食」に関する**指導の日常化**を図る。
 - ③「**早寝・早起き・朝ごはん**」運動を推進する。
- (2) **保健体育に関する授業の工夫改善**を行い、児童生徒の健康維持、体力向上に努める。
 - ①運動課題を明確にし、**達成感を味わえる授業づくり**に心がける。
 - ②保健の授業を計画的に実施するとともに、生活習慣病の予防及びがん教育、薬物乱用防止教育、性に関する教育の実施に努める。
 - ③児童生徒の健康づくりを推進するため、**保健室経営の充実**と年間計画に基づいた、**計画的な保健指導の推進**に努める。
 - ④**学校保健委員会を定例化**し、家庭、地域社会、学校の三者の協力により、組織的に児童生徒の健康づくりを推進する。
- (3) 学校安全指導マニュアルを改訂し、「学校危機管理対策ガイドライン」「学校大災害対応ガイドライン」に基づいた**機能的な学校安全指導体制を確立**し、児童生徒の安全指導の充実を図る。
 - ①**地震・火災・風水害・不審者対応に関する避難訓練（予告なし・引き渡し等）**を実施し、児童生徒の安全意識及び危険回避能力を高める。
 - ②遊具を含めた**学校施設の安全点検の日常化**を図り、学校事故を未然に防止するシステムを確立する。
 - ③エピペンやAEDの使用法を含め、緊急時の対応に関する研修を定期的に行う。
 - ④「救急こども安心カード」を救急隊員等に提供することで、けがやアレルギー症状等の緊急時に、速やかで適切な対応と引き渡しを行う。
 - ⑤「**学校における新しい生活様式**」により感染症予防を徹底することで、**教育活動を継続し、児童生徒の学びの保障**に努める。
 - ⑥中学校では、防災ジュニアハイスクールを活用し、防災意識を高めるとともに、防災対応のスキルを身につける。
 - ⑦「**熱中症ガイドライン**」に基づいて熱中症の危険について正しく理解し、熱中症指数モニター等の活用により事故防止に努める。
- (4) 地域の安全ネットワークの整備に努め、児童生徒の安全対策の強化を図る。
 - ①学校支援ボランティア、PTA等と連携し、児童生徒の登下校の安全確保のための**安全パトロール組織**を構築する。
 - ②学校安全、交通安全等、安全に関する授業や行事等を取り入れ、児童生徒の安全意識の高揚を図る。特に自転車の乗り方については交通安全教室を実施するとともに、横断歩道の渡り方や通行のしかたについて、指導の強化を図る。
- (5) 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に沿って、各学校で適切な活動時間や休養日の設定等の基準に沿った部活動運営に努める。

市内小・中学校指定校等実績一覧

№	校名	市指定	県 関 係												園 関 係																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010	1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017	1018	1019	1020	1021	1022	1023	1024	1025	1026	1027	1028	1029	1030	1031	1032	1033	1034	1035	1036	1037	1038	1039	1040	1041	1042	1043	1044	1045	1046	1047	1048	1049	1050	1051	1052	1053	1054	1055	1056	1057	1058	1059	1060	1061	1062	1063	1064	1065	1066	1067	1068	1069	1070	1071	1072	1073	1074	1075	1076	1077	1078	1079	1080	1081	1082	1083	1084	1085	1086	1087	1088	1089	1090	1091	1092	1093	1094	1095	1096	1097	1098	1099	1100	1101	1102	1103	1104	1105	1106	1107	1108	1109	1110	1111	1112	1113	1114	1115	1116	1117	1118	1119	1120	1121	1122	1123	1124	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1131	1132	1133	1134	1135	1136	1137	1138	1139	1140	1141	1142	1143	1144	1145	1146	1147	1148	1149	1150	1151	1152	1153	1154	1155	1156	1157	1158	1159	1160	1161	1162	1163	1164	1165	1166	1167	1168	1169	1170	1171	1172	1173	1174	1175	1176	1177	1178	1179	1180	1181	1182	1183	1184	1185	1186	1187	1188	1189	1190	1191	1192	1193	1194	1195	1196	1197	1198	1199	1200	1201	1202	1203	1204	1205	1206	1207	1208	1209	1210	1211	1212	1213	1214	1215	1216	1217	1218	1219	1220	1221	1222	1223	1224	1225	1226	1227	1228	1229	1230	1231	1232	1233	1234	1235	1236	1237	1238	1239	1240	1241	1242	1243	1244	1245	1246	1247	1248	1249	1250	1251	1252	1253	1254	1255	1256	1257	1258	1259	1260	1261	1262	1263	1264	1265	1266	1267	1268	1269	1270	1271	1272	1273	1274	1275	1276	1277	1278	1279	1280	1281	1282	1283	1284	1285	1286	1287	1288	1289	1290	1291	1292	1293	1294	1295	1296	1297	1298	1299	1300	1301	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310	1311	1312	1313	1314	1315	1316	1317	1318	1319	1320	1321	1322	1323	1324	1325	1326	1327	1328	1329	1330	1331	1332	1333	1334	1335	1336	1337	1338	1339	1340	1341	1342	1343	1344	1345	1346	1347	1348	1349	1350	1351	1352	1353	1354	1355	1356	1357	1358	1359	1360	1361	1362	1363	1364	1365	1366	1367	1368	1369	1370	1371	1372	1373	1374	1375	1376	1377	1378	1379	1380	1381	1382	1383	1384	1385	1386	1387	1388	1389	1390	1391	1392	1393	1394	1395	1396	1397	1398	1399	1400	1401	1402	1403	1404	1405	1406	1407	1408	1409	1410	1411	1412	1413	1414	1415	1416	1417	1418	1419	1420	1421	1422	1423	1424	1425	1426	1427	1428	1429	1430	1431	1432	1433	1434	1435	1436	1437	1438	1439	1440	1441	1442	1443	1444	1445	1446	1447	1448	1449	1450	1451	1452	1453	1454	1455	1456	1457	1458	1459	1460	1461	1462	1463	1464	1465	1466	1467	1468	1469	1470	1471	1472	1473	1474	1475	1476	1477	1478	1479

小・中学校一覽

木更津市立小学校一覽

令和5年5月1日現在

区分	学校名	電話番号	所在地	校長名	児童数 (人)	学級数	特別支援学級数					通級指導教室	
							知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	弱視	虚弱		難聴
1	木更津第一	23-1051	中央一丁目11番1号	齋藤 淳	397	12	2	2		1		2 (言語)	
2	木更津第二	23-2216	文京五丁目6番24号	根本 修身	423	13	2	1				1 (日本語・聴)	
3	東 清	98-0424	菅生114番地	木村 高士	67	5	1	1					
4	西 清	22-2818	長須賀2445番地	藤平 善史	252	10	2	1					
5	南 清	98-3193	ほたる野三丁目5番地	熊切 和也	320	12	1	1	1	1			
6	清見台	98-2351	清見台南一丁目15番1号	高橋 等	547	18	3	2					
7	祇 園	98-3158	清川一丁目1番1号	福中 義宏	594	19	3	2			1	1 (言語) 1 (日本語・兼)	
8	岩 根	41-1303	西岩根8番1号	座間 良彦	339	12	2	2				1 (日本語・兼)	
9	高 柳	41-2085	高柳5932番地	石渡 勇斗	374	12	3	1				1 (言語)	
10	波 岡	36-2820	畑沢1270番地	泉澤 由和	217	7	2	1				2 (言語)	
11	鎌 足	52-2004	矢那609番地	泉 隆史	92	6	1	1					
12	金 田	41-0009	中島2931番地1	藤崎 仁	387	14	2	1					
13	中 郷	98-0824	井尻978番地	内海 雅彦	95	6	1	1					
14	富来田	53-2004	真里谷518番地	佐藤 雅之	174	7	1	1					
15	畑 沢	36-3003	畑沢南二丁目16番1号	岡崎 由子	562	17	2	2				2 (言語)	
16	請 西	36-9331	請西二丁目8番1号	長島 則彦	531	18	2	1				1 (日本語・兼)	
17	八幡台	36-6696	八幡台四丁目5番1号	土生こずえ	739	23	3	2			1		
18	真 舟	36-0058	真舟二丁目6番1号	北岡 由佳	971	30	2	2					
合 計					7,081	241	35	25	1	2	0	2	12

木更津市立中学校一覽

令和5年5月1日現在

区分	学校名	電話番号	所在地	校長名	生徒数 (人)	学級数	特別支援学級数			通級指導教室
							知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由等	
1	木更津第一	22-5321	中央一丁目10番1号	今井 克彦	298	9	2	1	0	—
2	木更津第二	36-2280	請西941番地	山元 竜二	511	14	2	1	0	1 (日本語・聴)
3	木更津第三	23-2645	永井作一丁目1番1号	白木 克也	289	9	2	1	0	1 (日本語・兼)
4	岩 根	41-2096	高柳三丁目7番49号	中尾 崇	203	6	1	1	0	—
5	鎌 足	52-2092	矢那2797番地	佐々木伸司	44	3	1	1	0	—
6	金 田	41-0032	中島2820番地	佐久間正哲	101	3	1	1	0	—
7	富来田	53-2020	真里谷275番地	伊豆 浩江	96	3	1	1	0	—
8	太 田	98-7001	東太田一丁目2番1号	藤本 佳子	699	19	3	2	0	—
9	畑 沢	36-5021	畑沢1053番地1	吉岡 秀樹	313	9	2	1	0	—
10	岩根西	41-3681	久津間373番地	須田 雄策	155	6	2	1	0	—
11	波 岡	36-0911	大久保三丁目9番1号	石井 隆久	463	12	1	1	0	—
12	清 川	98-0188	中尾1096番地	長島田鶴子	324	10	1	1	0	—
合 計					3,496	103	19	13	0	2

児童・生徒数の推移

各年5月1日現在

(単位：人)

区 分		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
小学校	児童数	6,960(236)	6,930(247)	6,960(277)	6,867(311)	6,817(327)	6,740(341)
	学級数	252(50)	248(51)	245(58)	243(60)	244(63)	241(65)
中学校	生徒数	3,392(97)	3,367(118)	3,348(119)	3,358(135)	3,319(144)	3,350(146)
	学級数	111(26)	107(27)	106(29)	105(28)	105(33)	103(32)
小中計	児童・生徒数	10,352(333)	10,297(365)	10,308(396)	10,225(446)	10,136(471)	10,090(487)
	学級数	363(76)	351(87)	351(87)	348(88)	349(96)	344(97)

() は特別支援学級

教育相談・教職員研修・学校支援事業

1. 目的

教育相談事業活動の充実を図るとともに、教職員研修・学校支援活動を推進し、子どもたちの健やかな成長と教職員の指導力向上を支援する。

2. 業務内容

(1) 教育相談

① 教育相談教室：精神科医、臨床心理士等による、発達障害や不登校等、学校生活上の様々な問題を抱えた子どもたちの教育相談活動を実施する。

令和5年度実施回数及び人数（1月1日現在）：40回（のべ119件） 96人（人数は実人数、対象児童生徒数）

②教育支援教室「あさひ学級」の運営：不登校児童生徒の社会的自立を目指し、学校以外の場やオンラインを利用して、自主性、主体性の育成、学習支援、人間関係の改善を図るための支援を行う。

・開設場所：まなび支援センター内

・開設日時：月曜日～金曜日（学期は小中学校と同じ） 10：00～15：00

・通級者数（*令和5年度は、1月1日現在 仮通級含む）

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5
人数	16	16	17	15	16	14	15	25	20	25	34	29	27	38	40	41

(2) 学校教育関係職員の研修

① 研究指定校：木更津市研究指定校の研修会の取組を支援する。

② 夏季教職員研修講座：教育相談・特別支援教育、授業改善等現場のニーズや今日的課題に即した研修を実施する。

③ 初任者研修、ミドルリーダー研修等教職員層別研修を実施する。

④ 外国語教育充実に向けた研修：学級担当が主導する外国語科、小中連携の在り方についての研修を実施する。（小学校外国語実践研修：4校で実施／小中連携外国語授業研修会：各校1名参加）

⑤ 情報教育の充実：コンピュータを含めた教育機器を活用した授業のあり方についての研修を実施する。

(3) 学校支援

① 小・中学校に外国語指導助手（ALT）の配置：児童生徒の英語でのコミュニケーション能力向上と国際理解教育推進のために配置し、効果的な活用方法について研究する。

② 算数数学検定：児童生徒の学習意欲の喚起を支援するため年2回実施する。

③ ICTを活用した授業実践の収集と提供：情報化推進リーダーと連携を図り各校のICTを活用した授業実践を収集し、誰でも閲覧できるシステムを構築する。

④ 学校ネットワークの活用促進および小・中学校のホームページの充実支援、センターホームページの充実を図る。

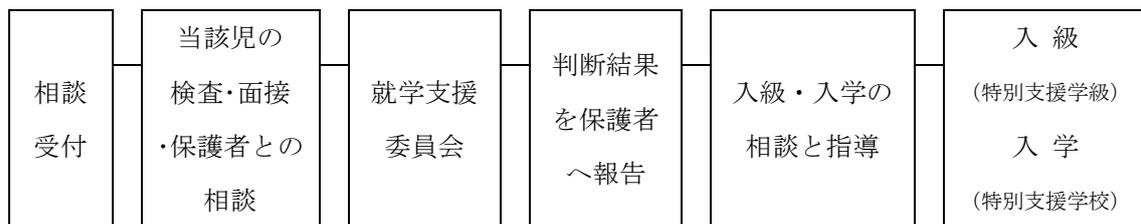
特別支援教育

『特別支援教育』とは、特別な支援を必要とする児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものである。また、特別支援教育は、これまでの特殊教育の対象の障がいだけでなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。さらに、特別支援教育は、障がいのある児童生徒への教育にとどまらず、障がいの有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となるものである。

○ 就学支援委員会

就学支援委員会では、特別な支援が必要な児童生徒に対し、ニーズに合った教育的支援を医学的・心理的・教育的見地から総合的に審議検討し、適切な就学措置を判断して指導している。

・入級（入学）の手順



近年、就学支援委員会の対象となる児童・生徒が増えており、その重要性からも一層の充実を図っていかなければならない。

○ 知的障害特別支援学級

知的発達の遅滞や意思疎通に軽度の困難さのある児童・生徒に対して、発達段階に応じた教科指導や基本的生活習慣の確立、日常生活に必要な基礎的な技能の習得を目指しスモールステップで指導を行っている。

○ 自閉症・情緒障害特別支援学級

自閉症やそれに類するもの¹で、意思疎通や対人関係の形成に困難さのある児童・生徒、情緒障害²があるために学校生活や社会生活への適応が困難な児童生徒に対して、情緒の安定を図り、円滑に集団に適応し、より充実した生活が送れるように指導を行っている。

¹ アスペルガー症候群を含む広汎性発達障害

² 内在化のタイプ（選択性かん黙、不登校、過度の不安やうつ状態、身体愁訴を訴える場合など）と外在化のタイプ（かんしゃくや集団からの逸脱行動など）がある

○ 肢体不自由特別支援学級

日常生活動作に困難さのある児童・生徒に対して、障がいに基づく困難を主体的に改善・克服するための指導を行なっている。特に、自立活動の指導において、身体の動きの改善を図ることやコミュニケーションの力を育てることに重点を置いている。

○ 弱視特別支援学級

視機能が低下している児童・生徒に対して作業や行事等を通して生活体験の拡大を図ったり、補助具の活用の仕方を学ぶ場を設定したりして、障がいに基づく困難を改善・克服するための指導を行っている。

○ 難聴特別支援学級

聴覚機能が低下している児童に対して、保有する聴力を最大限に活用し、多様なコミュニケーション能力を高めるための指導を行っている。

○ 言語障害通級指導教室（ことばの教室）

ことばの教室では、ことばに課題のある児童に対し、その要因をできるだけ的確に把握し、コミュニケーション上の困難を改善または軽減する教育を行っている。児童の自己表現の援助をし、社会生活への適応力を高めることなどを目標としている。

就 学 援 助

○ 奨学金制度

本市奨学金制度は、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学基金により入学資金の支給及び奨学資金の貸し付けを行う。

・ 入学資金

学 校 種 別	支 給 額
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校	25,000 円
大 学	50,000 円

・ 奨学資金（限度額）

学 校 種 別	貸 付 額
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校	月 10,000 円
大 学 短 期 大 学 高等専門学校(4・5年)	国・公立 月 40,000 円 私立 月 50,000 円

・ 年度別奨学資金新規貸付者数

年度	高校生	大学生	計
H24	1	2	3
H25		2	2
H26		2	2
H27		2	2
H28	1	1	2
H29	1	1	2

年度	高校生	大学生	計
H30		2	2
H31(R1)		2	2
R2		2	2
R3		2	2
R4		2	2
R5		1	1

○ 就学援助制度

経済的に困難な児童、生徒の保護者に対し、就学に要する経費の補助を行うもので、令和6年1月1日現在、29,469,002円の援助を行っている。

○ 特別支援教育就学奨励制度

特別支援学級へ就学する児童、生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に要する経費の補助を行うもので、令和6年1月1日現在、7,430,520円の補助を行っている。

6. 生涯學習

1 青少年の健全育成

青少年の成長と自立を実現するために、家庭、地域、学校・行政をはじめとした、多様な人間関係のなかで青少年を育み、支える環境づくりを推進し、地域の教育力の向上を図ります。あわせて青少年育成に係る団体・関係機関等の一層の連携と担い手育成に取り組みます。

(1) 青少年育成推進体制の充実と地域の教育力の向上

- ・青少年の指導育成、保護、矯正に関する総合的施策や自立支援方策等について必要な事項を調査・審議するとともに、関係機関との連絡調整を図るため、青少年問題協議会を開催します。
- ・家庭、地域、学校・行政が連携して地域の教育力の向上を図るため、子どもたちの居場所づくりを進める「生き生き子ども地域活動促進事業」等の取り組みを進めるほか、これらの活動を支援する地域の担い手の育成に努めます。
- ・青少年の健全育成を推進するため、県と連携し青少年相談員を委嘱し、制度の活性化と活動の充実を図ります。
- ・制度の持続化や地域の青少年の指導者育成の観点から、将来の青少年相談員となる人材を確保するため、制度の知名度向上のための施策を実施します。
- ・地域での青少年健全育成活動を推進するため、子ども会育成連絡協議会、青少年育成木更津市民会議等の関係団体を支援します。

(2) 青少年育成事業の推進

- ・青少年の豊かな人間性を育み、自立と社会参加を促すため、生き生き体験キャンプ事業や野外体験促進事業、成人式事業など、青少年育成に関する各種事業を地域の参画による世帯間の交流を通じて実施します。
- ・少年自然の家キャンプ場が、自然体験活動の拠点として一層活用されるよう、積極的な広報や老朽化した施設の計画的な整備に努め、利用促進を図ります。
- ・国や県のマニュアル、ガイドラインに沿い、関係機関との連携を図りながら、新型コロナウイルス感染症対策を徹底します。
- ・青少年のさまざまな活動を支援するため、アフタースクールボランティアやユースボランティアなど各種ボランティアを活用するとともに、各ボランティアの活性化を図ります。

(3) 青少年を取り巻く環境浄化と非行防止

- ・さまざまな問題に悩む青少年や保護者への支援を行うため社会教育指導員による相談活動（電話相談・来所相談・メール相談）を実施します。
- ・青少年の非行防止と健全育成を図るため、青少年補導員による地区街頭補導、乗車マナー指導、喫煙・飲酒防止キャンペーンなどの「青少年への愛の一声運動」を関係機関・団体との連携のもと行います。
- ・青少年の非行防止と健全育成に関する啓発のため、青少年健全育成だより「News Letter」の発行や青少年指導関係活動報告「青少年に愛の一声を」を発行するとともに、関係機関や学校、また地区住民会議や地域の各種団体と連携し、地域ぐるみの非行防止啓発活動に

取り組みます。

- ・青少年の非行防止と健全育成を図るため、関係機関や青少年補導員・相談員・PTAなど地域の関係団体とともに、青少年を取り巻く有害環境浄化活動を行います。
- ・青少年育成、非行防止に関わる関係機関・団体・有識者との連携を図り、まなび支援センターの青少年指導関係事業を効果的に運営するために、青少年指導関係運営協議会を開催します。

2 社会教育の推進

さまざまな暮らしの課題に対し、市民一人ひとりがあらゆる機会、あらゆる場所を利用して学習できる環境を整えるとともに、社会の変化に対応したまちづくりを推進するために、必要な学習機会を提供し、その活動を奨励します。

また、社会教育を推進する各機関・団体との連携・協力や社会教育施設の整備を図ります。

(1) 生涯学習・社会教育推進体制の充実

- ・広く民意を反映し、市民参画による社会教育行政の推進を図るため、社会教育委員会議に社会教育推進施策等を諮問し、答申や意見を求めます。
- ・総合的な生涯学習の推進にあたり、広く市民の意見や要望を取り入れるため、生涯学習推進協議会を開催します。
- ・市民に多様な学習機会を提供し、学習活動を側面から支援するため、職員の力量形成の向上に努めるほか、専門職員による学習支援体制の充実を図ります。
- ・社会教育機関が持続可能な地域づくりを推進する拠点として、SDGs 達成に貢献する多様な学びの場となるよう、関係職員の研修活動の充実に努めます。
- ・近隣市や県内の関係団体とも連携し、社会教育関係委員や社会教育関係職員の研修活動の充実に努めます。
- ・視聴覚教材を活用し、各種団体・機関等の学習活動を支援します。
- ・社会環境の変化に対応した「第2次生涯学習基本構想」と「基本計画」のあり方について検討、協議します。
- ・今後の公民館のあり方に鑑み、関係部等と調整しながら、公民館の総合的な整備の方向性を検討します。

(2) 生涯学習・社会教育活動の充実

- ・家庭教育の不安や悩みを解消するため、家庭、地域、学校・行政が一体となって家庭教育力向上を図ります。
- ・家庭教育支援の拡充を図るため、官民含めた機関、団体との連携を図り、社会全体で子育てを支援する機運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの環境を充実します。
- ・女性の社会参加の促進や地域社会・まちづくりへの積極的な関わりを推進するための、学習機会の提供に努めます。
- ・市民の多様で高度な学習ニーズに対応するため、市内高等教育機関と連携した公開講座の開催や市政に理解を深めてもらうことを目的とした出前講座を実施します。また、「動く教室」として生涯学習バスを運行します。
- ・市民による生涯学習活動の一層の拡充と生涯学習を通じたまちづくりの振興を図るため、若者語り場など生涯学習に関する啓発事業を実施します。特に、若手が中心に関わる

事業展開を目指します。

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大に配慮し、オンラインを活用した事業に取り組みます。
- ・社会教育関係団体との協働の事業を推進し、団体が自主的に行う社会教育活動の円滑な運営や一層の充実を図るため、求めに応じて助言・指導します。また、木更津市教育振興事業補助金交付要綱に基づき、対象となる事業に対して補助金を交付し活動を支援します。
- ・生涯学習活動により培ってきた知識や経験など、市民の生涯学習の成果をそれぞれの社会生活や地域社会に活かすための情報提供に努めます。

(3) 図書館サービスの充実

- ・利用者の要望及び社会の要請に対応するため、基本的運営方針、資料の収集方針、各年度ごとの事業計画の策定及び公表について検討し、運営の状況、目標の達成状況等に関して自らの点検及び評価を行うよう努めます。また、市民の生活や仕事に関する課題及び地域に関する課題の解決に向けた活動を支援するため、本市の実情に即した情報や各分野にわたる資料を収集・整備・提供するとともに、県内外の公共図書館、大学図書館や他機関との連携を図り、豊富な情報資産を活用して、司書によるレファレンス機能を充実させ、的確な情報提供を行います。さらに、ハンディキャップにより図書館への来館や読書が困難な市民に対して点字図書・録音図書・大活字本や電子図書を計画的に収集し、読書格差が生じないようにします。
- ・図書館遠隔地の市民の読書環境を整備するため、公民館図書室資料の整備・充実を図ります。
- ・子どもの読書活動の推進を支援するため、児童図書の整備、学校及び教諭、読書相談員との連携を強化します。
- ・地域住民の学びを支える図書館づくりを図るため、図書館ホームページ・図書館報等により情報を発信するとともに、利用者・地域・他機関との協働・連携を推進し、魅力ある講演会・講座・展示会等の事業展開に努め、利用者の一層の拡大を図ります。

(4) 公民館活動の充実

- ・市民の学習要求に応えるため、各種学級・講座を実施します。また、安心して暮らせる地域社会の構築を図るため、生活課題や地域課題の解決に向けた学級講座を実施します。
- ・家庭教育の充実を図るため、小中学校や地域の教育機関との連携を進めます。また、親同士のネットワークを広げるため、乳幼児期、児童期、思春期の各成長段階に応じた家庭教育学級や子育て講座を地域の状況にあわせて実施します。さらに、地域において乳幼児と親が孤立しないため、気軽に集える場を提供し、子育てを支援します。
- ・未来を担う青少年の健全な育成を図るため、サタデースクール事業等の青少年教育事業を実施します。また、地域ぐるみの青少年健全育成を促進するため、生き生き子ども地域活動促進事業を支援します。さらに、効果的な事業の推進を図るため、地区住民会議など、地域や学校、各種関係機関との連携・協働を進めます。
- ・高齢者の生きがいや健康づくりを促進するため、高齢者教室を実施します。また、豊かで活力のある長寿社会の実現のため、高齢者の持つ豊富な知識や経験を活かした他世代交流の機会を創出するとともに、社会参加を促進します。
- ・民意を反映した公民館運営の推進を図るため、各種事業の企画実施について調査・審議する公民館運営審議会を開催します。また、地域住民の自主的な社会教育活動を推進する

ため、市民参画による事業を進めます。さらに、地域の絆づくりと新たなコミュニティ形成を図るため、地域住民や各種関係機関との協力支援体制を構築します。合わせて、地域自治の拠点として行政と地域をつなぐ役割を担い、まちづくり協議会の支援に取り組みます。

(5) 生涯学習・社会教育施設の整備（郷土博物館金のすずを除く）

- ・耐震診断の結果、建物の耐震性能が不足とされた施設について、耐震補強工事の実施に努めます。
- ・快適に学習できる環境を維持するため、建物や設備の不具合を補修するほか、備品の管理に努めるなど、適正な維持・保全及び整備に努めます。

3 市民文化の充実

市民がふるさとの歴史や文化に誇りと愛着を持つために、地域の芸術文化を育む環境づくりを図りながら多様な芸術文化活動の推進をめざします。また、歴史的な文化遺産と豊かな自然を後世に伝えていくため、埋蔵文化財、古文書、民具、伝統行事などを保存し、継承するとともに、それらの保管管理ができる施設の整備に努めます。

(1) 芸術文化活動の推進

- ・児童生徒の芸術文化にふれる機会を充実させるため、音楽鑑賞教室等の事業を企画します。また、市民を対象にプロの芸術家などによるコンサートやアート制作ワークショップを開催し、多くの老若男女がアートと直接ふれあうことができる環境づくりを行い、本市全体に少しずつアートの概念を根付かせながら、芸術文化の向上を図ります。また、収蔵作品の適正な保存、管理及び活用に努めます。
- ・各種芸術文化団体の自主的な活動を支援するため、情報提供や助言するとともに、市内の芸術文化団体が実施する事業へ補助金を交付します。さらに、市民会館大ホールが利用できないため、市外の対象施設を利用する場合に使用料の一部を補助します。

(2) ふるさと文化の継承

- ・市内に所在する有形・無形の文化財、史跡、天然記念物の保護を図るため、文化財の指定・活用・周知に努めます。また、市内の文化財を保存・伝承する団体を支援するため、求めに応じた助言・指導とともに補助金を交付します。
- ・埋蔵文化財保護のため、開発事業に対応した調整を図り、必要な発掘調査や整理作業を実施し、調査報告書を刊行して記録保存に努めます。また、発掘調査で出土した資料を博物館の展示に活用し、適正に管理するよう努めます。
- ・本市の歴史や文化、また豊かな自然への関心を高めるため、新たな「木更津市史」を編さん・刊行し、調査・研究成果を活用した学習活動の支援や公開講座の実施に努めます。
- ・博物館事業の充実を図るため、学校の受入れ等を積極的に行う博学連携事業及び市民が博物館事業の運営に参画する市民との連携事業をさらに推進し、利用者の増大に努めます。
- ・金塚塚古墳出土品の国宝化をめざして推進事業に取り組むとともに、国の機関等との共同研究及び資料整理を行い、研究報告書を刊行します。
- ・博物館事業の充実を図るため郷土に関する調査研究を、市民、研究者及び研究協力機関と協力して推進し、その成果を企画展事業や講座、体験教室等に反映させます。

(3) 文化施設・郷土博物館金のすずの整備

・市民文化の発展に資するため、新たな中規模ホールの活用方法の検討を進めます。また、埋蔵文化財を適正に管理するため、公共施設再配置計画の中で施設の整備に努めます。

4 人権擁護の推進

社会状況の変化とともに発生しているさまざまな差別意識を解消し、相互に基本的人権を尊重し、すべての人が自分らしい生き方のできる社会を実現するために、学校教育・社会教育における新たな人権教育の充実を図ります。

(1) 人権意識の高揚

- ・差別のない人権が尊重される社会の実現のため、人権の理念を普及し、その理解を深めるための研修を行います。
- ・人権問題に対する市民の理解を深め、人権に対する意識を高めるため、啓発活動を推進します。

社会教育事業

○ 生涯学習課事業

事業名	概要
社会教育委員会議	広く民意を反映し、市民参画による社会教育行政の推進を図るため、年4回開催。(臨時会1回)
人権教育研修会	人権教育のより一層の推進を図るため講演会を開催。 実施日：令和6年2月27日(火) テーマ：「男らしさ・女らしさ」より「その人らしさ」を大切に～性的マイノリティについて～ 講師：星野 慎二氏(特定非営利活動法人SHIP理事長)
家庭教育支援事業	困難を抱えた子どもを持つ保護者のための家庭教育支援事業として、講演会を開催。 実施日：令和6年3月1日(金) テーマ：発達障がいへの理解を深めるために～子どもの個性や特性に応じて必要な支援とは～ 講師：後藤 紗織氏 (清和大学短期大学部准教授 公認心理士・臨床心理士)
家庭教育学級研究集会	家庭教育学級の意義やあり方について学び合うことを目的に開催。 実施日：令和6年1月31日(水) テーマ：家庭教育学級のあり方について～来年度にむけて～ 講話：「家族の健康～早寝・早起き・朝ごはん～」 講師：山野寺 由紀氏(元市保健師)
生涯学習推進協議会	総合的な生涯学習の推進にあたり、広く市民の意見や要望を取り入れ、生涯学習を推進することを目的として、年2回開催。
きさらづ市民カレッジ	高等教育機関等と連携して高度な学習機会を提供し、市民の多様な学習要求に応えるとともに生涯学習の振興を図ることを目的として、3コース(地元学コース、清和大学・清和大学短期大学部コース、木更津高専コース)全24回の講座を開催。 ※木更津市郷土博物館「金のすず」と連携し、実施
生涯学習バス「まなび」	生涯学習の「動く教室」としてバスを運行し、公民館事業等をはじめ、市民の生涯学習活動における体験的学習の機会拡充を図った。
きさらづ出前講座	市職員等が市民の学習会、集会、会合に出向き、市の施策や取り組み、身近な生活に役立つ情報などについて説明する講座を88メニュー提供し、市政へ関心と理解を深めることを目的として実施した。
視聴覚ライブラリー事業	視聴覚機材及び教材を管理し、教育機関・学校等へ視聴覚機材及び教材を配達し、視聴覚教育の充実を図った。
少年自然の家キャンプ場利用促進事業	少年自然の家キャンプ場を会場に、青少年関係団体等協力の下、模擬店の出店や焚火・竹細工・野外炊さんといった体験ができる「キャンプ場まつり」を実施予定だったが、台風の影響により中止とした。
野外体験活動促進事業	子どもたちの体験活動を促進するためのモデルとなるような事業や、事業を計画するための参考となるようなプログラム等の資料作成事業を実施。団体への委託事業。

青少年問題協議会	青少年の指導育成、保護、矯正に関して関係機関との連絡調整・情報共有を図るべく協議会を2回実施予定。
アフタースクールボランティア養成事業	子どもたちが放課後や週末に自由に集い、遊び、学べる場をつくり、活動を手助けするためのボランティアを養成、組織化し、子どもたちの地域での活動を支援するための事業として年間を通し、生涯学習課、公民館事業への協力や定例会等を実施。
生き生き体験キャンプ事業	中学生及び小学6年生を対象に、ふるさとの自然環境を生かした自然体験活動の中で子どもたちの豊かな感性を養い「生きる力」を育むとともに、地域のリーダーを養成することを目的としていたが、事業の見直しのため令和5年度の実施は見送った。
生き生き子ども地域活動促進事業	学校・家庭・地域社会の連携の下で、子どもたちの体験活動機会を意図的に作り出し、児童・生徒が積極的に地域活動に参加するような事業を実施。地区住民会議への委託事業。
二十歳を祝う会 (旧成人式)	二十歳としての自覚を持ち、「自らが作る二十歳を祝う会」という意識を高めるため、当事者自らが実行委員会方式で企画・運営を行う。令和6年1月7日(日)かずさアカデミアホールにて実施予定。※令和4年度より成人式から二十歳を祝う会に名称変更。
放課後子ども教室推進事業	家庭、地域、学校・行政が連携し、子どもたちが放課後に安全・安心に過ごせる居場所づくりを目的として市内7小学校区に7教室設置している。
子ども会新インリーダー・新役員講習会	子ども会の運営上必要な仕事を明らかにし、リーダーの具体的な役割を理解することを目的に講習会を実施。
ユースボランティア登録制度	地域での小中学生の活動支援、及び青少年の奉仕活動・体験活動の機会を提供するため、高校生・大学生等のボランティアを登録。

○ 文化課事業

事業名	概要
芸術文化振興事業	市内小中学校で音楽鑑賞教室を行い、芸術鑑賞の機会をつくることのできた。また、市所蔵の美術品を市民一般へ展示・公開に供するため、適切な管理を図った。
芸術文化に親しむまちづくり振興事業	市民を対象としてプロの音楽家や芸術団体等を招いたコンサートの開催をするとともに、木更津駅周辺の公共施設等を活用したアートのワークショップを実施して芸術文化の振興を図り、本市全体にアートの概念を根付かせながら市民の文化レベルの向上を図った。
芸術文化活動補助金事業	「木更津市文化協会」等の社会教育団体が行う教育振興事業に要する経費に対し、補助金を交付し芸術文化活動の支援を図った。
市民会館市外利用等補助金事業	市民会館大ホールの利用を停止していることから、代替施設の利用料を補助することによって、市民の文化・芸術活動の維持・振興を図った。
金鈴塚古墳出土品国宝化推進事業	金鈴塚古墳の魅力を紹介するイラスト・パンフレット等を市内小学校の対象児童へ配付して、ふるさと木更津への愛着心の醸成を図った。
文化財保護審議会	木更津市文化財保護条例の規定に基づき設置され、市内に所在する文化財の保存・活用に関して意見を具申し、必要な調査を実施して、本市文化財行政の円滑な推進と文化財の保存・活用に寄与した。
文化財保護事業	文化財全般の保護と活用を図るため、「金鈴塚古墳」「貝渕木更津県史蹟」等の市内に所在する、指定文化財及びその他の文化財の管理、出土した金属製品を対象とした文化財保存処理を行った。
文化財保護事業補助金事業	「県指定無形文化財木更津ばやし保存会」等の社会教育団体が行う、教育振興事業に要する経費に対し、補助金を交付し有形無形文化財の継承・保存の支援を図った。
市内遺跡発掘調査事業	市内の中小規模開発や個人住宅建設等に対応して、試掘、確認調査を実施して開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図るとともに、土地区画整理事業に伴い発掘調査を行った千束台遺跡群について整理作業及び調査報告書の刊行を行い、文化財の保護活用を図った。
木更津市史編集委員会	附属機関設置条例の規定に基づき設置され、新たな「木更津市史」の編さん・刊行に関し、市史編集計画の審議と調査を行い、事業遂行に必要な事項を市長に答申又は建議することにより、木更津市史編さん事業の推進に寄与した。
木更津市史編さん事業	市史基本構想及び基本方針や刊行計画に基づき市史編さん部会を組織し、「通史編」「史料編」「民俗編」「自然編」の編さんに向けて各部会が分担して史・資料の調査、研究に取り組み、「史料編4 古代」及び「自然編資料」については刊行・公開の作業を行った。また、調査・研究成果を市民に提供するため木更津市史デジタルアーカイブを公開するとともに「木更津市史研究」などを作成した。
金鈴塚古墳保護事業	き損が目立つ金鈴塚古墳の復旧工事を実施することにより、古墳の適切な管理と地域住民への安全性の確保が可能となった。

将棋文化継承・普及関連事業	「木更津市長杯小中学生将棋大会」開催し、将棋を通じて地域の芸術文化の振興を図った。
---------------	---

公民館

○ 中央公民館

事業名	実施回数	事業概要
ボランの広場	5	ハンディキャップを抱える人に対し、可能な範囲で実施出来る体験活動や学習機会を提供することにより、仲間との交流や余暇充実の一助となった。
おしゃべりためき学級(家庭教育)	11	小中学生期の子育てや家庭教育のあり方について考えるとともに、子育てを通じて地域の母親の交流と仲間づくりをすすめた。
中央コミュニティカフェ(地域課題)	7	まちづくり協議会と共催事業として、地域住民が気軽に立ち寄り交流する機会を提供すると共に、地域課題を探るコミュニティカフェを開催した。
中央郷土史講座	11	木一中学校区を中心とした郷土の歴史、文化・伝統などについて学習し、地域に発信すると共に郷土愛を育む機会を提供した。本年度は「一中学区の隠れた歴史を探ろう」をテーマに学習した。
スマートフォン講座	2	高齢者層を対象として、発達していく情報機器について学ぶ機会を提供することにより、受講された方に、生活のツールとしてより役立させて頂くことを目的とした。
中央KIDSクラブ(サタデースクール事業)	10	市内の様々なボランティア団体の協力を得ながら、近年減少傾向にある自然体験、野外体験活動の機会を提供し参加者の自主性、社会性の醸成を図った。
中央ふれあい学級(高齢者学級)	11	高齢者を取り巻く諸問題について見識を広めるとともに、高齢者の生きがいづくりや健康増進を図ることを目的に開催した。
中央健康講座	6	あらゆる世代が健康のために今からできる習慣作りをテーマに、実習や講義を通して多角的な面から健康について考える場を提供した。
気まぐれウォーク	1	コロナ禍による自粛生活からくる運動不足やストレスの解消のために、健康ウォーキングを開催した。
てくてく木更津わくわく散歩中央コース	1	『木更津街なか路地めぐり～路地の先には未来が見える～』のテーマのもと、昔ながらの通りや路地を歩きながら、中央地区の歴史を探ったり新たな木更津を発見したりする機会とした。
ステップためき学級(思春期学級)	11	高校生以上の保護者を対象に、思春期の子どもの心身の成長や家庭教育のあり方について情報交換や学習をしながら、地域の保護者の交流と仲間づくりを目的として実施。
利用者懇談会	2	公民館の目的や役割、利用方法等について理解を深めるとともに、利用団体相互の交流・情報交換の場となった。
中央公民館だより発行事業(公民館HP含む)	12	公民館事業の報告を中心に、生涯学習情報や身近な地域の話題を取り上げ、地域に対して広く情報を発信した。
やすらぎの珈琲講座	4	珈琲の種類、淹れ方などの基礎知識を学び、コミュニティカフェのボランティアの育成を目的とすると共に、地域住民の生活を潤す一助として開催した。
木更津第一中学校区住民会議(事務局)	4	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換を通じて、青少年健全育成のための交流を図った。
中央地区まちづくり協議会(事務局)	5	地域で活動する多様な団体が会する場として、地域課題を主体的に解決していくための会議や事業を実施した。今年度は、コミュニティカフェの開催や避難訓練など防災関連のイベントを実施した。
第47回中央公民館まつり(事務局)	1	3年振りの開催となったが、新型コロナウイルスの影響により、参加団体数は過去と比べ少なかったが、反省会での意見交換の成果を次回に生かしていきたい。
図書貸出事業	通年	図書の貸出、整理など、資料の提供を行った。

○ 木更津市立公民館(全体事業)

事業名	実施回数	事業概要
てくてく木更津わくわく散歩	5	地域には固有の「歴史」「文化」「人材」という魅力がある。これらの魅力を再発見していただくと共に、公民館活動を広く周知し、利用者の拡大へとつなげることを目的に、5月・10月・11月に全5回を連携して全館で実施した。
さとやまアドベンチャー	1	木更津の里山の自然を生かした体験を提供し、自然とのふれあいやそこに住む大人たちとの交流を通し、子どもたちの豊かな心と身体を育み、自然豊かな木更津の魅力を再発見する目的として、小学生を対象にツリーイング・竹細工製作・草木染め・きのこ観察・ネイチャーゲーム・どんぐり工房などを実施した。
スマートフォン活用講座	3	全市民を対象とした、講座を行うことで日頃関わることの無い他の地域にお住いの受講者が関わることができ、操作の方法だけではなく、広い範囲で交流の場とすることが出来た。また今年度は初心者だけでなく応用編としてスマホを更に便利に活用するための講座も実施した。
情報モラル教育推進講座	1	情報モラルについての正しい知識を広めることで、インターネット上で起こりうる事件やトラブルから身を守ることを目的とした講座を実施。

○ 木更津市立公民館(ブロック連携事業)

事業名	実施回数	事業概要
Aブロック(中央、文京、桜井)		夏休みに親子対象のデイキャンプ、冬に食育に関する講座を実施した。 ・夏休み親子デイキャンプ(7月) ・食育に関する講座(太巻さずし、味噌づくり:1月~2月) ・フリースペース(各館で実施)
Bブロック(富来田、富岡、岩根、岩根西、金田出張所)		里山の冒険8月(青少年健全育成事業)1回 陶芸教室7・8・9月(成人教育事業)4回 太巻さずしに挑戦12月(家庭教育関係事業)1回 富来田祭典3月(地域課題関係事業)1回
Cブロック(清見台、東清、中郷、西清川)	9	地域の課題(食をテーマ)や家庭教育学級、食育の講演会を実施した。 ・私たちの食を考える講座7・8・9・12・1月の5回 ・家庭教育学級5・6・9・11月の4回
Dブロック(畑沢、波岡、八幡台、鎌足)	5	4公民館ともに開催している家庭教育学級の分野で連携を行うことにより、各公民館事業の発展につなげた。 【テーマ「聴くという字は十四の心と書く」】 ・家庭教育講演会 3回(7月・11月・翌2月) ・さんぽカフェ(参加者同士が自由な雰囲気ですべての情報交換や悩みを口にできる場として設定)2回(9月・12月)

○ 富来田公民館

事業名	実施回数	事業概要
子ども体験教室※一部共催(サタデースクール事業)	4	地域の方の協力を得て、梅狩り実施し梅ジュースづくりや梅干しづくり、お飾り作り、ガラスボックス作りを実施。大人と子どもが楽しく時間を過ごし、異年齢交流を深めた。
ワクワク子ども陶芸教室※(サタデースクール事業)	4	富岡公民館にて実施。子どもの自由な発想を活かしながら、ものづくりによる知育を育て、道具等の協力による人間関係を学ぶ機会を提供した。
水鉄砲サバイバルゲーム(サタデースクール事業)	1	ユースボランティア、アフタースクールボランティア協力のもと、親子を対象にサバイバルゲームのための会場づくり、ジビエを使ったカレー作り、水鉄砲の工作と実際のゲームを行った。親子間のみならず他家族や異世代間交流の機会となった。
生き生きロビー活用事業	通年	ふるさと観光、来館記念の思い出写真等のため、伝統のかすりの着物、手作り甲冑の貸出を行った。
花いっぱい運動※(生き生き子ども地域活動促進事業)	2	感染症予防が緩和され、今年は小中学生ボランティア及び青少年健全育成会議の役員、青少年相談員、サークルのボランティアが参加し、6月と12月に、公民館の花壇の植替え及び除草作業を実施した。
デイキャンプ(生き生き子ども地域活動促進事業)	1	富来田地区青少年健全育成会議で8月にデイキャンプを計画し参加者を募集したが、参加者はいなかったため中止となった。
きらきらひろば(富来田家庭教育学級)	通年	乳幼児・小学生・中学生の保護者を対象に、館内のフリースペースを利用できる場を準備し利用を促した。
ふくた健康講座	6	腸の健康・フレイル予防講座・長寿の秘訣・インボディ計測と運動等の理解を深め、学級生の健康増進に努めた。
富来田みどり学級※(高齢者学級)	11	事前に学級生と相談し、年間計画を策定。ものづくり体験、涵養を高める学習、芸術鑑賞等を実施した。
富来田ふるさと講座	10	開講時に班編成し、年間の計画を作成。郷土の学びを深め、受講生自身が学びを語れるようになる機会を模索した。
Someデイハイク	3	主に中高年層を対象とし、「歩き」を通して体力・健康寿命の向上を促進させることを目的に3回実施した。
ディスカバーウォーキング	1	主に中高年層を対象とし、歩きを通して「新たな発見」を目指すと共に体力・健康寿命の向上を促進させることを目的に実施した。
生き生きクッキング講座	-	地区社会福祉協議会との連携で計画したが、参加希望者が少数であったため中止。
スマートフォン講座(地域課題講座)	1	異世代間交流を軸に、富来田中学校とその生徒の協力の下、高齢者がスマホに慣れ親しむ機会とすべく実施した。
てくてく水更津わくわく散歩	1	「産業・文化・自然豊かな富来田の1日」と題し、万葉の歌碑・コスモスロード・国産バナナ園などの見学等を行い、富来田の魅力を紹介した。
利用者懇談会	1	年度末に利用方法の再確認のための資料を配布。
富来田地区まちづくり協議会	通年	役員会、総会、各事業の実行委員会を経て、4年ぶりとなる富来田地区納涼大会、5年ぶりとなるコスモスフェスティバルを開催し、活動を支援した。
展示ホール活用事業	通年	地域住民、博物館等の協力を得て、展示ホールを開放し、市民作品や博物館情報の公開を行った。
公民館だより発行事業	12	富来田公民館だよりの各地区全戸配布による公民館情報等の提供(富来田公民館だより)その他に、小中学校等へも配布した。
地域活動支援事業	通年	区長会、富来田ふれあいの会、フレンズスポーツ倶楽部、武田川コスモスロードの会、元且マラソン大会実行委員会など、地域で活動する団体の求めや必要に応じた助言・援助を行った。特に地域で発足した里山農業体験塾では、子どもの事業担当として地域とともに事業を運営することができた。
富来田地区市民文化祭	1	4年ぶりに富来田商工祭と同時開催。各団体・サークルの作品展示や舞台での発表の場となった。
富来田地区青少年健全育成会議※(事務局)	6	事務局として総会、役員会を開催し、地域の子どもの健全育成に関する情報交換、花いっぱい運動の事業運営を協力して行った。
図書貸出事業	通年	図書の貸出・整理、リクエストの受付、各種資料の提供。

※富岡公民館と共催事業

○ 岩根公民館

事業名	実施回数	事業概要
子どもなんでも体験教室(サタデースクール事業)	1	多様な体験(正月飾りづくり)を通して、物ごとへの関心を高めた。
岩根つくし家庭教育学級	10	小中学生を子どもに持つ親を対象に、家庭教育の役割等、子どもの心と身体について学習し、子育てを支えあう仲間づくりの機会とした。
岩根すぎな家庭教育学級	10	高校生以上の思春期の子どもを持つ親を対象に、家族や地域との関わり方を学びながら、家族や地域を支えあう仲間づくりを目指した。
岩根スマートフォン教室	2	スマートフォンを持っているが、使い方がわからない初心者を対象に、その使い方について学習し、誰もが現代の通信社会に対応できるようになることを目指した。
岩根健康学習会	10	健康と病気予防の大切さを学び元気に過ごす知恵を体得した。話し合い学習を通して、健康を支え合う仲間づくりを進めた。
岩根郷土史講座	10	郷土に関する歴史を学び、ふるさとの再発見を通して、郷土を愛する心を育てた。
利用者懇談会	1	公民館活動への理解を深めるとともに、利用者相互の交流を図り、もって公民館活動の推進を図った。
公民館報発行事業	12	地域の生涯学習、公民館活動、地域情報を発信し、地域内の社会教育及び公民館活動の振興を図った。毎月1回の定期発行、全戸配布を行った。
青少年育成岩根東地区住民会議(事務局)	6	青少年健全育成に関わる団体相互の連絡調整を図るため定期的に会議を開催し、地区内の青少年健全育成の機運を高めた。また、今年度は文化祭の模擬店展売店の中に防災非常食を体験するコーナーを設けたり、「地域の先輩に学ぶ」の講師を12名に増やし、中学1年生を対象に行い、中学2年生には、実際の職場を体験してもらった様変更を加えた。
岩根公民館運営協力委員会(事務局)	4	効果的な事業運営と住民主体の公民館活動を図るため、地域住民からの助言、協力を得た。
岩根東地区まちづくり協議会(事務局)	4	地域における諸課題に対し、地域各団体が連携を取り解決していく組織。今年度は新たに、生活環境改善事業のひとつとして、地域猫問題に取り組む地域猫対策部会を発足した。また、コミュニティカフェ事業では、公民館との共催で「にじいろサロン」を今年度も実施した。
図書貸出事業	通年	市立図書館の協力支援のもとに、地区住民の読書活動の普及促進を図った。
子どもサイエンス教室(サタデースクール事業)	1	夏休みに入り、小学生とその保護者を対象に観察や実験などを通して、科学の楽しさに触れた。
にじいろサロン	10	まちづくり協議会との共催事業として、地域住民が音楽やパフォーマンスを楽しむ機会を作るとともに、地域課題を探るコミュニティーカフェの場としても位置付け、実施した。
岩根陶芸教室	4	Bブロック連携事業の一環として、岩根西公民館と共催した。陶芸の基礎を学ぶとともに、文化祭での展示を目標に作品作りに取り組んだ。地域内外の受講生同士で交流を行い、親睦を深めた。
岩根ほがらか高齢者教室	9	学びを通じて高齢者の生きがいづくりや健康増進を図るとともに、高齢者を取り巻く課題の理解を促進した。
第66回岩根東地区文化祭(共催：同実行委員会)	1	今年度は敬老会も加わって、展示・発表・イベントの3部門とも例年なみの規模で開催した。
いきいき子ども地域促進事業(事務局)	1	文化祭において、防災クイズを加えたウォークラリー大会を実施したり、防災体験コーナーを加えた模擬店を開催した。

○ 鎌足公民館

事業名	実施回数	事業概要
子ども体験事業 (サタデースクール事業)	6	土曜日や夏・冬休みを利用して、親子の交流と地域文化の継承などを目的に実施した。
You*You (遊友) 鎌足	36	地域の子どもが地域の大人と日常的・定期的に関わり合うことを目的としたフリースペースを企画した。
どんぐり山の親子くらぶ	17	母親同士の交流、情報交換を図りながら、地域で子育てを行う環境の醸成に努めた。
すみれ家庭教育学級	5	小中学生の保護者を対象に、子育てに関する学習や情報交換等を行った。
鎌足むかし発見講座	2	地区内の歴史・仏像等の調査結果について学習し、地域の歴史・文化をより深く知り、周知するように努めた。
伝統ほうき作り研究	3	原材料を栽培し、途絶えつつある伝統技術を学び、地域の活性化につなげる方法を模索する。
東洋医学から読み解く私たちの健康	4	健康を維持するための様々な視点で学習する。
野山歩き隊	1	千葉県内の自然公園を歩き、歴史・自然に親しみ、健康増進を図る。
鎌足ふるさとたずね歩き (共催：鎌足ふるさとかるた会)	1	鎌足内外の方に、鎌足地区の歴史を紹介し、郷土愛を深めた。
優れた文化に触れる教室	1	優れた建造物や美術品などに触れることにより、鎌足地域の文化醸成・発信の一助とした。
精進料理教室	1	地元の食材を使用して、誰でも作ることのできる精進料理を学ぶ機会を提供する。
公共施設予約システム操作研修会	1	サークル・団体の公共施設予約システムの利用促進を図るために実施した。
鎌足公民館利用者懇談会	1	鎌足公民館を利用する地域団体関係者・利用サークル代表者の情報交換、交流を図る。
たこづくり・たこあげ大会	1	鎌足地域で賑づくり・賑揚げ大会を通じて、世代を超えた地域住民の交流の場とする。
鎌足公民館運営協力委員会	1	公民館活動への理解を深めると共に、助言・協力を得た。
館報発行事業	12	公民館と地域住民を結び公民館活動への理解を深め、生涯学習機会の情報を提供した。
図書貸与事業	通年	地域住民の読書活動の推進を図った。
鎌足地区青少年育成住民会議 (事務局)	2	地域ぐるみで青少年の健全育成・地域の子育て環境の醸成に寄与した。
鎌足地区まちづくり協議会 (事務局)	通年	地域における諸課題に対し、地域住民及び各団体が連携を取り解決していく方法を模索した。
P T A ナイトツアー (協力)	1	鎌足小学校を会場に関係団体等が協力して、小学生の体験事業を行った。
鎌足校学級	10	健康増進や趣味の充実の為に学び生きがいづくりに資するとともに、地域の高齢者の交流の機会とした。
第44回鎌足地区文化祭 (事務局)	1	敬老のつどいと合同開催し、芸能発表も行うことができ、地域文化の醸成に寄与することができた。

○ 中郷公民館

事業名	実施回数	事業概要
中601探検オリエンテーリング大会 (東清川・中郷地区青少年育成住民会議中郷分会主催)	1	中郷中学校跡地を含め20か所のポイントを設置、親子で地域にまつわる問題を解きながら制限時間内に巡ることにより、地域への愛着と青少年健全育成活動の促進となった。
中郷幼児家庭教育学級 (中郷どれみふあキッズ)	15	孤立しがちな母親同士の仲間づくりや基本的な学習を実施した。
中郷こども体験教室	2	勾玉づくり、凧作りを通して子どもたちの体験や伝統文化への理解を深める。
中郷ふれあい夏まつり (東清川・中郷地区青少年育成住民会議中郷分会主催)	1	中郷地区の様々な団体が事前準備、出店、運営等を実施し、夏まつりを実施。予想を超える地域の方々が来場した。
親子精進料理教室	1	安心安全で地産地消と親子の触れ合いを目指して、誰もが簡単に作れる精進料理教室を開催
魚料理教室	1	魚市場のプロによる実践的な魚の扱い、さばき方、調理等を学習。
中郷カレッジ	8	中郷地区だけでなく、周辺地域を含めた様々な歴史や民俗、文化に目を向け学ぶことにより、地域の文化をより深めていく一助とする。
連句入門教室	1	俳句の生まれる元となった連句を通して、日本文学の奥深さを学ぶ。
はじめての生け花体験教室	2	新年を迎えるにあたって、伝統文化である生け花を学ぶ。
はじめてのカード織り教室	8	古来世界中で行われていたカード織りを学び、新たな手芸技術に根ざした日常生活を手に入れる。
夕方から始める健康講座	4	年齢が上がるにつれて不具合の出てくる体のケア方法を学ぶ。
文化とアートを学ぶ教室	2	地区外の優れた文化遺産とその背景を学び、地域文化の醸成に資する。
中郷ワンデイハイク	2	住民の健康増進を図る。
パパ育のススメ	1	子育てを夫婦ともにするためにパパの育児について学び、ともに考えていく。
メイクアップで人生を楽しむ講座	1	メイクアップを通して、人生の後半を楽しく過ごすためのメソッドを学ぶ。
中郷キッズシアター	1	人形劇を通して、子どもたちのワクワクや想像する力を引き出す。
フリースペース	33	乳幼児の親子や地域住民が様々なことを話したり、相談できる場として設置。子育て支援センターの協力もいただく。
公民館だより発行	12	公民館事業及び地域の情報を広く地域全体に提供・発信する広報活動を展開した。
中郷公民館運営協力委員会 (事務局)	通年	効果的な事業運営と住民主体の公民館活動を図るため、地域住民からの助言、協力を得た。
東清川・中郷地区青少年育成住民会議中郷分会(事務局)	通年	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換や中GO！探検オリエンテーリング大会等の開催を通じて、青少年の健全育成を推進した。
中郷地区まちづくり協議会(事務局)	通年	地域の身近な話題に、自主的かつ主体的に対処し、安全で安心な暮らしを魅せる魅力ある地域づくりの推進に取り組んだ。
図書の貸し出し	通年	地域住民にとっての身近な“図書館”として、利用の促進及び読書活動の普及を図った。
第41回中郷地区文化祭 (事務局)	1	地区内の様々な活動をしている団体や個人の学習成果を披露する場を設け、更なる中郷文化を発展させていく。

○ 富岡公民館

事業名	実施回数	事業概要
わくわく子ども陶芸教室 (サタデースクール事業) ※	4	陶芸を通してものづくりの楽しさを学び、子どもどうしの交流を深めた。
チャレンジ和太鼓体験教室 ※	4	地域の後継者育成を図るため、小学生が日本の伝統芸能である和太鼓を体験した。
富岡陶芸教室	8	陶芸の基礎知識と技術を学び交流を深めるとともに、サークルへの入会を促し活動の継続を支援した。
書き方を楽しむ講座	5	毛筆・硬筆の基本を楽しく学びながら日本の伝統文化について理解を深める機会を提供し、サークル化に繋げた。
とみおかここにこカフェ	12	地域の誰もが気軽に参加し、各種催しを通してコミュニケーションを深めながら楽しいひとときを共有する場として、コミュニティカフェを開催した。
てくてく木更津わくわく散歩	1	大鐘地区から上根岸地区まで約7キロのコースを散歩するとともに創作紙芝居を上演し、富岡の歴史、偉人、自然、名所など、地域の魅力を紹介した。
富来田みどり学級(高齢者学級) ※	8	日常生活に必要な学習やものづくりなどを通して、高齢者が健康で豊かな毎日を過ごすための一助とした。
第4回富岡地区文化祭	1	富岡地区の文化の発表の場として、サークル・住民・子どもの作品、地域活動の展示・紹介や各種イベントを通して、住民の交流と結束を促し、地域の絆を深めた。
利用団体代表者会議	1	富岡公民館の運営や令和5年度事業、地区文化祭などについて周知を図り、理解と協力を促した。
富岡公民館運営協力委員会	5	とみおかここにこカフェの運営や富岡地区文化祭、公運協・利用者合同移動研修会の実施に取り組んだ。
公運協・利用者合同移動研修会	1	館山市の戦争遺跡や千葉県有形文化財の旧安房南高校木造校舎など、普段見ることのできない貴重な文化遺産を見学し、見識を深めるとともに、委員と利用者相互の交流を深めた。
富来田地区青少年健全育成会議	4	富来田地区の青少年健全育成に向けて、総会、役員・理事会、花いっぱい運動を行った。
富来田地区まちづくり協議会	4	4年ぶりとなる富来田地区納涼大会やコスモスフェスティバルを開催するなど、事務局として活動を支援した。
花いっぱい運動(富来田地区青少年健全育成会議主催) ※	2	とみおか・ロマン街道の会の協力を得て、7月と11月に公民館の花壇やロマン街道沿いの花の植替えを行った。

※富来田公民館との共催事業

○ 文京公民館

事業名	実施回数	事業概要
サタデーきつずチャレンジ (サタデースクール事業)	6	創作活動や体験学習を通して、技術の向上やものづくりの楽しさを伝える機会とした。
書初め教室 (サタデースクール事業)	1	新しい年に希望を込めて、書き初めの課題を楽しく練習した。
文京ネイチャークラブ自然探検隊 (サタデースクール事業)	2	地域に残るホテルの生息地を訪ね、自然環境について親子で考える機会とした。 木更津の里山を訪ね、豊かな自然体験を提供する機会とした。
子育て広場カモミール (家庭教育学級)	11	木更津第二小学校・請西小学校通学の児童を持つ保護者を対象に、家庭教育の役割について学び、親同士の交流を図りながら、子育てに関する諸問題をともに考える機会とした。
にこにこルーム (乳幼児家庭教育学級)	11	概ね、生後10ヶ月～就学前の乳幼児及びその保護者を対象に、様々な遊びを通じて参加者同士の交流を図る機会とした。
乳幼児親子のためのフリースペース	12	子育て世帯を支援するために、親子で遊べる場や子育ての情報提供、育児相談などを行える場を提供した。
放課後広場「プラタナス」	5	放課後等において、児童が安心・安全に過ごせる居場所づくりの支援をした。
てくてく木更津わくわく散歩文京コース	1	木更津第二中学区の魅力再発見として、貝淵・新田地区の史跡や公的施設を見学し、また、地元商店のメニューの試食等を行うコースを紹介し、新規公民館利用者を得ることができた。
防災学習講座	1	災害時等に役立つロープワークやビニール袋活用方法を学び、地域住民の防災についての意識向上を図るための機会とした。
スマートフォン講座	2	スマートフォンの基本・応用的な操作方法や「アクアコイン」・「らづfit」等の便利なアプリ機能について学んだ。
文京ふれあい学級(高齢者教室)	11	65歳以上の高齢者を対象に、心と身体の健康維持・増進・生きがいづくりと仲間づくりを講義や実技を通して行った。
健康講座	3	健康について考え、身体を動かすきっかけ作りとするため「ヨガ体験講座」及び「ワンダーハイキング」を実施した。
潤い生活講座	2	潤いのある生活を生み出すための一助とするため、「花」をテーマにした物作りの講座を実施した。
地域住民の方のためのフリースペース	1	地域住民相互の情報交換、仲間作り及び孤立化を防ぐことを目的に、気軽に集える場の提供としてフリースペースを実施した。
夏休み限定!小学生のための学習スペース	5	夏休みにおいて、児童が安心・安全に過ごせる居場所づくりの支援をした。
利用者懇談会	1	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。
公民館だより発行事業	6	公民館事業の案内や地域情報を発信した。
木更津市立木更津第二中学校区 青少年健全育成住民会議(事務局)	7	二中学区の青少年健全育成のため関係団体や教育機関等と各種会議、情報交換を行った。(桜井公民館と共催)
地域交流防災学習体験会 (生き生き子ども)	1	災害に際し、自らが生活する二中学区の防災活動の担い手となることの気づきの場とすると共に、児童の健全育成と地域防災意識の向上のため各団体との連携・協力の場とすることを目的として実施した。(桜井公民館と共催)
ごみ拾い活動(生き生き子ども)	-	桜井地区を中心にごみ拾い活動を計画したが、雨天のため中止とした。(桜井公民館と共催)
第2回文京公民館まつり(事務局)	1	展示・イベント・芸能発表を行った。延べ来場者数は3,000人となり、サークル・地域住民の交流の場とすることが出来た。
木二中学区学社連携会議	1	木二小・請西小・真舟小・木二中の小中学校の担当職員と公民館職員で会合を持つことにより、相互の活動の円滑化・活性化を図った。

○ 八幡台公民館

事業名	実施回数	事業概要
ほたる鑑賞の夕べ (サタデースクール事業)	1	地元上烏田に発生するほたるの鑑賞を通して地域の自然環境を理解する機会とする。また併せて世代間の交流を図った。
親子ハゼ釣り教室 (サタデースクール事業)	1	4年ぶりに開催。八幡台で活動している「八幡台釣り同好会」の皆さんを講師に、親子で「ハゼ釣り」体験を行なった。家族や地域の方との交流を図ることが出来た。
八幡台サタデースクール夏休み 体験事業(サタデースクール事業)	3	「茶道体験」及び「絵手紙体験」「和太鼓体験」を実施。子どもたちが、普段では学ぶことができない分野を学ぶ機会を創出することができた。
お飾りづくり教室 (サタデースクール事業)	1	地元上烏田に伝わる正月のおかざりづくりを通じて、地域の伝統文化を理解するとともに世代間の交流を図る場とした。
遊び塾なみ・ほち (サタデースクール事業)	1	波岡小学校の児童と一緒に、自然体験や制作体験を地元講師に教わりながら行うことにより、異学校交流、異学年交流を図った。
めばえ家庭教育学級	10	親子遊び、母親同士の交流を通して仲間づくりを行うとともに、育児に関する知識を学ぶことにより、よりよい子育ての手助けを行った。
ひばり家庭教育学級	10	主に小学生期の児童を持つ親を対象に、家庭教育や子育て学習を通して、親同士のつながりをつくることができた。また、子どもの理解や親のあり方について考えた。
思春期家庭教育学級 (波岡公民館共催事業)	10	思春期の子どもを持つ親を対象に、家庭教育や子育て学習を通して、親同士のつながりをつくることができた。また、子どもの理解や親のあり方について考えた。
八幡台郷土史講座	10	郷土の歴史・民俗・文化を学習し、郷土への理解と愛着を深め、郷土愛を育てた。併せて地域住民の交流が図られた。
八幡台健康講座	一	現代的課題の一つである「健康」について学習し地域住民の健康増進を図る計画であったが、都合により開催を見合わせた。
スマートフォン体験教室	3	スマホに不慣れな方を対象に、スマホの使い方や木更津市が推進するらぶナビ等の取り組みについて説明した。
てくてく木更津ワクワク散歩八幡台コース	1	八幡台地区の身近な自然にふれる機会を作るために、「ほたる舞う美しい里山から開発続く街並みへ」というコースを設定し実施した。
美化(びか)ボランティア活動	5	「私達の公民館を日常的にキレイにしておきたい」と月に1回、草取りや、草刈、花壇の植え替えや、水撒き等を行うボランティア活動が今年度から始まった。
利用者懇談会	1	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。
八幡台公民館だより発行	9	公民館活動を広く周知するとともに、地域の情報紙として機能するよう活用を図った。
波岡地区学校公民館連絡会	1	波岡中学校区の児童、生徒にかかわる情報交換及び学校及び公民館の次年度年間事業計画の共有を行った。
八幡台かえて学級	10	社会の変化や健康等についての学習を通して、高齢者の生きがいの増進と健康の維持、仲間づくり、地域づくりを図った。
図書貸出事業	通年	図書のリクエストや貸し出し業務を行い、読書活動の普及と推進を行った。
サークル支援事業	通年	主に館を利用する団体・サークルが円滑な運営をするために、活動の調整等で支援した。
コロナに負けるな、俳句で吹き飛ばせ！俳句作ろうコンテスト(共催事業)	1	八幡台小学校児童を対象に、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、自宅でもできる活動として俳句コンテストを実施した。
ひばりカフェ(共催事業)	12	地域間の交流促進を図るとともに、情報提供の場や活動の仲間が集められる場所を設けた。
星空シアター(共催事業)	1	公民館前の四季の杜の広場に大きなスクリーンを設置し、星空の下映画鑑賞を実施した。
窓ガラスに絵を描こう！(共催事業)	2	八幡台小学校児童及び波岡中学校生徒を対象に、水性クレヨンを使って公民館の窓ガラスいっぱい絵を描いた。またボランティアで関わった地域の大人達とも交流を図った。
ちょこっと講座(共催事業)	5	八幡台地区の住民を対象に、介護や子育てなどその時々々の身近な話題の情報を提供し、いっしょに考える場を設けた。
中学生によるスマホ教室(共催事業)	1	波岡中学校生徒を講師として招き、スマートフォンの使用方法について高齢者の質問に答えてもらった。生徒の社会参加を促進し、多世代交流の機会を創出することができた。
第20回四季の杜音楽祭(共催事業)	1	4年ぶりに開催。芸能関係のサークルの発表を実施。来場者数は、500人で、地域住民の交流の場となった。
第40回上烏田・八幡台・羽鳥野 地区文化祭(共催事業)	1	展示・芸能発表・イベント(模擬店・体験教室)などを3日間で実施。来場者数は、2,300人となり、サークル、地域住民の交流を図った。
生き生き子ども地域活動促進事業 (共催事業)	1	凧づくりを通して親子、地域の大人と子どもの交流の機会とする。郷土の民俗文化への理解を深めた。(青少年育成連絡会議と共催)
波岡中学区青少年育成連絡会議(事務局)	通年	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓発活動を行うことにより、地域ぐるみの青少年育成活動を推進した。
ひばり(八幡台小学校区)まちづくり協議会(事務局)	通年	防災や地域福祉など、地域の身近な課題を住民が自主的かつ主体的に取り組む活動を支援し、安全で安心な住みよい、地域づくりの推進に寄与した。
波岡東地区 地域を考える会(事務局)	通年	会議に参加し、地域住民の抱える悩みやその他の現状を情報共有した。
八幡台小ひばりチャレンジ広場 (協力事業)	通年	八幡台小児童の放課後の居場所づくり事業として保護者や地域が主体となる運営委員会により実施し、その活動を支援した。今年度は開催に向けて打ち合わせ等を実施し、開催した。

○ 東清公民館

事業名	実施回数	事業概要
夏の子ども教室 (サタデースクール事業)	2	夏休み等に創作活動や体験的な学習を実施し、異年齢児童の交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。(ポスターづくり)
冬の子ども教室 (サタデースクール事業)	3	冬休みに創作活動や体験的な学習を実施し、異年齢児童や地域の大人との交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。(クリスマスリースづくり、お飾りづくり教室、書き初め教室)
春の子ども教室 (サタデースクール事業)	2	春休みに創作活動や体験的な学習を実施し、異年齢児童や地域の大人との交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。(練り切りづくり、クレープづくり)
親子映画会	1	映画の視聴を通して、親子のふれあいの場とともに、豊かな情操を育む一助となった。
小中学生のママ講座	10	小中高生の子どもの持つ親の子育てに関する学習や情報交換、地域での母親のネットワークづくりを図ることができた。実技も昨年の経験をふまえて、1歩進んだ作品に挑戦することができた。
子育て学級 (フリースペース)	7	主任児童委員と連携して町内会の集会所を会場に実施し、地域に住む親子同士の交流と主任児童委員から子育てのヒントやアドバイスを貰える場を提供することができた。
ふるさと歴史講座	8	木更津市や千葉の歴史を学ぶことにより、郷土愛を深め、新旧住民相互の交流の機会となった。
石造物調査隊	14	地区内の石造物の調査及び記録活動を通じて身近な郷土の文化遺産を後世に伝承することができた。
ふるさと歴史ハイキング	1	地域住民の健康増進とともに、自然に触れることで環境への理解を深めることができた。
てくてく木更津わくわく散歩	1	戦国時代のロマンと里山の豊かな自然を楽しみながらウォーキングすることで、東清川地区の魅力や木更津市内の住民にPRできた。
初心者のためのスマホ入門教室	2	スマートフォンを利用して使いやすさを感じている方等を対象に、スマホを利用した情報収集・活用方法についての基礎的な学習機会を提供することを目的として開催した。
トールペイント入門教室	3	小中学生のママ講座で大変好評だったトールペイントをサークル化を視野に3回の体験教室を行った。
パッチワーク体験教室	2	手芸の一つであるパッチワークについて学び、その魅力に触れる機会を提供した。また併せてパッチワークに係る基礎的な技能の習得を図ることを目的に開催した。講座の参加者を中心とした新規サークルを作ることができた。
ヨガ・ピラティス体験教室	4	身体のゆがみや癖を矯正しつつ、健やかな体を作っていくヨガをサークル化を視野に4回の体験教室を行った。新規サークルを作ることができた。
東清さわやか学級 (高齢者学級)	10	健康体操や落語、脳トレ等、楽しく生き生きとした笑顔の中実施できた。今年度も県外に2回の移動研修も実施できた。
東清シニアカフェ	11	民生委員や北部包括支援センターと連携し、スマホの使い方だけでなく、健康相談や健康体操、ゲーム、美容、健康講座等外部講師にも依頼して楽しく高齢者の居場所づくりを進めることができた。
発酵ライブ体験教室	6	健康で豊かな生活を送るために、発酵に関する講義や移動研修、実習を通して、食育や免疫力アップに繋がる意識を高めることができた。
東清市民講座	2	実際に災害に直面した状況を想定して、身近にある道具を活用しながら様々なグループ作業を取り入れながら学習することで、災害時における事前準備・対策について実践的に学ぶことができた。
利用者懇談会	1	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とすることができた。
公民館だより「かけはし」発行	12	地域の情報や公民館活動・生活情報などを幅広く住民に発信し、住民と公民館との「かけはし」となった。
図書貸出事業	通年	市立図書館と連携し、地域における読書活動の普及を図った。
東清川地区まちづくり協議会(事務局)	10	防災部会を中心に避難所開設訓練、地区防災講座等を実施した。また、青少年育成住民会議や地区社会福祉協議会と連携して地域づくりを進めることができた。
東清川・中郷地区青少年育成住民会議 (同東清川分会(事務局))	14	地域の青少年健全育成に向け、関係団体・機関の情報交換や連絡調整を行うとともに「生き生き子ども地域活動促進事業」として「こども防災体験フェスタ」や「花いっぱい運動」を実施した。
東清公民館運営協力委員会 (事務局)	5	住民の代表である委員(市政協力員やサークル代表者)に公民館活動の理解と協力をお願いするとともに、公民館大掃除や移動研修に関する協議などを行った。
第40回東清川地区文化祭(共催)	1	展示発表、芸能発表、模擬店等を実施。日頃の文化活動の発表や交流、地域住民のつながり、心と心のふれあいを図ることができた。

○ 清見台公民館

事業名	実施回数	事業概要
キッズわくわくチャレンジ教室	22	子どもたちや親子によるお飾り作りやデイキャンプ等の体験、月1回程度のフリースペースを行った。
たんぼぼ家庭教育学級	10	子育て・家庭教育に関する学習、情報交換や体験活動。母親同士の仲間作りの場となった。
ふるさと講座	6	郷土の歴史を学ぶことにより、交流の機会となった。
清見台・太田地区防災連絡協議会 (事務局)	4	地域連携についての協議・意見交換、自主防災訓練についての意見交換、段ボールパーテーション組立て訓練などを行った。
清見台スマホ講座	2	スマホの基本操作や様々なアプリケーションの操作方法について学習した。
公民館だより発行事業	12	広報誌「ハイ公民館です」を年12回発行(予定)。町内会を通じて配布・回覧した。
太田中学校区学社連携担当者会議 (事務局)	3	太田中学校区内の小中学校・公民館による情報・意見交換、連絡・調整をした。
清見台・太田地区まちづくり協議会(事務局)	21	青少年の健全育成や防災意識の向上を目指した活動や地域の危険箇所確認パトロール、コミュニティカフェを開催した。
清見台公民館関係団体連絡協議会 兼利用者懇談会(事務局)	8	清見台公民館・附属体育館利用団体及び地域関係団体相互の連絡・連携し、公民館周辺の環境美化活動(3回)をした。
青少年育成太田中学校区住民会議 (事務局)	7	地域の青少年に関する諸団体相互の連絡・調整と地域の危険箇所確認パトロール、生き生き子ども地域活動による青少年の健全育成をした。
図書貸与事業	通年	本の貸し出しや閲覧による読書活動の推進した。
子育て広場「このゆびとまれ」	20	乳幼児を持つ保護者や親子の遊びと交流。
はつらつ学級	10	高齢者が健康・生活に関する講座や体験をした。
第30回清見台音楽祭(事務局)	1	公民館で活動する音楽関係サークルを中心に発表会を行い、音楽や文化を伝える機会となった。
スマイルフェスタ2023	1	小学生以下を対象として、サークルによるダンス体験などの催しを文化祭の中で行った。
清見台地区房総かるた大会	1	清見台小ブロック子ども会の主催により、房総かるたを使ったかるた大会を実施し、郷土愛を育む機会となった。
第39回清見台地区文化祭(事務局)	1	地域文化活動の発表の機会として、展示物の掲示、芸能発表、模擬店等を実施した。
自重で筋トレ講座	3	健康な生活のために筋力アップを目標に、家ででもできる筋肉トレーニングの方法を学習した。
初心者のためのウォーキング講座	2	ウォーキングを始める方を対象に歩き方や服装などについて学習した。

○ 畑沢公民館

事業名	実施回数	事業概要
そよかぜ家庭教育学級	10	学級生と一緒にプログラム作成し、小中学生及び高校生等の子どもを持つ母親同士のネットワークづくりと、子育て・家庭教育に関する学習をした。
おやじ専科	9	学級生と一緒にプログラム作成し、地域の男性同士のネットワークづくりと生活課題、地域課題等の学習をした。
はたご歴史講座	9	学級生と一緒にプログラム作成し、郷土の歴史を学ぶとともに、地域住民の交流の機会となった。
健康カレッジ	9	学級生と一緒にプログラム作成し、健康学習や実技・実習を通じて、受講生自身の健康増進に留まらず、将来的に地域ぐるみで健康長寿を促進するための方策を考える講座を開催した。
スマートフォン講座	13	初心者対象の講座とし、生活が便利で豊かになるよう3パターンの内容構成で開催。また、講座とは別の時間に相談会を2回開催した。
利用者懇談会	1	公民館の利用方法等、サークル連協の行事について説明。
公民館先行予約調整会議	1	自治会・地区社協・民児協を対象とした、公民館使用の先行予約の調整会議を開催した。
公民館だより発行事業	12	公民館事業や地域の情報を提供した。
生き生き子ども地域活動促進事業(事務局)	1	地区社協と共催し、地区の小中学生を対象に、「ポッチャ大会&ふれあいサロン」を開催。地域の一人暮らしの高齢者とポッチャやサロンを通して交流を図った。
畑沢中学校区青少年健全育成連絡会議(事務局)	通年	定例会開催の他に、地域の青少年健全育成のための情報交換を行うため、「子どもたちのための地域フォーラム」を開催した。
畑沢公民館運営協力委員会(事務局)	2	公民館と地区住民をつなぐため、公民館運営の助言や協力を得た。
図書貸出事業	通年	地域の子どもからお年寄りまでを対象に読書活動の普及を図った。
はたご子ども公民館(サタデースクール事業)	1	夏の子ども公民館として小学生高学年を対象に全4日間、午前中はフリースペース(自習・読書)、午後はさまざまな体験学習(ボードゲーム、イラスト、ふまねっと、おやつ作り他)を実施。
びよびよ子育てスペース	10	保護者と乳幼児の交流と子育て学習を実施して、近くに住む親子の仲間づくりを進めた。
びよびよ子育てフリースペース	9	乳幼児期の子とその親が気軽に集えるようフリースペースを開催し、親子遊び・子育て相談をしたり、自由にすごすことができる空間づくりを行った。
野山歩きのつどい	2	公民館入門事業として5月・12月に実施し、身近な自然に親しむと共に健康増進と参加者の交流の機会とした。
てくてく木更津わくわく散歩畑沢コース	1	畑沢公民館地区の魅力再発見として、史跡を見学しながら畑沢公民館地区を一周するコースを歩き、畑沢の魅力を紹介するとともに新規公民館利用者を得るため開催。
畑沢むつみ学級	9	地域在住の65歳以上の方を対象に、さまざまな学習を通して学級生どうしの交流が図れるよう開催。
ふれあいフォーラム	1	青少年連絡協議会と共催した「ポッチャ&ふれあいサロン」にて一人暮らしの高齢者と地域の小中学生との交流会を開催。
第38回畑沢公民館地区文化祭	1	コロナ以前の規模で開催(2日間)展示・芸能・模擬店を実施。グランドゴルフ大会(別日開催)
波岡西地区まちづくり協議会(事務局)	通年	役員会を毎月1回開催し敬老のつどい、防災訓練参加などの活動を実施。

○ 岩根西公民館

事業名	実施回数	事業概要
なのはな家庭教育学級(家庭教育)	13	小中学生期の子育てや家庭生活に活かせるような様々な体験学習や活動を行い、併せて母親同士の交流と仲間作りを進めた。
めばえ学級(家庭教育)	14	親子遊びを中心に、乳幼児と母親のふれあいの場を提供することで、子育て支援の一助とするとともに、地域の母親同士の交流を図った。
岩西ふれあい学級(高齢者)	9	65歳以上の高齢者を対象に地域住民同士の交流の場や生きがいがいつくり又、健康増進を目的とした。
伝統文化いけばなこども教室(サタデー)	11	子供たちが「いけばな」を学びながら、伝統文化について関心や理解を深めるとともに、豊かな人間性を育む機会とした。
岩西野山ハイキング	1	地域住民の健康増進を目的に歩く会を実施した。
スマートフォン入門講座	2	デンキーなどのボタンがある多機能携帯電話(ガラケー)からスマートフォンへ移行が進む社会情勢の中、IT弱者を少しでも減らすとともに、木更津市が推進している「らづナビ」、「アクアコイン」の利用促進を図った。
岩根西地区青少年育成住民会議(事務局)	3	地域の子ども達は地域で育てることを目的に各種青少年育成団体との連絡調整を行い、必要に応じて地域の教育課題をとりあげ会議・事業を実施した。(夏・冬の関係団体会議、ぬり絵コンテスト実施)
岩根西地区まちづくり協議会(事務局)	通年	地域住民が主体となって地域の課題を掘り起こし、検討・取り組み・評価することによって、地域力を高め、地域自治力を促進させた。
公民館報発行事業	12	公民館事業を中心に生涯学習情報を提供するとともに、読者に身近な地域の話題等を取り上げ、広く情報を発信した。
第38回岩根西地区文化祭	1	地域文化活動の発表の機会として開催した。
岩西おしゃべりカフェ	12	地域交流の場を提供する目的で開催した。
図書貸出し業務	通年	身近にある図書室として、地域における読書活動の普及と推進を図った。
公民館運営協力委員会	2	地域区長が中心となり、公民館事業全般の運営について協力を仰いだ。
利用者懇談会	1	館を利用する団体・サークルが一堂に会し、公民館利用についての意見交換をし、館の今後の円滑な運営について協議を行った。
フリースペース	通年	公民館を利用する方々の憩いの場として提供した。

○ 西清川公民館

事業名	実施回数	事業概要
にしきよサタデースクール キッズわくわく体験隊	7	地域の自然を活用した体験学習を行うことで、地域の大人と子どもとの交流を図った。
なんでも体験教室	6	有識者の方に協力をいただき、陶芸、イラスト・まんが教室やダンスレッスンを子どもたちの体験学習の機会とした。
正月お飾り作り教室	1	地域の伝統文化の伝承を目的として、地域の高齢者の方から「お飾り作り」を学んだ。
子育てサロン (家庭教育学級)	13	小～高校生期の子どもを持つ親を対象として、子どもたちの心身の発達や親子関係について学ぶとともに、親同士の交流を図る機会とした。
西清川歴史学級	8	主に県内の歴史を学び、郷土の歴史への理解と知識を深め、地域住民同士の交流を図った。
おとなの学び舎遊歩道	9	中高年を対象に暮らしに根付いた身近な課題や興味を深め、地域での仲間づくりを図った。
ワンデイハイキング	3	身近な自然に触れる機会を提供し、健康の増進と地域住民の交流・親睦を図るとともに、環境保全の意識を高めた。
にしきよ健康講座	7	健康の増進を目的とした講座の開催、健康を維持するための実技(健康ストレッチ)を実践するとともに、地域住民相互の交流を図った。
西清川福寿学級 (高齢者教室)	10	高齢者を取り巻く課題等の学習をするとともに、参加者相互の交流を図り、生きがいづくりの一助とした。
スマホ入門講座	6	初めてスマートフォンを使う方や、持っているけれど自信がない方を対象に、基本操作や使用方法を学んだ。
西清川公民館だより発行	12	公民館活動を広く周知するとともに、地域への情報発信、情報提供を目的として毎月1回発行し地域住民に配布した。
利用者懇談会	1	公民館を利用する団体・サークルが一堂に会し公民館利用についての意見交換、今後の円滑な運営等について協議を行った。
第34回西清川地区文化祭	1	西清川公民館で活動するサークルの日頃の学習成果と文化活動の発表の場を設けた。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の普及と推進を図った。
たこ作り教室 (生き生き子ども)	1	凧づくりを通して親子、地域の大人と子どもとの交流機会とするとともに、郷土の民俗文化への理解を深めた。(青少年育成会議と共催)
昔遊びのつどい (生き生き子ども)	1	昔遊び(竹とんぼ・竹馬・羽根つき・ペーゴマ・コマ・お手玉・けん玉など)を通して地域の子ども同士、大人と子どもとの交流、郷土の民俗文化への理解を深めた。(青少年育成会議と共催)
西清川地区学社連携会議 (事務局)	1	木更津第三中学校区の西清小・祇園小・木更津第三中・西清川公民館の4機関の職員による情報交換により、事業の円滑な運営を図った。
三中学区青少年育成会議 (事務局)	通年	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓発活動を行うことにより、青少年健全育成活動を推進した。
西清川まちづくり協議会 (事務局)	通年	地区における身近な課題に自主的主体的に対処し、安全で安心な地域づくりの推進をはじめ、防災に関する施設見学や学習会を開催するなど、防災に関する意識を高めた。また、防災パトロールの実施・防災交通安全のぼり旗・看板等の設置を実施した。
KIZUNA(絆)コンサートの開催	1	定期利用の4サークルの協力を得て、音楽を楽しみながら地域住民の交流を図る機会として実施した。
にしきよ防災学習会(西清川まちづくり協議会共催)(地域課題)	1	西清川まちづくり協議会と共催で、防災学習会の開催や避難所開設訓練など、地域住民の防災意識を高める機会として実施した。
スクールアドベンチャーワールド2023 (生き生き子ども)	1	子どもたちの体験学習の充実を図るとともに、地域の大人との交流を図った。
にしきよクッキング教室	3	木更津市の旬の食材を生かした料理教室を開催し、「木産木消」について学び地域住民の交流を図った。

○ 波岡公民館

事業名	実施回数	事業概要
遊び塾「なみ・ほち」 (サタデースクール事業)	2	子どもたちの「遊び」の中での体験活動を充実させ、「生きる力」を育む機会とした。あわせて、波岡小学校と八幡台小学校の児童の交流を図った。(八幡台公民館共催)
思春期家庭教育学級 (八幡台公民館共催事業)	10	思春期の子どもたちの心身の発達や親子の関わり方を学ぶことで、家庭教育の充実を図った。また、親同士の交流を図った。八幡台公民館との共催事業。
波岡歴史講座	9	郷土の歴史・民俗・文化を学習し、郷土の理解を深めた。身近な歴史への興味関心をひく内容とした。
防災炊き出し訓練	1	炊き出し訓練を実施し、地域の防災意識を高める機会とした。(大久保団地自主防災会・波岡公民館地区まちづくり協議会共催)
スマートフォン入門講座	2	デジタル社会に対応するため、スマートフォンの基本的な使い方や、木更津市公式LINEアカウントについて学習し利用促進を図った。
認知症についての講演会	1	認知症について正しい知識を得る機会とした。(波岡公民館地区まちづくり協議会共催)
利用者懇談会	1	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。
波岡公民館運営協力委員会 (事務局)	通年	公民館と地区住民とのパイプ役として公民館運営への助言や協力を得た。
サークル支援事業	通年	主に公民館を利用する団体・サークルが円滑な運営をする為に求めに応じて支援した。
波岡公民館だより発行	12	地域の情報や公民館活動等の情報を提供した。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の普及と推進を図った。
波岡子育て学級	11	乳幼児親子の交流を図るとともに、育児に関する学習や情報交換の場として毎月1回開催した。
親子でホテルウォーク	1	地域ボランティアの協力によりホテルの観察会を実施し、親子及び地域住民の交流を促進した。
ふれあい(菜の花)教室 (高齢者学級)	8	健康や趣味等の学習会を通して、高齢者の生きがいづくりや地域のコミュニティづくりを推進した。
フリースペース赤ちゃんサロン	8	共働き家庭が増える中、0歳児の保護者が知り合い、地域の子育て仲間をつながりをつくる場を提供した。(波岡公民館地区まちづくり協議会共催)
フリースペースねんちようさん	4	入学前の不安を軽減する目的で入学前の同年生の交流を図った。転入検討中の家族の参加もあった。(波岡公民館地区まちづくり協議会共催)
夏休み子ども工作教室 (サタデースクール事業)	1	夏休みに竹ランタン作りを実施し、波岡小学校と八幡台小学校の児童の交流を図った。(八幡台公民館共催)
てくてく木更津わくわく散歩～波岡公民館コース	1	チェックポイントにクイズやスタンプラリーを設置し、波岡地区をぐるっと一周して歩くコース。子どもから大人まで大いに楽しみ、地域の魅力を再発見をした。
波岡公民館地区まちづくり協議会(事務局)	通年	地域における諸課題に対し、地域各団体が連携を取り解決する為に、3つの部会で各々定例的に事業等を実施した。主に、子育て支援部会はフリースペースを開催、防災部会は炊き出し訓練の実施、高齢者支援部会はガイドブックを作成し地域住民に配布と講演会を開催した。
波岡地区学校公民館連絡会(事務局)	1	波岡中学校区内の小中学校・公民館による情報・意見交換、連絡・調整を行い連携を図った。
生き生き子ども地域活動促進事業	1	凧づくりを通して親子、地域の大人と子どもとの交流の機会とする。郷土の民俗文化への理解を深めた。(※波岡中学校区 八幡台公民館 青少年育成会議と共催)
第31回波岡地区文化祭(事務局)	1	波岡地域や公民館で活動するサークルの発表や体験、作品の展示、模擬店・販売を実施し、地域住民の交流や、地域の文化の向上を図った。
波岡公民館開館30周年記念事業(事務局)	1	式典を開催し、開館30周年を記念した映像を上映した。また、ボランティアの協力を得て、駐車場入り口に地域の子どもたちによる壁画の作成を実施した。これから、波岡公民館30年のあゆみやメッセージを寄せた記念誌を発行する予定。

○ 桜井公民館

事業名	実施回数	事業概要
親子お飾り作り体験教室 (サタデースクール事業)	1	小学生とその保護者を対象とした伝統文化の体験事業であり、親子での参加を原則としている。ボランティアの協力も得て世代間交流の場となった。
桜井公民館コミュニティカフェ	10	発達障がい等の子どもを持つ保護者や支援者が集い、情報交換の場となった。
人とつながりものづくり講座	6	暮らしに潤いをもたらす「フラワーアレンジメント」を行い、好評を得た。
木二中学区学社連携会議	1	木二小・請西小・真舟小・木二中の小中学校の担当職員と公民館職員で会合を持つことにより、相互の活動の円滑化・活性化を図った。
木更津市立木更津第二中学校区 青少年健全育成住民会議(事務局)	7	二中学区の青少年健全育成のため関係団体や教育機関等と相互の情報交換を主に行った。青少年懇談会と総会等を実施した。(文京公民館共催)
地域交流防災学習体験会(生き生き子ども)	1	災害に際し、自らが生活する二中学区の防災活動の担い手となることの気づきの場とすると共に、児童の健全育成と地域防災意識の向上のため各団体との連携・協力の場とすることを目的として実施した。(文京公民館共催)
ごみ拾い活動(生き生き子ども)	1	桜井地区を中心に、ごみ拾い活動及び地域の危険箇所の確認を計画したが、雨天のため、中止となった。(文京公民館共催)
公民館報「さくらい公民館だより」発行	6	学習情報等の提供により公民館活動への理解と推進を図り、地域づくりを促進した。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の推進と普及を図った。
日本伝統文化にふれよう！茶道体験教室 (サタデースクール事業)	7	新型コロナウイルスが沈静化し、4年振りに文化祭での成果発表を目的に、開催した。文化祭当日は、保護者や地域の人の前で、お点前を披露することができた。講師の手厚い指導があり、参加者たちの満足度も高かった。
市公連Bブロック事業	10	文京・岩根・岩根西公民館と連携して、青少年の体験事業や成人教育を共催し、また各公民館が協力して各館の脆弱部分の強化を図った。
子どもまつり実行委員会	10	文化祭の場で、高学年の子どもが実行委員となり、企画から運営まで行うイベント「子どもまつり」は、地域ボランティアの協力もあり、大盛況だった。また、クリスマス会も同様に運営し、管内の小中学校より70名を超える参加があった。
桜井親子家庭教育学級	8	七夕飾りづくり・芋ほり・クリスマス会等、親子での体験活動を行った。ボランティアの方々にも協力してもらい充実した活動になった。
真舟小学校家庭教育学級	8	真舟小学校在籍児童の保護者を対象に、家庭教育の役割について学んだ。体験的な活動を通して親同士の交流も図れた。
桜井あしたば学級	10	高齢者を取り巻く課題等を学習するとともに、体験的活動や移動教室等を通して参加者相互の交流を図り、生きがいつくりの一助とした。
スマートフォン入門講座	2	地域のデジタル化を推進する一助として、主として高齢層のデジタルデバイドの解消へ向けた学習に取り組んだ。
第22回桜井地区文化祭(事務局)	1	昨年度から再開した展示部門に加え、4年振りに、発表部門や模擬店・子どもまつりなどのイベントもを行い、約1000名の来館者でにぎわった。
利用者懇談会	1	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。
桜井公民館協力委員会	2	公民館と地区住民をつなぐために、公民館運営の助言や協力を得ると同時に、文化祭の方向性について検討していただいた。
生き生き健康づくりハイキング	4	県内のさまざまな自然豊かな場所をウォーキングし、健康づくりに役立てるための事業。毎回定員を上回る参加申し込みがあり、好評だった。
てくてく木更津わくわく散歩 ～古代・近世のロマン紀行～	1	桜井地区の歴史・自然・文化を他地域の方々や公民館を利用したことがない方々に紹介し、地域の魅力を再発見するとともに公民館利用促進の一助とした。
さくらい健康倶楽部	4	健康寿命を延ばすことを目的とし、自宅で実践・継続できることを目標とし、各回、専門知識を持つ講師を招き、講習会を実施した。
子ども何でもたいけん ～パパと作ろう！簡単ランチ～	1	父親の家事・育児参加のきっかけづくりとともに、親子のふれあいを促進することができた。

少年自然の家キャンプ場

生活体験・自然体験の機会が乏しくなっている青少年が、豊かな自然の中で心身を鍛錬し、生き生きとした野外活動を体験することによって、集団の中の規律・協働・友愛・奉仕の精神を身につけ、豊かな人間性を育むとともに、市民相互の交流を図る。

○ 施設の概要

1 北キャンプ場

- (1) キャビン 3 (各 8 人程度)
- (2) 炊事場 1 (かまど 10 基・流し)
- (3) 水洗トイレ 1 (男 7・女 4)

2 西キャンプ場

- (1) テント 5 (各 10 人程度)
- (2) キャビン 3 (各 8 人程度)
- (3) 炊事場 1 (かまど 10 基・流し)
- (4) 水洗トイレ 1 (男 7・女 4)



3 南キャンプ場

- (1) テント持ち込み (100 人程度)
- (2) 水道栓 1

4 その他の施設

- (1) 屋根付き広場 (広さ 138 m² テーブル・長いす 10 卓設置)
- (2) 自由広場 (広さ 1,260 m²、キャンプファイヤー場等)
- (3) シャワー室 (男女別各 3 温水シャワー)
- (4) 管理棟 (事務室・倉庫)
- (5) 駐車場 (普通自動車 48 台・大型バス 2 台)

○ 利用状況

(令和 6 年 1 月 1 日現在)

種 別		令和 4 年度		令和 5 年度	
		件 数	人 数	件 数	人 数
市 内	子 ども 会	0	0	0	0
	青少年育成団体等	0	0	0	0
	青少年相談員	0	0	1	6 3
	学校	0	0	0	0
	ボーイ・ガールスカウト	2	4 5	3	6 3
	各種団体等	4	1 3 3	9	2 9 8
	行政・公民館	3	8 1	2	4 3
	個 人	2 4	9 2	1 5	1 2 0
市 外	青少年育成団体等	0	0	0	0
	各種団体等	0	0	1	7
	行政・公民館	0	0	0	0
	個 人	3	1 7	6	3 5
合 計		3 6	3 6 8	3 7	6 2 9

※ 延べ件数・延べ人数による集計 (1 人が 2 泊した場合には 2 人とカウントする)

図 書 館

○ 施設の環境整備

図書館は現在の場所に新館が設置され50年目を迎えた。その間、施設の増築、駐車場の拡張、書庫の電動化、空調設備工事、耐震補強工事を実施し、利用者にとって適正な環境を維持できるよう努めた。

○ 図書館サービス

生涯学習の拠点施設として、図書館資料の収集・保存・整備を行い、閲覧・貸出をはじめ、レファレンスサービスや各種講座の開催により市民の図書館利用の増進を図った。また、大活字本や電子図書の収集と周知の強化、マルチメディアデイジーなどアクセシブルなデジタル録音図書の収集など、すべての市民が読書を楽しめるように取り組んだ。その他では、インターネットを活用した図書の予約・延長サービスの実施、各種データベースの導入、電子申請の活用など、情報化社会に対応したサービスを行った。

市内各地域の13公民館の図書室及び金田地域交流センター内の図書コーナーの資料整備を行うことにより、市内全域における読書環境の整備に努めた。

○ 読書の普及と支援

学校との連携による総合学習、調べ学習の支援は、学校教諭、読書相談員との連携を密に行い団体貸出を行うほか、子どもの本、学習支援の資料収集を積極的に行った。また、学校のおはなし会や公民館での家庭教育学級への職員派遣、教職員研修や中学生の職場体験等を受け入れた。

乳児と保護者を対象としたブックスタート事業のほか、令和5年度は新規事業である「大人のための絵本セラピー」の開催や、シニアカフェへ訪問し大活字本の紹介を行うなど、乳児から高齢者まで幅広い世代の読書活動の推進に努めた。

市内の清和大学図書館、県内市町村図書館、県外図書館、国立国会図書館等と連携して協力体制をとり、資料提供を行った。

主催事業（令和4年度）【耐震補強工事のため令和4年9月1日から令和5年3月9日まで休館】

事業名	事業内容	実施回数	参加者数
文芸講演会	作家による講演	1回	54人
児童文学講座	児童文学関係者による講演	1回	32人
ボランティア講座	音訳講座	1回	12人
図書館おはなし会	3歳児から小学生への素話の語りと絵本の読み聞かせ	46回	297人
保育園おはなし会	保育園児への素話の語りと絵本の読み聞かせ	52回	1,236人
大人のためのおはなし会	大人を対象とするおはなし会	2回	37人
雑誌と図書のリサイクルフェア	雑誌（保存期限切れ）と廃棄図書の無償配布	8日間	157人
絵本講座	絵本の選び方、おすすめ絵本の紹介	2回	18人

夏休み企画 工作教室・こわ〜いおはなし会 ・半日図書館員体験	小中学生を対象とした事業（工作教室、季節のおはなし会、図書館の仕事体験）	工作教室 (2回44人) こわ〜いおはなし会 (2回34人) 半日図書館員体験 (6回22人)	100人
れきおんミニコンサート	国立国会図書館の提供する歴史的音源（れきおん）を利用したコンサート	2回	32人
ブックスタート事業	乳児と保護者を対象に、絵本をひらく楽しさと絵本をプレゼントする事業	33回開催	1,485組配付

○ 図書館利用状況の推移

年 度	開館日数	入館者数	館外貸出登録者数		館外貸出 利用者数	館外貸出冊数	
			12歳未満	12歳以上 ・施設等		児童書	一般書
令和 2年度	192	62,233	52,183		49,988	235,892	
			2,679	49,504		71,437	164,455
令和 3年度	288	88,783	53,855		75,456	360,151	
			2,565	51,290		119,839	240,312
令和 4年度	201	53,802	55,086		48,044	245,465	
			2,411	52,675		81,578	163,887

○ 館外貸出登録者 性別・年齢別内訳 (令和5年3月31日現在)

性別・年齢別	性別			年 齢 別										
	男 性	女 性	計	0 〜 6 歳	7 〜 12 歳	13 〜 15 歳	16 〜 18 歳	19 〜 22 歳	23 〜 29 歳	30 〜 39 歳	40 〜 49 歳	50 〜 59 歳	60 〜 69 歳	計
登録者数 (人)	21,887	32,499	54,386	508	1,903	1,530	1,868	2,847	5,818	8,474	9,884	7,522	14,051	54,405
比率(%)	40.3	59.7	100.0	0.93	3.5	2.81	3.43	5.23	10.69	15.58	18.17	13.83	25.83	100.0

※ 団体登録等の数は、性別や年齢が未登録ものがあるため、登録者数の計と一致しない

○ 蔵書冊数の推移

年 度	総 数
令和 2年度	369,424
令和 3年度	376,795
令和 4年度	368,920

○ 分類別蔵書冊数 (令和5年3月31日現在)

種別	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 絵巻	4 自然	5 技術	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	E 絵本	P 紙芝居	その他	うち 公民館 蔵	計
冊数	12,157	10,530	37,881	44,744	23,171	23,781	11,186	25,260	4,473	133,138	26,403	904	15,292	43,012	388,920
比率	3.30%	2.85%	10.27%	12.13%	6.28%	6.45%	3.03%	6.85%	1.21%	36.09%	7.19%	0.25%	4.15%	11.66%	100.0%

○ 障害者サービス (資料郵送貸出有)

年 度	登 録 者	貸出利用者	貸 出 冊 数	
			点 字 図 書	録 音 図 書
令和 2年度	30	33	380	
			313	67
令和 3年度	31	29	298	
			271	27
令和 4年度	31	34	331	
			303	28

○ 団体貸出 (保育園・学校・その他施設)

年 度	登 録 者	貸 出 冊 数
令和 2年度	68	4,972
令和 3年度	66	6,584
令和 4年度	62	8,381

○ 公民館配本

年 度	配本施設 (公民館等)	配 本 冊 数
令和 2年度	14	50,872
令和 3年度	14	50,367
令和 4年度	14	43,012

○ レファレンス及び資料複写サービス

年 度	調 査 ・ 回 答			資 料 複 写	
	電 話	口 頭	文書・メール	件 数	枚 数
令和 2年度	3 3 4			8 5 3	8, 8 4 3
	5 3	2 6 8	1 3		
令和 3年度	2 4 7			1, 0 6 5	1 9, 0 6 0
	4 3	2 0 0	4		
令和 4年度	2 8 4			5 6 0	5, 2 5 6
	6 4	2 1 2	8		

○ 電子図書サービス

年 度	提供コンテンツ数	登録者数	貸 出 冊 数
令和 2年度	7, 9 3 7	4 1 1	9 2 5
令和 3年度	1 2, 3 0 7	1, 2 9 5	3, 9 8 9
令和 4年度	1 3, 0 8 8	1, 8 7 0	5, 4 6 2

郷土博物館 金のすず

○経営の重点

【展示活動】「常に変化する博物館」を本館の令和5年度のスローガンとし、特別展「奈良へのまなざし」および昨年度から継続した企画展を含め、合計4つの企画展を実施した。また年末に講座関連のミニ展示として源氏物語に関する書籍展示を実施した。

【調査活動】市内外に存在する郷土資料の調査を適宜実施し、情報の蓄積を図った。

【教育普及事業】「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」との連携により、昔の暮らし体験学習や旧安西家住宅の展示解説等を実施した。また他の博物館、公民館への資料の貸出、特別利用の対応および講師派遣、博物館実習生の受入を行った。このほか、『金鈴塚古墳出土品再整理報告書』および『煌めく金鈴塚』を活用して、金鈴塚古墳に特化した講座を開催した。

【施設の環境整備】本館エレベーターが令和5年12月末で保守点検期間が満了し、改修工事完成予定の令和7年度まで利用できなくなることに伴い、資料や重量物の上下階への移動を極力抑えるため、第6展示室を改変し、企画展示等に備えた収納空間を確保することとした。

○主要事業の概要

1. 職員体制

R4年度：館長1名（月16日。会計年度任用職員）・副館長1名（学芸員）・副主幹1名（学芸員）・主任主事1名（学芸員）・主任主事2名（再任用。うち1名短時間）・会計年度任用一般職員2名（月14日以内、受付業務等2名。）

R5年度：館長1名（月16日。会計年度任用職員）・副館長1名（学芸員）・副主幹1名（学芸員）・主任主事1名（再任用。学芸員）・主任主事2名（再任用短時間。学芸・庶務各1名）・会計年度任用一般職員2名（月14日以内、受付業務等2名） 令和5年度から館長職を木更津市で初めての民間登用とした。

2. 展示活動

(1) 常設展

令和3年7月17日に常設展示を再構成して開館し、令和4年度から年間を通じての通常営業となった。令和4年度は特別展終了後に第2展示室(金鈴塚)展示替えを、令和5年度は第4展示室の浮世絵の定期的な入れ替え、特別展と前後して第3展示室(古墳後期～古代)の展示替えを実施した。

(2) 企画展等

年	展示名称・期間・観覧者数
4	・第46回「千葉県移動美術館」9月17日～10月16日（開館26日間）1,019人 会場：第2・4・5展示室（期間中第3展示室封鎖） ギャラリートーク 10/1：5人 10/2：12人 ・木更津市制施行80周年特別展「江戸絵画の美」11月1日～11月30日（開館26日間）1,238人 会場：第2・4・5展示室（期間中第3展示室封鎖）

	講演会：講師 千葉市美術館学芸課長 松尾知子 11月13日開催 参加者52人 内覧会：10/31 10時～11時30分 参加者37人
5	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展「きさらづ市民の80年」 3月25日～5月7日（開館38日間）2,618人 会場：第4・5展示室 ・企画展「ドキドキわくわく動物ワールド」 7月15日～8月31日（開館41日間）1,340人 会場：第6展示室 ・特別展「奈良へのまなざし～馬來田から望陀へ～」 11月1日～12月10日（開館35日間）1,221人 会場：第4・5展示室 ギャラリートーク 11/12午前3人 午後14人 講演会：講師 明治大学名誉教授 吉村武彦 11月25日開催 参加者92人 ・企画展「郷土玩具でお正月」12月19日～12月27日（開館8日間）135人 令和6年へ継続展示 会場：第6展示室

3. 調査活動

文化財調査

R4年度：市民ボランティア等と協力して金鈴塚古墳出土品の写真撮影を36日間実施した。

R5年度：奈良国立文化財研究所の協力を得て、奈良県で出土した木更津関係木簡資料の複製・復元品を作成した。市外個人所蔵郷土資料1箇所の調査を実施した。また市民ボランティア等と協力して金鈴塚古墳出土品の写真撮影を10日間実施した。

4. 管理

資料管理

・収蔵資料管理

R4年度：本館1階第1・2収蔵庫の整理を一部実施した。

R5年度：本館2階図書整理を実施した。

・寄贈資料の受入：申請のあった資料を検討の上、適宜受入を実施。

R4年度：市内個人2：木造船模型・昭和40年代の写真/日章旗寄書・千人針、市立公民館からの保管替え1：明治期等の文書類、市立図書館からの保管替え3：県指定文化財至徳堂関係資料・県指定文化財天正検地帳・市指定文化財鈴木三郎家蔵古文書 合計6件

R5年度：市内個人1：富来田地区幼稚園関係資料 市外個人1：旧請西藩関係万里小路関係資料

・寄託資料の受入： R4・5年度：なし

環境管理

R4年度：旧安西家住宅周辺の倒木の整備および、本館車庫周辺の樹木を伐採・剪定して生じた木材を加工して旧安西家住宅用の薪として利用した。

R5年度：館外からの資料受入等には、適宜、文化財用殺虫剤による資料の保全および仮保管時のカビ類拡散防止のため資料密封処理、アルコール室内噴霧を行った。

建物管理

R4年度：本館トイレ排水管改修工事（4/1～4/24）。旧安西家住宅放水銃用消火ポンプ改修工事を資産管理課が主管となり業務に着手した。

R5年度：年度末完成の予定で旧安西家住宅放水銃用消火ポンプ改修工事を実施中、R6年度末の完成予定で本館エレベーター改修工事の予算措置を営繕課が主管となり実施した。市指定文化財旧安西家住宅床格子補修（11/19～11/20）。

5. 教育普及活動

(1) 博学等連携事業

- **博物館実習受け入れ**：R4年度は3大学3名（8/24～9/6）、R5年度は3大学4名（8/22～8/31）。
- **職場体験受入**：R4年度は市内中学校1校3名（12/9）を、R5年度は市外高等学校2年1名（8/2・8/3）、市外中学校2年生1名（8/4）を受け入れた。
- **講師派遣**：講師として郷土に関する講義を実施した。なお令和5年は職員体制の関係から年内の派遣依頼の受け入れに対応できなかったため、実績は減少した。（詳細は別表参照）

R4年度：市内公民館11回、市外公民館1回、市内小学校1回、任意団体3回

R5年度：本年度から市内小中学校を対象とした館長出前講座をあらたに開講した。

市内公民館1回、市内小学校4回、市外博物館1回

- **学校等見学等受入**：小学校を中心に、昔のくらし・社会科見学を主として体験学習等を受け入れた。小学校の昔のくらし体験学習では、「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」の協力などにより、石臼による黄粉作り、いろり等の体験を行った。

R4年度：16校（小学校：市内13校、市外2校 市内学童1） 公民館6館（市内5館、市外1館） 他3団体（市内外大学各1校、木更津市社会教育研究会1）

R5年度：市内小学校16校 市外高校1校 市内外大学各1校 公民館8館（市内7館、市外1館）

(2) 資料貸出等

R4年度：特別利用（熟覧・撮影等）24件/計79点 貸出4件/計22点 借用1件/33点

貸出先 国立歴史民俗博物館（重要文化財千葉県金鈴塚古墳出土品関係資料）、千葉市立郷土博物館（真里谷城跡出土資料・市指定文化財上総鋳物師大野家関係資料）、愛知県陶磁美術館（市指定文化財灰釉双耳壺）、大田区立郷土博物館（勾玉）、新宿区歴史博物館（市指定文化財中越遺跡出土小銅鐸附石製舌）、袖ヶ浦市郷土博物館（浮世絵）。

借用先 千葉市美術館（特別展用江戸絵画33点）、友の会（はたおり関連資料3点）。R3年度に市立図書館から借用した古文書類は、保管替えにより博物館管理となった。

R5年度：特別利用（熟覧・撮影等）19件/計30点 貸出2件/計45点 借用7件/77点

貸出先 国立歴史民俗博物館（常設展示：重要文化財千葉県金鈴塚古墳出土品関係資料）、福岡県立九州歴史資料館（重要文化財千葉県金鈴塚古墳出土品関係資料）、公益財団法人千葉県教育振興財団（上ノ山遺跡出土資料）。

借用先 企画展：木更津市立図書館（木更津港平面図ほか） 木更津第一小学校（国民学校日誌）

特別展：市川考古博物館（下総国分総尼寺瓦他） 和洋女子大学文化資料館（三彩小壺他） 袖ヶ浦市郷土博物館（永吉台遺跡群ほか 墨書土器ほか） 市原

歴史博物館（上総国分寺瓦） 個人（上総大寺廃寺瓦）

ミニ展示：三康図書館（源氏物語関係書籍）

(3) 講座等（詳細は別表参照）

R4年度：郷土文化伝承体験講座2回、きさらづ歳時記4回、夏休み体験教室「勾玉づくり教室」1回、歴史講座「金鈴塚古墳を学ぶ」8回、古文書講座7回、地域学講座木更津風土記1回、上映会1回実施。

R5年度：館長講座2回、郷土文化伝承体験講座1回、きさらづ歳時記3回、夏休み体験教室「勾玉づくり教室」1回、歴史講座「金鈴塚古墳を学ぶ」5回、古文書講座6回、地域学講座木更津風土記1回、上映会1回、ミュージアムサポーター（9人）12回 実施した。

(4) 旧安西家住宅利用状況 施設使用についてR4・5年度は申請がなかった。

(5) その他協力事業等 千葉県商工労働部観光誘致促進課主催「GOGO 房総デジタルポイントラリー」（令和5年9月～令和6年2月）、令和5年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会連携事業「関東考古学フェア2023」スタンプラリー（7/23～11/27）に協力した。

6. 協議会など

郷土博物館金のすず協議会 R4年度：2回（7/5・2/10）実施。R5年度：1回（8/15）実施。
第8期委員6名（任期：令和4年11月1日～令和6年10月31日）。

君津地方公立博物館協議会 木更津市・君津市・袖ヶ浦市の公立博物館による協議会。

R4年度：理事会（6/22 11/25） 担当者会議（7/15 11/5） 研修会（12/21 1/5）

R5年度：理事会（5/19 11/29） 担当者会議（7/7 11/10） 研修会（12/13）

千葉県博物館協会 県内の博物館の団体。R4年度から役員（監事）に就任。

R4年度：総会（5/24 オンライン開催） 研修（1/19） 災害時情報伝達訓練（3/10）

R5年度：総会（5/24）

日本博物館協会「博物館研究」の年間購読等により今日的な博物館の課題、情報を収集。

R4年度：新型コロナウイルス感染防止対策のため全国博物館館長会議不参加。

R5年度：全国博物館館長会議（7/5） 第71回全国博物館会議千葉大会（11/15～11/16）

その他 君津地方社会教育研究会

社会教育に関する問題解決等のため、君津地方4市の職員が集まり、実践および研修を重ねることで、専門的なスキルアップを図る。

7. 友の会の活動

R4年度：会員数45名 定期総会1回（書面開催） 役員会4回 会報25・26号発刊 サークル紹介展（11/1～11/30）

R5年度：会員数46名 定期総会1回（書面開催） 役員会4回 会報27号発刊 サークル紹介展（11/1～12/10）

夏の朝顔展を友の会の協力を得て実施した。

8. きさらづ文化財ガイドボランティアの会への委託

旧安西家住宅への来館者に対する解説等を委託した。また、旧安西家住宅へ来館した小学3年生の昔の暮らし体験学習を受け入れた。

R4年度：活動267日間 来館者3,039人・ガイド延べ931人

定期総会1回（書面開催） 役員会9回

R5年度：活動210日間 来館者1,753人 ガイド延べ699人

定期総会1回（書面開催） 役員会4回

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和4年8月1日～31日まで活動休止とした。

※会員の高齢化に伴い活動時間を、令和4年12月1日から午前のみに変更した。

9. 入館者の推移

年度	利用者 総数	観覧者 総数	中学生 以下	一般	65歳 以上	※1 その他	主催事業 等参加者	開館 日数
4	8,766	6,824	1,810	2,774	1,778	462	1,942人	※2 306日
5	7,794	6,281	1,728	2,609	1,363	581	1,513人	※2 228日

※1 その他とは高校生・大学生など。

※2 旧安西家住宅開館日数。

※ 令和5年度は12月31日までの統計。

令和4年は特別展等準備・撤収などの臨時休館のため本館開館日数272日。

令和5年は特別展等準備・撤収などの臨時休館のため本館開館日数207日。

別表 5. 教育普及活動 (3) 講座など

○ 令和4年度

郷土文化伝承体験講座 ※はたおり講習会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い中止。

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
12	6	火	市指定文化財「旧安西家住宅」	西上総の味噌作り教室	大鹿幸恵・佐伯信子	15
12	18	日	多目的室	正月飾り作り教室	大鹿幸恵・尾崎進・長野直幸	15

夏休み体験教室

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
8	27	土	多目的室	勾玉つくり教室	博物館実習生	14

きさらづ歳時記

月	日	曜日	～	月	日	曜日	会場	タイトル	内容	参加者
4	23	土	～	5	8	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の端午の節句	鯉のぼりの飾り付け	258
7	1	金	～	7	9	土	旧安西家住宅	旧安西家住宅の七夕	七夕飾り	178
9	1	木	～	9	10	土	旧安西家住宅	旧安西家住宅の十五夜	お月見	36
2	15	水	～	3	5	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の雛祭り	ひな祭り	159

歴史講座

月	日	曜日	会場	タイトル	内容	テーマ	講師	参加者
7	23	土	集会室	金鈴塚古墳を学ぶ	講義	金鈴塚古墳とは	稲木	15
8	27	土	集会室	金鈴塚古墳を学ぶ	講義	光り輝く遺産 装身具	稲木	15
9	24	土	集会室	金鈴塚古墳を学ぶ	講義	光り輝く遺産 銅鏡など	安藤	16
10	15	土	集会室	金鈴塚古墳を学ぶ	講義	光り輝く遺産 装飾付大刀①	安藤	14
11	19	土	集会室	金鈴塚古墳を学ぶ	講義	光り輝く遺産 装飾付大刀②	安藤	11
12	17	土	集会室	金鈴塚古墳を学ぶ	講義	光り輝く遺産 武器と武具	安藤	11
1	21	土	集会室	金鈴塚古墳を学ぶ	講義	光り輝く遺産 馬具・銅容器・土器	稲木	16
2	18	土	集会室	金鈴塚古墳を学ぶ	講義	金鈴塚古墳から見えてくるもの	稲木	12

地域学講座木更津風土記

月	日	曜日	会場	タイトル	内容	テーマ	講師	参加者
2	25	土	木更津市立中央公民館多目的ホ一	古墳から飛鳥へ時代を繋ぐ～金色に煌めく重要文化財金鈴塚古墳出土品から～	講義	金鈴塚古墳出土品	文化庁文化財調査官 横須賀 倫達	91

講師派遣

月	日	曜日	会場	タイトル等	参加者
5	15	日	富津市富津公民館	近世木更津周辺の石工	31
5	24	火	波岡公民館	縄文時代の木更津	14
5	15	日	岩根公民館	いにしへの岩根～石造物と歴史を訪ねて～	12
5	28	土	木更津市中央公民館	「ここまでわかった！金鈴塚古墳」	66
7	16	土	木更津市立図書館	「真里谷武田氏について」八剱八幡神社所蔵の「上総国古文書」から	22
7	21	木	木更津市立東清公民館	「縄文時代のきさらづ」	20
8	18	木	木更津市立東清公民館	「弥生時代のきさらづ」	16
7	21	木	木更津市立富来田公民館	「木更津市の歴史・金鈴塚古墳研究成果について」	15
7	16	土	NHK文化センター柏教室	木更津市域における縄文集落	6
7	26	火	岩根公民館	「金鈴塚古墳」について	15
10	13	木	木更津市立清見台公民館	「江戸幕府の終焉と木更津」	13
11	24	木	木更津市立南清小学校	「町人の文化と新しい学問」	84
11	24	木	富岡公民館	「金鈴塚古墳出土品からわかる当時の木更津」	22
1	31	火	岩根公民館	「真里谷武田氏について～『上総国古文書』資料を中心に～」	17
2	9	木	富来田公民館	「石造物を中心に見た富来田地域の様相」	12
2	21	火	岩根公民館	「昭和20年の木更津」	16

古文書講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
7	16	土	集会室	古文書講座 入門編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	16
9	3	土	集会室	古文書講座 入門編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	15
9	10	土	集会室	古文書講座 初級編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	13
10	8	土	集会室	古文書講座 初級編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	13
11	12	土	集会室	古文書講座 初級編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	10
12	10	土	集会室	古文書講座 中級編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	8

1	14	土	集会室	古文書講座 中級編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	11
2	11	土	集会室	古文書講座 中級編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	9

○ 令和5年度(12月末まで)

郷土文化伝承体験講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
12	23	土	多目的室	正月飾り作り教室	大鹿幸恵・尾崎進・重城弘毅・寺原進	12

きさらづ歳時記

月	日	曜日	～	月	日	曜日	会場	タイトル	内容	参加者
4	23	土	～	5	8	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の端午の節句	鯉のぼりの飾り付け	未集計
7	1	土	～	7	9	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の七夕	七夕飾り	未集計
9	26	火	～	10	1	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の十五夜	お月見	未集計

夏休み体験教室

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
8	26	土	多目的室	勾玉づくり教室	博物館実習生	14

歴史講座

月	日	曜日	会場	タイトル	内容	テーマ	講師	参加者
6	17	土	集会室	金鈴塚古墳を学ぶ	講義	金鈴塚古墳出土副葬品 装飾付大刀①	安藤	31
7	15	土	集会室	金鈴塚古墳を学ぶ	講義	金鈴塚古墳出土副葬品 装飾付大刀②	安藤	26
8	19	土	集会室	金鈴塚古墳を学ぶ	講義	金鈴塚古墳出土副葬品 装飾付大刀③	安藤	26
9	16	土	集会室	金鈴塚古墳を学ぶ	講義	金鈴塚古墳出土副葬品 装飾付大刀④	安藤	26
10	21	土	集会室	金鈴塚古墳を学ぶ	講義	金鈴塚古墳出土副葬品 装飾付大刀⑤	安藤	29

地域学講座木更津風土記

月	日	曜日	会場	タイトル	内容	テーマ	講師	参加者
7	30	日	集会室	木更津風土記	講義	「比べてみよう!シカ・イノシシ」	樋泉 岳二	25

講師派遣

月	日	曜日	会場	タイトル等	参加者
5	20	土	岩根公民館地域	「てくてく木更津わくわく散歩」江戸道と岩根のお堂巡り	17
6	22	木	中郷小学校	出前授業 夢をかなえる場所はどこ?	30
7	6	木	畑沢小学校	出前授業 考古学者を目指した経緯や夢が実現するまでの体験等について	108
9	20	水	岩根小学校	出前授業 考古学者を目指した経緯や夢が実現するまでの体験等について	49
11	23	木	千葉市生涯学習センター	令和5年度加曽利塚博物館・市原歴史博物館連携講座 お祈りの系譜	23

動画鑑賞

月	日	曜日	会場	タイトル	内容	テーマ	講師	参加者
9	24	日	集会室	動画鑑賞	動画上映	「卑弥呼の見た星空をみよう」	館長説明	17

古文書講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
7	22	土	集会室	古文書講座 入門編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	11
8	19	土	集会室	古文書講座 入門編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	10
9	16	土	集会室	古文書講座 初級編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	17
10	7	土	集会室	古文書講座 初級編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	16
11	4	土	集会室	古文書講座 初級編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	14
12	16	土	集会室	古文書講座 中級編	實形裕介(県文書館嘱託) 市史編集委員	8

青少年指導関係

1. 活動方針

家庭、地域、学校、警察署や内房地区少年センター、南房総教育事務所生徒指導班、児童相談所等の関係機関との連携を密に、青少年の非行を防止し、健全育成を図る。

2. 業務内容

(1) 相談活動

①来所相談、電話相談、メール相談等の充実に努める。

相談受理件数（令和5年12月31日現在）

来所相談	電話相談	メール相談	合計
14件	76件	17件	107件

②関係諸機関との連携を密に、効果的な支援に努める。

(2) 街頭指導

①計画指導 青色灯装着車による街頭パトロールを週1回以上実施する。

②地区指導 青少年補導員による街頭指導を中学校区毎に実施する。

③特別指導 関係諸機関・諸団体と連携し、駅周辺指導及び花火大会終了後のパトロール等、特別街頭指導を実施する。

実施状況 (令和5年12月31日現在)	実施回数(回)	延従事者(名)	指導少年数(名)
計画指導	24	48	0
地区指導	107	316	0
特別指導(花火・駅周辺)	4	103	0
合計	135	467	0

(3) 安心して安全にインターネット環境を利用するため

①インターネットリテラシーの向上を目指した啓発活動等の実施。

②県の実施するネットパトロールと連携し、適切な指導・支援を行う。

(4) 関係機関・団体との連携

①学校、警察、児童相談所等との協力体制の推進強化を図る。

②各種連絡会議との連携を図る。

(5) 啓発活動

①青少年健全育成のための広報紙等を定期的に発行する。

②未成年による飲酒・喫煙、薬物乱用等の防止に関する啓発活動を行う。

(6) 青少年指導関係運営協議会

青少年の健全な育成及び非行の防止を支援するために、関係行政・教育機関及び団体の代表で構成される青少年指導関係運営協議会を設置している。

委員は市長が委嘱し、任期2年、定数15名以内と定められている。(現員数14名)

(7) 青少年補導員

青少年補導員は、地域における非行状況の情報連絡をするとともに、自主的組織の青少年補導員連絡協議会を組織し、地区活動を中心に主たる業務である街頭補導に従事するほか、地域環境浄化活動にも積極的に従事している。

青少年補導員は、市長が委嘱し、任期2年、定数100名以内と定められている。
(現員数78名 令和5年1月1日現在)

7. 資 料

歴代教育委員及び教育長

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職務代理者	委 員	教 育 長
S 27	大日方惟信	浜名 儀三	加藤 儀助 ・ 梶 良一 ・ 加藤 議祐	斉藤 善治 (助役事務取扱)
28	浜名 儀三	梶 良一	加藤 儀助 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠	東條 繁樹
29	浜名 儀三	梶 良一	加藤 儀助 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠 平野千之助	東條 繁樹
30	梶 良一	加藤 儀助	浜名 儀三 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠 平野千之助 ・ 伊藤 正雄 ・ 渡辺 庄司	東條 繁樹
31	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 渡辺 庄司	小山 義雄
32	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 鳩飼 茂	小山 義雄
33	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 鳩飼 茂	小山 義雄
34	末吉 弥吉	鳩飼 茂	内藤 津多 ・ 堀切 友雄	小山 義雄
35	鳩飼 茂	堀切 友雄	内藤 津多 ・ 末吉 弥吉	小山 義雄
36	堀切 友雄	内藤 津多	安西 忠蔵 ・ 末吉 弥吉	小山 義雄
37	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 末吉 弥吉 ・ 大日方雄三	小山 義雄
38	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 大日方雄三	小山 義雄
39	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 大日方雄三	小山 義雄
40	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
41	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
42	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
43	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
44	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
45	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
46	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
47	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
48	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄 ・ 中村 武雄	小山 義雄
49	堀切 友雄	内藤 津多 榎本 武雄	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
50	堀切 友雄 榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
51	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
52	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職務代理者	委 員	教 育 長
S 53	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
54	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
55	榎本 武雄 佐久間重男	佐久間重男 高橋 裕吉	高橋 裕吉 ・ 中村 武雄 ・ 鈴木 達也	小山 義雄 原 保
56	佐久間重男	高橋 裕吉	中村 武雄 ・ 鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
57	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
58	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
59	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保 栗林 信夫
60	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	栗林 信夫
61	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	栗林 信夫
62	佐久間重男 高橋 裕吉	高橋 裕吉 鈴木 達也	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫 ・ 高橋 せい	栗林 信夫
63	高橋 裕吉	鈴木 達也 鹿間 敏夫	鹿間 敏夫 ・ 高橋 せい ・ 白石 英夫	栗林 信夫
H 1	高橋 裕吉	鹿間 敏夫	高橋 せい ・ 白石 英夫	栗林 信夫
2	高橋 裕吉 高橋 せい	鹿間 敏夫	高橋 せい ・ 白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
3	高橋 せい	鹿間 敏夫	白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
4	高橋 せい	鹿間 敏夫	白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
5	高橋 せい 鹿間 敏夫	鹿間 敏夫 白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
6	鹿間 敏夫	白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
7	鹿間 敏夫	白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄 ・ 石川 茂子	栗林 信夫
8	鹿間 敏夫	白石 英夫 石川 茂子	杉井 和夫 ・ 橘田 昭雄	栗林 信夫 西村 堯
9	鹿間 敏夫 杉井 和夫	杉井 和夫 橘田 昭雄	橘田 昭雄 ・ 石川 茂子 ・ 石井 利枝	西村 堯
10	杉井 和夫	橘田 昭雄	大日方惟忠 ・ 石井 利枝	西村 堯
11	杉井 和夫	橘田 昭雄	大日方惟忠 ・ 石井 利枝 ・ 井原 一恵	西村 堯
12	杉井 和夫 橘田 昭雄	橘田 昭雄 大日方惟忠	大日方惟忠 ・ 井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
13	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
14	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
15	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義 ・ 清崎 光恵	西村 堯
16	橘田 昭雄 青木 和義	大日方惟忠	青木 和義 ・ 清崎 光恵 ・ 石井 英美	西村 堯 初谷 幹夫

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職務代理者	委 員	教 育 長
H 17	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
18	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
19	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
20	青木 和義 石井 英美	大日方惟忠 清崎 光恵	清崎 光恵 ・ 石井 英美 大日方惟忠 ・ 青木 和義	初谷 幹夫
21	石井 英美	清崎 光恵	大日方惟忠 ・ 青木 和義 ・ 武井 紀夫	初谷 幹夫
22	石井 英美	清崎 光恵	青木 和義 ・ 武井 紀夫 ・ 長谷部理絵	初谷 幹夫
23	石井 英美	清崎 光恵 長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 長谷部理絵 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
24	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
25	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
26	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
27	—	石井 英美	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄 ・ 長谷部理絵	高澤 茂夫
28	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 長谷部理絵 ・ 渡部 佳子	高澤 茂夫
29	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 長谷部理絵 ・ 渡部 佳子	高澤 茂夫
30	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 渡部 佳子 ・ 豊田 雅之	高澤 茂夫
31 (R1)	—	武井 紀夫	渡部 佳子 ・ 豊田 雅之 ・ 井上 美鈴	高澤 茂夫
R2	—	武井 紀夫	渡部 佳子 ・ 豊田 雅之 ・ 井上 美鈴	高澤 茂夫
R3	—	武井 紀夫 渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 井上 美鈴 ・ 小寺孝治郎	廣部 昌弘
R4	—	渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 小寺孝治郎 ・ 加藤 緑	廣部 昌弘
R5	—	渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 小寺孝治郎 ・ 中島 緑	廣部 昌弘

教育功勞被表彰者一覽

年度	氏 名 (団 体 名)
S 28	山崎 直 ・ 榎本 武治 ・ 時田 新蔵 ・ 中村 平吉 ・ 石渡健三郎 ・ 堀切 友雄 ・ 君塚 嘉夫 ・ 佐久間重男 ・ 栗原 金司
29	石井 幹夫 ・ 小熊 君子 ・ 三枝 重蔵 ・ 市川 清茂 ・ 高橋 卓一 ・ 河田 陽 ・ 藤倉 信雄
30	近藤 音松 ・ 松本菊治郎 ・ 鈴木 和子 ・ 安田 静一 ・ 小野 秀三 ・ 藤倉 信雄 ・ 望月 湊 ・ 嶋田 廣吉
31	浅井 泰治 ・ 内海 茂 ・ 飯塚 しづ ・ 浪久 丈雄 ・ 榎本 武雄 ・ 細井子之助 ・ 林 好雄
32	宮本 寿吉 ・ 古屋 昇 ・ 篠崎 弘 ・ 服部 てい ・ 藤倉 かね ・ 山田 金吾 ・ 若鍋千代吉 ・ 山崎 ふさ
33	北見 日吉 ・ 大日方雄三 ・ 竹内 隆 ・ 白木 光郎 ・ 内藤百合子
34	杉山 聞多 ・ 平野 要 ・ 鈴木 康夫 ・ 鈴木利三郎 ・ 神子 仁明 ・ 飯塚 信明
35	鈴木 保 ・ 山田 千鶴 ・ 佐藤 富士 ・ 石渡 真一 ・ 黒田 清 ・ 鈴木 一平 ・ 松 美佐雄 ・ 植松 仁子 ・ 泉水 潔 ・ (点字奉仕会)
36	花崎農夫寿 ・ 古藤田茂雄 ・ 内木 みち ・ 山田精五郎 ・ 三沢 英夫 ・ 北見 定吉 ・ 鈴木 静夫 ・ (西上総文化会木更津支部)
37	大日方惟信 ・ 藤代善次郎 ・ 唯野 寿雄 ・ 北村つめよ ・ 多田 一夫 ・ 神頭 千代 ・ 根本 安代 ・ 石川 寛 ・ 伊藤 俊栄
38	竹内正太郎 ・ 高橋 まつ ・ 青柳 三郎 ・ 鳥海ゆき江 ・ 高橋 せい ・ 細野 鹿蔵 ・ 在原 定雄 ・ 柴崎 みつ
39	畑野 敏 ・ 三枝 正夫 ・ 細井 美和 ・ 山口 祐正 ・ 伊草 光次 ・ 桐谷 清 ・ 林 英樹
40	栗原 正美 ・ 関口 清二 ・ 斉藤 新蔵 ・ 磯辺 快子 ・ 桑田 馨二 ・ 梶川 環 ・ 山本 恭雄
41	田村 きよ ・ 小倉 重成 ・ 青木 秀 ・ 内藤賀寿夫 ・ 関口 義雄 ・ 小島 寿子 ・ (武道連盟)
42	田村 芳美 ・ 岩瀬 すみ ・ 落合 均 ・ 杉浦 和平 ・ 安田 智堂 ・ 高橋 省己 ・ 千代倉 胖
43	竹内金兵衛 ・ 渡辺 達雄 ・ 本多 光子 ・ 斉藤 藤江 ・ 森 美代子 ・ 本吉 雄吉 ・ 高木 茂男
44	吉川 金一 ・ 根本 隆之 ・ 鶴岡 清子 ・ 高崎 繁雄 ・ 秋楽 幸子 ・ 嶋野 一雄 ・ 鈴木 安雄
45	積田 博 ・ 佐藤美代子 ・ 重田 まさ ・ 榎本 功 ・ 鈴木 文子 ・ 鈴木 重雄 ・ 赤川 徹男
46	若林 隆 ・ 安西 輝子 ・ 小梶 和子 ・ 八剣 澄子 ・ 村上 香 ・ 田村きみ江 ・ 山口 健一
47	原 保 ・ 和田 裕之 ・ 武長 瑾英 ・ 刈込 淑子 ・ 相沢 雪 ・ 飯田 哲夫 ・ 石井 堅一 ・ 宇野 六夫 ・ 守 智雄 ・ 勝呂 国利 ・ 羽瀬 玲子
48	石橋 郁夫 ・ 分目 茂 ・ 石井 富子 ・ 大久保 進 ・ 小林 きく ・ 渡辺 和彦 ・ 横須賀 孝
49	前田 弘次 ・ 近藤 禮治 ・ 磯貝 ツヤ ・ 森本 俊 ・ 小林 いつ ・ 国分 貞子 ・ 西山 六郎
50	大河原三夫 ・ 平野 勉 ・ 平戸 襄 ・ 立石智恵子 ・ 高橋 巴子 ・ 鳥飼 誠 ・ 手島 宏晴 ・ 小原 三郎 ・ 楠田伝次郎
51	石川 俊夫 ・ 榎沢 竹夫 ・ 磯崎 愛子 ・ 水野 章男 ・ 下室 高治 ・ 安達 武夫 ・ 大岩 徳 ・ 川名寿美恵 ・ 曾根 和男
52	柳瀬 秀雄 ・ 白石 三郎 ・ 筑紫 栄徳 ・ 荒居善次郎 ・ 鶴岡 つね ・ 池田 幹男 ・ 庄司 邦夫 ・ 鈴木 健之 ・ 佐久間さく
53	天羽 隆雄 ・ 浅井 昭 ・ 相川 良二 ・ 三枝 園子 ・ 山口 敏子 ・ 鈴木 恒子 ・ 小籠 定長 ・ 鈴木 音彌 ・ 花輪 正好

年度	氏 名 (団 体 名)
S 54	齋藤武次郎・田浦壽太郎・藤里 玲子・景山喜久子・齊藤 誠・山口 栄治・ 吉川智恵子・福島 健次・鳥飼明二郎
55	片山 好實・鈴木 騎兵・安田 敬・林 秀雄・牛島登志子・土屋 清子・ 石川 明・庄司 肇
56	重田 吉彦・渡辺 敏夫・中島 京・桑田 芳枝・萱野 敏彦・井上 亮三・ 辻田 昇・八剣 昭雄
57	谷萩 武雄・青柳 文夫・榎本しずえ・早田 芳子・瀬戸 正嗣・森山 弘大・ 渡辺 弘己・稲垣 新清・大溝 晴史・重城 良造
58	増田 治男・刈込 仁・嶋田伊富子・鈴木 恵子・松本 祐子・東 秀和・ 館脇 きよ・山田 弘・富澤 一枝
59	山口 清次・竹内 秀夫・安田 祿彌・小林 セツ・和地 妙子・市東 良子・ 安藤 小平・伊藤 満
60	大沢 雅一・星野 享永・渡辺 博・尾棹 正夫・鈴木 郁夫・曾根美代子・ 藤寄百合子・山本 茂子・白石 裕
61	鈴木 隆・萩原 一郎・三枝 公一・高橋 君子・八剣 茂・富澤 義夫・ 渡辺 朱美・山本 良治・吉田 明
62	石渡 三郎・山田 重昭・藤里 公一・細谷 竹松・和地 惠實・山口 かの・ 安藤 はま・篠辺 正和・塩塚 重雄・大野 進
63	郷津 信賢・鈴木 泰明・山口 満夫・花澤 重男・山口 義雄・鈴木 昇・ 小川 弘子・古宮 玲子・川口 純・関 正輪
H 1	重田 勳・米澤 安夫・曾根 英範・岡田 良平・岸 守・松永 和夫・ 鈴木 久子・地曳 岩夫・高木 厚行・壇谷 洋
2	榎本 秀夫・須藤 英夫・藤寄 啓好・林 務・鈴木 和郎・鈴木 敏男・ 箱守 和子・川本 勉・飯田厚三郎・大日方 洋・高橋 竹乃・石井美佐子・ 磯辺 明・和泉 禮明・飯島 咲子
3	竹内 哲也・前田 昇・牛島 新治・小川 郁夫・石渡 重彦・山田 文子・ 池田 昭・荻野 敬次・鳥海 郁二
4	東條 章夫・鶴野 光雄・鈴木 勝江・茂田 政睦・宇渡 明巳・高浦早智子・ 藤倉 貞子・武井 重雄・仲田 一・磯貝 良・影山 乾一・篠田 一恵
5	石井 恭雄・川名 伸夫・和田 公喜・宮森 文郎・柴崎 明子・能星みち子・ 菅野恵美子・勝呂 至孝・鈴木 寛・桑田きみ子・宮崎 祐致・石井 久喜・ 鳥飼 政枝
6	関口 敏夫・中山 寿弘・中村 督民・平野 勲・古谷 鉄男・羽山 豊春・ 谷澤那美江・庄司安兵衛・大野 英二・本吉 松博・平瀬雄二郎
7	野口 芳宏・石川仁一郎・小川 昇・鈴木 貞雄・松江 俊昭・渡辺美智子・ 岡庭カツ子・大塚 淳・村山 康太・伊草 文代・桐谷 新三・杉井 和夫・ 芳野 眞任
8	茂田 才治・福本 清治・錦織 正道・金子 馨・景山 正之・吉田 重夫・ 鈴木 良彰・三木美代子・磯貝 昇・今井 香樹・萱野 文雄・馬場 昭夫
9	鈴木 義明・木村 智行・能星 晃・長谷川久治・柳川 秀雄・酒井 正雄・ 前田 宏・鈴木 房子・小磯 利夫・赤川 宣子・岡田 正剛・高橋 一美・ 安部トシ子・(木更津市美術連盟)
10	木田 繁・青柳 敬子・伊藤 淑江・小池 和夫・君塚 桂子・板倉美代子・ 安藤 智子・江野沢眞弓・鹿間 敏夫・小泉ヨシ子・石井 芳夫・瀬能 正一・ 榛沢 敦子・(こあらの会)
11	齋藤 福一・福原 功・高橋 恵子・吉田 恵子・廣部 尚子・伊藤 三子・ 山田 勝巳・安達 弦太・藤井 一夫・山口 延善・石井 久子・田村 幸雄・ 吉野 郁子・加藤 房江・永島 貞二
12	押野見邦彦・三上 勝彦・浦部紘一郎・石邑祐一郎・平野紀美子・勝又 節子・ 平野 弘子・佐久間道子・安積美智子・藤井 昭夫・市川 昇・鈴木 芳則・ 青木 和義・網中 和子・(木更津ばやし保存会)
13	飯島 公一・村松 和久・安藤 昭之・御園 信弘・須貝 和子・川名 好枝・ 中村 和成・大日方惟忠・佐藤 敏彦・細井系太郎・齊藤 昭平・山田 節義・ (木更津市子ども会育成連絡協議会)

年度	氏 名 (団 体 名)
H 14	鈴木 克彦 ・ 根本榮治郎 ・ 山口 正明 ・ 奈良輪 索 ・ 柳生 直宣 ・ 園田 陽子 ・ 松沢 廣子 ・ 宮本 紀子 ・ 鳥海 照代 ・ 鳥海ひろみ ・ 齊藤 英子 ・ 水野 信義 ・ 飛澤 彰 ・ 筑紫 敏夫
15	鴻池 敦 ・ 鶴田 憲司 ・ 横内 規明 ・ 磐井美千代 ・ 吉元 玲子 ・ 横内きよ子 ・ 石渡 宏 ・ 吉田 敬 ・ 小竹 和己 ・ 櫻井 満 ・ 吉田 光代 ・ 鈴木 克巳 ・ 蘇我 芳章 ・ (木更津市体育協会) ・ (木更津市文化協会)
16	藤沢きよ子 ・ 平野 寛 ・ 勝畑 利光 ・ 磯貝 修一 ・ 大塚 典夫 ・ 川名眞木子 ・ 功刀 和子 ・ 八角 泰男 ・ 勝呂 文恵 ・ 磯貝 節子 ・ 地曳 貞二 ・ 原 初恵 ・ 廣部 一 ・ (千葉県自転車軽自動車商協同組合木更津支部)
17	林 俊之 ・ 實形勢津子 ・ 関口 一眞 ・ 高橋 博光 ・ 渡邊 啓子 ・ 露寄 信子 ・ 村野はるみ ・ 鈴木 俊子 ・ 門田 秀夫 ・ 磯貝 隆久 ・ 鈴木 敏子 ・ (岩根西地区青少年健全育成振興会) ・ (木更津薪能の会)
18	長島 眞 ・ 齋藤 勇 ・ 磯崎 正利 ・ 川名 和夫 ・ 長谷川貢一 ・ 武田 敏子 ・ 上田 光代 ・ 松清 央 ・ 小関 洋男 ・ 石村 元章 ・ 島田登美夫 ・ 桑田 光正
19	磯貝 章 ・ 鈴木 健治 ・ 田村 博 ・ 平野えい子 ・ 宇野 裕子 ・ 中山 立子 ・ 長尾 幸子 ・ 綾野美登里 ・ 上田 誠治 ・ 橋爪 洋平 ・ 市東 良子 ・ 山口 一郎 ・ 鶴田 隆一 ・ 武藤 義彦
20	鈴木 順一 ・ 鎌田 実 ・ 藤森けい子 ・ 鈴木 節子 ・ 今井 裕文 ・ 古泉美根子 ・ 石井 禎一 ・ 相沢枝里子 ・ 飯田 勉 ・ 吉崎 治美 ・ 溝口五百子 ・ 筑紫 敏夫
21	小原 俊郎 ・ 内藤 健一 ・ 塩田 耕司 ・ 鈴木 正美 ・ 永嶋 博文 ・ 高橋 純子 ・ 嶋田 敏恵 ・ 山田ゆり子 ・ 鈴木喜代江 ・ 杉山 公夫 ・ 鈴木 勝也 ・ 渡辺 和彦
22	高村 直道 ・ 土井 淳治 ・ 多田 元樹 ・ 石井 春久 ・ 古閑 晃一 ・ 玉川 剛 ・ 鈴木 雄子 ・ 内海 晃 ・ 齋藤眞理子 ・ 平山 政彦 ・ 山下 博 ・ 佐々木幸生 ・ 李 程英
23	林 正巳 ・ 明石 知幸 ・ 白石 修一 ・ 多田 芳明 ・ 石井 吉明 ・ 宮城三津子 ・ 内藤 成人 ・ 柳澤 裕子 ・ 森 孝子 ・ 鈴木 克己 ・ 水野 幸子
24	栗原 正志 ・ 桐谷 和美 ・ 古泉 忠之 ・ 小尾 哲郎 ・ 齋藤 幸子 ・ 大岩 静江 ・ 長谷川文子 ・ 平野 洋子 ・ 八代 時江 ・ 宮崎 恵子 ・ (木更津市婦人会連絡協議会)
25	田口 哲郎 ・ 渡辺 正悟 ・ 高澤 茂夫 ・ 池田 武 ・ 神子 由之 ・ 堤 千枝子 ・ 鹿島 都子 ・ 佐久間 薫 ・ 久我 京子 ・ 泉水 桂子
26	小高巳喜男 ・ 篠原 和行 ・ 伊東 晶一 ・ 安川 公子 ・ 荒井 幸江 ・ 加藤 則子 ・ 山本 泉 ・ 仲野 憲治 ・ 杉本 正美 ・ 山口 治彦 ・ 石井 典子 ・ 佐久間ひさい ・ 志保沢博央 ・ 山田 治子
27	石井 章 ・ 関口 明 ・ 小川 善彦 ・ 大胡 利一 ・ 萱野 弘之 ・ 伊藤 俊樹 ・ 渡邊 義明 ・ 原田 智子 ・ 岩崎 淳
28	加藤 高明 ・ 竹内 淑子 ・ 江田 欣弘 ・ 積田 一重 ・ 永嶋 偉子 ・ 上田 順次 ・ 中村 吉朗 ・ 関 和一 ・ 竹重 厚志 ・ 若海 和広 ・ 大久保尚子
29	山本 卓人 ・ 藤平 慶子 ・ 鈴木 修一 ・ 額賀 敏行 ・ 平野千津子 ・ 武田 重雄 ・ 横田由起子 ・ 宮下 育夫 ・ 小宮 邦夫 ・ 齋藤 裕子
30	米澤 雅史 ・ 積田 等 ・ 安田 正幸 ・ 佐々木洋子 ・ 桑田 清行 ・ 縄谷 尚志 ・ 宮崎 眞司 ・ 伊藤結実子 ・ 小尾みどり ・ 高品 律子 ・ 吉田 裕子 ・ 地曳 昭裕 ・ 青木美津子
31(R1)	廣部 昌弘 ・ 佐藤 千明 ・ 田村 淳也 ・ 矢野 直明 ・ 北川 久雄 ・ 越川 茂夫 ・ 伊藤 裕美 ・ 星野志げ子 ・ 鈴木 一枝 ・ 緒形由美子 ・ 鶴岡 宗一 ・ 中澤 恵 ・ 松本 衣江 ・ (木更津ユネスコ協会)
R 2	河野 勝 ・ 前田 達哉 ・ 齊藤 毅人 ・ 藤寄 保 ・ 市原 浩 ・ 平 一晶 ・ 小峯 清茂 ・ 矢田 博幸 ・ 白石 雅子 ・ 大庭 俊哉 ・ 高梨 朋子 ・ 丸山 隆子 ・ 中村 哲 ・ 荻野 敬次 ・ (かずさジュニアオーケストラ)
3	高野 芳一 ・ 大木 昌代 ・ 小倉 敏幸 ・ 増田 一秀 ・ 大木 栄子 ・ 鶴田友美子 ・ 橘田 和子 ・ 山口 正美 ・ 水田佐恵子 ・ 藤平紀代美 ・ 内田慎一郎 ・ 石村比呂美 ・ 宮崎 敏江 ・ 大日方幸子 ・ (中島区文化財保存会)
4	篠田 薫 ・ 齋藤 雄一 ・ 西 克夫 ・ 吉沢 信之 ・ 臼井 弘子 ・ 唐鎌 勲 ・ 故窪田 宏一 ・ 根本 勝也 ・ 宮下 英子 ・ 額賀美代子 ・ 藤寄 啓子 ・ 鳥飼 栄一 ・ 石渡 恵理 ・ 入野すみ江 ・ 吉澤 隆子 ・ 藤浪 孝 ・ 天野 早苗
5	座間 良彦 ・ 泉澤 由和 ・ 佐藤 雅之 ・ 佐々木伸司 ・ 木村 孝雄 ・ 村田 貴史 ・ 伊東千都世 ・ 佐藤 晴美 ・ 武田 正次

市内指定等文化財一覧

令和6年1月1日現在

番号	種別	名称	現所在地	所有者	指定年月日	員数	備考	
国指定	1	重要文化財 (考古資料)	千葉県金鈴塚古墳出土品	木更津市	S34. 6. 27 R 2. 9. 30	一括	追加	
	2	重要有形民俗文化財 (生産、生業に用いられるもの)	上総掘りの用具	木更津市	S35. 6. 9 H 7. 12. 26	258点	追加	
国選択	1	記録選択 (無形民俗文化財)	木更津市中島の梵天立て	中島 (神事会場は金田漁業協同組合裏の水神宮付近の海)	中島区文化財 保存会	H 4. 2. 25		
国登録	1	登録文化財 (建造物)	選擇寺本堂	中央1-5-6	選擇寺	H12. 2. 15	1棟	
	2	登録文化財 (建造物)	下郡郵便局旧局舎	下郡	個人所有	H16. 7. 23	1棟	
	3	登録文化財 (建造物)	ヤマニ綱島商店店舗	中央2-5-9	個人所有	H23. 7. 25	1棟	
県指定	1	記念物 (史跡)	金鈴塚古墳	長須賀430	木更津市	S25. 11. 3	251㎡	
	2	有形文化財 (彫刻)	銅造阿弥陀如来立像	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木野根沢区	S29. 3. 31	1躯	寄託
	3	有形文化財 (彫刻)	木造薬師如来立像	桜井1450	東光院	S30. 12. 15	1躯	
	4	有形文化財 (彫刻)	木造薬師如来坐像	請西	法人所有	S35. 6. 3	1躯	
	5	有形文化財 (工芸品)	金銅孔雀文馨	請西	法人所有	S35. 6. 3	1面	
	6	有形文化財 (工芸品)	金銅五鈷鈴	請西	個人所有	S35. 6. 3	1点	
	7	民俗文化財 (無形民俗文化財)	木更津ばやし	中央(旧仲片町)	木更津ばやし 保存会	S38. 5. 4		
	8	有形文化財 (工芸品)	梵鐘(長禄三年在銘)	真里谷1760	妙泉寺	S39. 4. 28	1口	
	9	有形文化財 (古文書)	制札	請西	法人所有	S39. 4. 28	1枚	
	10	有形文化財 (考古資料)	黄瀬戸灰釉木の葉文瓶 附 常滑不識壺	永井作1-4-66	善光寺	S40. 4. 27	各1口	
	11	有形文化財 (建造物)	須賀神社本殿	祇園524	須賀神社	S54. 3. 21	1棟	
	12	民俗文化財 (有形民俗文化財)	東京湾のり生産用具	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S54. 3. 2	一括	
	13	有形文化財 (古文書)	天正検地帳(上総国望陀郡 菅生庄請西之郷御縄打水帳)	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S57. 4. 6	16冊	
	14	有形文化財 (絵画)	板絵著色富士の巻狩図絵馬	長須賀2444	日枝神社	H 5. 2. 26	1面	
	15	有形文化財 (考古資料)	上総大寺廃寺露盤	大寺1029	熊野神社	H13. 3. 30	1点	
	16	有形文化財 (歴史資料)	至徳堂関係資料	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	H14. 3. 29 H20. 3. 18	220点	追加
	17	有形文化財 (考古資料)	高部30号墳・32号墳出土品	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R 2. 3. 10	27点	
市指定	1	記念物 (史跡)	斎藤昌麿の墓	小浜	個人所有	S39. 3. 25	1基	
	2	記念物 (史跡)	鳥海酔車の墓	長須賀1668 福寿寺内	個人所有	S39. 3. 25	1基	
	3	記念物 (史跡)	鑄匠大野五郎右衛門遺跡	矢那	個人所有	S40. 2. 20	30㎡	
	4	有形文化財 (書跡)	橘守部遺墨	小浜	個人所有	S40. 2. 20	23点	
	5	有形文化財 (古文書)	鈴木三郎家蔵古文書	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S40. 6. 17	一括	
	6	有形文化財 (工芸品)	徳川家より下賜された獅子頭	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	中央 (旧北片町)	S40. 9. 6	1体	
	7	有形文化財 (古文書)	木更津船之由緒書	中央	個人所有	S40. 9. 6	1点	
	8	有形文化財 (彫刻)	長楽寺の五輪塔	請西	法人所有	S41. 4. 22	1基	
	9	記念物 (史跡)	真武根陣屋遺址	請西1139-33	木更津市	S41. 4. 22	39㎡	
	10	記念物 (史跡)	貝渕木更津県史蹟	貝渕3-10-1	木更津市	S41. 4. 22	960. 53㎡	
	12	有形文化財 (彫刻)	嶺田楓江寿碑	富士見1-6-4	八劔八幡神社	S44. 7. 1	1基	
	13	有形文化財 (彫刻)	加藤家の板碑・五輪塔	矢那	個人所有	S45. 6. 11	4基	
	14	有形文化財 (絵画)	江戸期の風俗図屏風六曲一隻	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S51. 2. 17	1隻	

市指定	15	有形文化財 (古文書)	小倉家文書	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	個人所有	S51. 2. 17	2点	寄託
	16	有形文化財 (書跡)	寛平御時后宮歌合断簡「春」	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S51. 2. 17	1幅	
	18	有形文化財 (彫刻)	木造聖観音立像	万石176	金勝寺	S52. 6. 6	1躯	
	19	記念物 (天然記念物)	安西家のキササギ (キササゲ)	草敷	個人所有	S56. 4. 23	1樹	
	20	有形文化財 (建造物)	旧安西家住宅	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S56. 4. 23	1棟	
	21	有形文化財 (歴史資料)	五大力船絵馬	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S59. 2. 23	1面	
	22	記念物 (天然記念物)	松本家のグミ	大稲	個人所有	S60. 12. 12	1樹	
	23	有形文化財 (絵画)	八剱八幡神社の格天井装飾画	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S61. 9. 12	162面	
	24	記念物 (天然記念物)	根本家の椎	真里谷	個人所有	S63. 1. 20	1樹	
	26	有形文化財 (歴史資料)	上総鋳物師大野家関係資料	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	個人所有	H14. 1. 4	一括	寄託
	28	記念物 (天然記念物)	「鎌足桜」祖株	矢那1245 高蔵寺内	木更津市	H17. 2. 25	1株	
	29	有形文化財 (彫刻)	木造釈迦如来坐像	曾根96	釋蔵寺	H19. 2. 5	1躯	
	30	民俗文化財 (無形民俗文化財)	桜井の獅子舞	桜井	桜井獅子舞 保存会	H22. 6. 2		
	31	有形文化財 (彫刻)	富士見巖島神社の社殿彫刻	富士見1-7-10	巖島神社	H23. 6. 29	3点	
	32	有形文化財 (歴史資料)	銅造聖観世音菩薩立像	茅野683-1	善雄寺	H25. 8. 20	1躯	
	33	有形文化財 (考古資料)	灰釉双耳壺	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	H27. 4. 24	1口	
	34	有形文化財 (考古資料)	庚申塚9号墳出土方頭大刀	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R2. 10. 20	1振	
35	有形文化財 (考古資料)	宮脇遺跡出土奈良三彩小壺 附伴出土土師器	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R2. 10. 20	1点		
36	有形文化財 (考古資料)	中越遺跡出土小銅鐸 附石製舌	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R4. 8. 9	1点		

(1) 番号：市の指定文化財については指定書の番号を用いているが、その他の指定等文化財については木更津市において次の文化財指定等区分ごとに通し番号を付した。

文化財指定等区分

国指定＝国の重要文化財 県指定＝千葉県が指定した文化財 市指定＝木更津市が指定した文化財

国選択＝「記録選択制度」によって記録を残すべく選択された文化財（指定文化財とは異なる）

国登録＝「文化財登録制度」によって文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する文化財（指定文化財とは異なる）

(2) 指定年月日：国選択および国登録に区分された文化財については、選択年月日および登録年月日にそれぞれ読み替えるものとする。

(3) 欠番：市指定11号「板絵着色富士の巻狩図絵馬」、同25号「至徳堂関係資料」、同27号「高部30号墳・32号墳出土資料」は、県指定文化財へ移行のため欠番とした。市指定17号「高蔵寺本堂・山門・鐘楼」は、指定解除により欠番とした。

(4) 追加指定：国指定2の「上総掘りの用具」と県指定16の「至徳堂関係資料」については、当初指定後に追加指定があった物件であるため、追加指定年月日を下段に併記した。

(5) 国指定1の「千葉県金鈴塚古墳出土品」は追加指定に伴い、「上総木更津金鈴塚古墳出土品」から名称を変更した。

学校施設等

令和5年5月1日現在

No.	学校名	創立年月日	校舎			特別教室										校地				屋内運動場						
			鉄筋	鉄骨 （ポツ）	木造	計	普通教室	理科	生活	音楽	図画工作	（美術）	（技術）	家庭	外国語	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動		教育相談	（進路指導資料）	計	建物敷	運動場敷	その他
1	第一小	M 6.	5,811			5,811	17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	5	2		15	7,082	5,062	1,090	13,234	1042
2	第二小	M 6. 2.	4,783	12	33	4,828	16	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	1		11	9,318	10,520		19,838	831
3	東清小	M20. 5. 20	2,509	152	33	2,694	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		7	7,980	8,081	4,467	20,528	1,024
4	西清小	M 6. 5. 4	3,107		19	3,126	13	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1		9	4,736	2,757	940	8,433	1,118
5	南清小	M 6. 4.	4,977	348	46	5,371	17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		8	7,178	10,276	3,952	21,406	954
6	岩根小	M 6.	5,394	19	20	5,433	16	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8	1		15	9,807	8,851	482	19,140	950
7	波岡小	M41. 4.	3,686	62		3,748	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3			8	5,379	7,037	4,447	16,863	703
8	鎌足小	M 6. 7.	2,233	32		2,265	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2			6	6,875	6,520	2,285	15,680	600
9	金田小	M26. 8.	2,545	1211	42	3,798	17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		6	10,011	11,893		21,904	658
10	中郷小	M 6.	33	22	1429	1,484	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			5	5,907	4,807	104	10,818	624
11	清見台小	S45. 4. 6	5,880	102	53	6,035	23	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	6	1		15	8,283	6,381	7,616	22,280	1,201
12	高柳小	S46. 4. 5	5,983	132	67	6,182	16	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8	1		15	13,812	13,359		27,171	808
13	富来田小	M 5. 8. 1	2,413	508	58	2,979	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		7	8,869	3,727		12,596	603
14	祇園小	S49. 4. 5	6,691	132		6,823	25	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2	5	1		15	12,362	7,625	2,289	22,276	1,273
15	畑沢小	S53. 4. 5	5,881	207	33	6,121	21	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	1		15	10,515	10,425	5,768	26,708	900
16	請西小	S54. 4. 3	4,901	1,023		5,924	22	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1		13	10,354	7,438		17,792	900
17	八幡台小	S56. 4. 3	3,873	1,720		5,593	29	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1		9	26,444	6,696		33,140	900
18	真舟小	H26. 4. 1		8,120		8,120	33	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1		10	20,237	15,548		35,785	1,110
計			70,700	13,802	1,833	86,335	308	19	2	19	15	0	0	18	5	1	21	70	17	0	189	185,149	147,003	33,440	365,592	16,199

○ 中学校

令和5年5月1日現在

No.	学校名	創立年月日	校舎			特別教室										校地				屋内運動場					
			鉄筋	鉄骨 ブロック	木造	計	普通教室	理科	(生活)	(図画工作)	美術	技術	家庭	外国語	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動	教育相談		進路 指導料	計	建物敷	運動場敷	その他
1	第一中	S22. 4. 22	4, 157		41	4, 198	12	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	15	10, 956	11, 404		22, 360	1, 065
2	第二中	S22. 5. 10	4, 206	98		4, 304	17	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2		14	7, 702	9, 327	1, 268	18, 297	1, 051
3	第三中	S22. 4. 1	181	4, 978		5, 159	12	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	6, 746	8, 404		15, 150	1, 029
4	岩根中	S22. 4. 30	4, 382	54	36	4, 472	8	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	18	11, 335	17, 811		29, 146	1, 067
5	鎌足中	S22. 5. 10	1, 866		76	1, 942	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	8, 727	13, 272	935	22, 934	875	
6	金田中	S22. 5. 10	1, 672	340	92	2, 104	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	5, 950	10, 443		16, 393	967	
7	富来田中	S22. 5. 10	3, 220	23	100	3, 343	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	7, 607	25, 086		32, 693	843	
8	太田中	S52. 4. 5	4, 537	1348	26	5, 911	24	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	13	14, 095	13, 459	4, 109	31, 663	997	
9	畑沢中	S55. 4. 5	3, 679	243	76	3, 998	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	14	13, 949	18, 971		32, 920	1, 018
10	岩根西中	S57. 4. 1	3, 871	246	66	4, 183	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	10, 392	12, 659	2, 352	25, 403	1, 000	
11	波岡中	S58. 4. 1	4, 564		76	4, 640	14	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	8, 430	17, 322	2, 512	28, 264	1, 040	
12	清川中	S60. 4. 1	3, 751		43	3, 794	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	11	10, 884	11, 208	721	22, 813	990
計			40, 086	7, 330	632	48, 048	135	19	0	14	0	13	12	12	14	1	0	10	6	161	116, 773	169, 366	11, 897	298, 036	11, 942
小中学校 合計			110, 786	21, 132	2, 465	134, 383	443	38	2	33	15	13	12	12	32	6	1	12	33	350	301, 922	316, 369	45, 337	663, 628	28, 141

○ 木更津市学校給食センター

令和5年1月1日現在

開設年月日	所在地	構造階層	敷地面積	延床面積
平成21年4月1日	潮見二丁目13番地1	鉄骨造2階建	5, 474. 93㎡	2, 524. 08㎡

○ 木更津市まなび支援センター

令和5年1月1日現在

開設年月日	所在地	構造階層	敷地面積	延床面積
昭和55年4月1日	朝日一丁目8番17号	鉄筋コンクリート造2階建て	2, 314. 45㎡	778. 61㎡

社会教育施設

施設名	設置年月日	所在地	構造階層	部 屋 名	敷地面積 ㎡	建築延面積 ㎡	備 考
中央公民館 (畔戸分館)	S38. 4. 1 (S50. 3. 28)	富士見1-2-1 (畔戸230)	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階・ 地上9階建て (一部5階建て) (木造平屋)	スパークルシティ木更津6階/第1~7会議室 アクア木更津B館3階/多目的ホール (集会室3、和室)	972.89 376.00	972.89 376.00 (95.58)	移転新築 S51. 2. 1 移転 (賃借) H30. 7. 1 青年の家廃止H30. 6. 30
富来田公民館	S42. 4. 1	真里谷110	鉄筋コンクリート造 一部木造2階建て	展示ホール、多目的ホール、ラウンジ、図書室、保育室、体育室、和室、 茶室、調理実習室、工芸実習室、会議室、研修室第1・2、学習相 談室、グループ交流スペース、更衣室、印刷室	6,082.60	2,318.90	改築 H14. 1. 1
岩根公民館	S32.10. 1	高柳3-2-1	鉄筋コンクリート造2階建て	学習室1・2・3・4、集会室、休養室、保育室	582.21	564.08	改築 S51. 4. 1
鎌足公民館	S32.10. 1	矢那899-1	鉄筋コンクリート造2階建て	研修室、学習室、調理実習室、和室、工作室、図書室	4,108.36	514.17	改築 S55. 4. 1
中郷公民館	S32.10. 1	井尻789-1	鉄筋コンクリート造2階建て	児童図書室、和室、視聴覚室、研修室1・2、調理実習室	1,260.62	563.56	改築 S55.10. 1
富岡公民館	S42. 4. 1	下郡1770-1	鉄筋コンクリート造平屋建て	集会室2、会議室、研修室、和室、資料室	1,090.89	265.23	一部改築 S62. 3. 31
文京公民館	S55.10. 1	文京2-6-54	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、学習室、休養室、保育室、ホール付	1,388.88	549.92	
八幡台公民館	S55.12. 1	八幡台4-2-1	鉄骨造平屋建て	図書室、和室1・2、実習室、学習室1・2、集会室	6,002.48	635.24	
東清公民館	S57. 4. 1	笹子469-1	鉄筋コンクリート造2階建て 一部木造平屋建て	研修室1・2・3、調理実習室、図書室	1,861.35	572.14	
清見台公民館	S58. 4. 1	清見台南5-1-29	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、図書ホール、和室、研修室1・2、調理実習室	3,307.71	748.63	
清見台コミュニケーションセンター附属体育館	S58. 8. 1	清見台南5-1-29	鉄骨造2階建て	アリーナ、更衣室2	1,870.06	1,402.74	
畑沢公民館	S59. 4. 1	畑沢1,053-12	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2、調理実習室	2,871.49	658.51	
岩根西公民館	S61. 4. 1	江川934-1	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2・3、調理実習室	2,392.60	663.62	
西清川公民館	H 2. 4. 1	永井作2-11-12	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2・3、調理実習室	2,207.47	733.58	
波岡公民館	H 5. 4. 1	大久保5-7-1	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、学習室1・2・3、調理実習室、図書室、休養室	3,192.81	773.134	
桜井公民館	H14. 4. 1	桜井新町4-2	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2、学習室3、調理実習室	2,997.60	1,045.49	
図書館	S 4. 3. 25	文京2-6-51	鉄筋コンクリート造2階建て	貸出室 (一般・児童)、会議室、和室、郷土資料室、参考調査室、 書庫1・2、館長室、事務作業室、別棟恵春庵	5,071.53	1,994.11	移転新築 S49. 7. 31
郷土博物館 金のすず	H20. 4. 1	太田2-16-2	鉄筋コンクリート造2階建て ほか	本館 (展示室9、収蔵庫2)、新収蔵庫、旧安西家住宅、保管庫 (旧金鈴塚遺物保存館)	2,638.92	2603.11	旧 県立 上総博物館
少年自然の家 キャンプ場	S60. 4. 1	真里谷5343-8	プレハブ平屋建て (管理棟)	管理棟、キッチン6、トイレ7、炊事場2 (4㎡×20基)、便所2、屋根付広 場、自由広場、シャワー室	114,809 共用30,000	875.82	

令和5年度 木更津市の教育

発行日 令和6年3月
編集・発行 木更津市教育委員会
教育部 教育総務課

〒292-8501 木更津市朝日三丁目10番19号

電話 0438(23)5243

FAX 0438(25)3991

E-mail kyo-soumu@city.kisarazu.lg.jp

HPアドレス <http://www.city.kisarazu.lg.jp/1.html>